

決算に係る主要な
施策の成果説明書

目 次

○ 決算に係る主要な施策の成果説明書

一 般 会 計	
議 会 費	1
総 務 費	2
民 生 費	21
衛 生 費	47
労 働 費	60
農 林 水 産 業 費	62
商 工 費	72
観 光 費	78
土 木 費	86
消 防 費	103
教 育 費	111
災 害 復 旧 費	138
公 債 費	144
国民健康保険特別会計	145
後期高齢者医療特別会計	148
介護保険特別会計	149
観光交通対策特別会計	154
都市計画税の充当状況	155
費目別不納欠損の状況	156
地方消費税交付金（社会保障財源化分）充当事業	157
入湯税の使途状況	158

主 要 な 施 策 の 成 果

【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予 算 現 額 342,411 千円
決 算 額 339,032 千円

決 算 額 の 財 源 内 訳				
国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
				339,032

議 会 事 務 局

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. 政務活動費	4,926	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、平成29年度は、年度途中における市議会議員の改選に伴い、交付回数は2回であった。 また、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	91
2. 議会広報経費	9,288	○「いせ市議会だより」発行 市議会活動を市民に広報するため「いせ市議会だより」を発行し、各戸配布等を行った。＜年間4回発行＞ また、総集版を製本し、関係各位へ配布した。 ○市議会放映 市議会活動を市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をケーブルテレビで録画放送した。 会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放送及び定例会終了日の翌々日午後8時から再放送 本会議 17日分 予算・決算特別委員会 11日分 また、平成29年9月定例会から、上記録画データを利用し、YouTubeによるインターネット録画放送を実施した。	91

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 1,876,224 千円
 決算額 1,820,126 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,136	5,142		27,042	1,783,806

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 行財政改革推進事業	66	平成26年度に策定した行財政改革指針に基づく取組項目(取組期間:平成29年度までの4年間)の進行管理を行った。 平成28年度の取組結果を行政改革推進委員会及び市議会(各常任委員協議会)に報告し、ホームページを通じ市民に公表した。 行財政改革指針に基づく取組項目が平成29年度で終了するため、平成30年度以降の行財政改革の取組について検討した。	93

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 11,356 千円
 決算額 10,387 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			144	10,243

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	10,387	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 ①一般研修 研修数19回 受講者数 1,579名 ②派遣研修 研修数75回 受講者数 168名 (2) 研修評価(受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 85.5% 一般研修 85.0% 派遣研修 94.8% ②意識向上度 研修全体 70.2% 一般研修 68.1% 派遣研修 96.6%	93

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 5. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 61,282 千円
 決算額 58,434 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,501	54,933

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広報いせ発行事業	29,312	「広報いせ」を毎月1日と15日(1月を除く)に発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	95
2. CATV広報いせ放送事業	22,948	行政情報番組[お知らせ番組(毎週更新)と特集番組(毎月更新)]を制作し放送した。特集番組は、タレントをリポーターとして起用し、分かりやすい番組づくりに努め、YouTubeへの掲載も行った。また、平成29年9月1日から行政放送のハイビジョン化を行った。	95
3. インターネット情報発信事業	3,565	平成24年度から運用を行っているシステムを平成31年度まで契約した(3年間の長期継続契約)。各所属からの情報をいち早く掲載するとともに、利便性の向上およびウェブアクセシビリティに準拠したホームページとなるよう努め、職員向けにアクセシビリティと操作方法の研修を行った。	95

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 415,836 千円
 決算額 384,974 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,103				370,871

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住民情報システム管理経費	314,381	住民基本台帳、税及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムについて、サーバ機器等の更新入替や保守管理等を行い、システムの安定稼働を図った。 また、市税等に関する各種帳票の印刷業務並びに総合住民情報システムの稼働において必要となる各種資料・情報を作成するためのイメージデータの読取業務やデータ入力業務等について、外部委託を行い、業務を適正に執行した。 さらに、社会保障・税番号(マイナンバー)制度の本格運用開始に対応するため、総合運用テスト等を行った。	95

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 行政情報システム 管理経費	44,208	財務会計・文書管理・人事給与・庶務事務・グループウェア等の行政情報システム（内部情報系）、インターネットシステム及びネットワークシステムの保守管理等を行い、各システムの安定稼働を図った。	95
3. ITセキュリティ 対策事業	21,188	各種セキュリティ関連システムの保守管理等を行い、システムの安定稼働を図るとともに、サポート切れとなるソフトウェアの更新を実施し、情報資産の安全管理と情報セキュリティの維持、向上を推進した。	95

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 企画費

(単位 千円)

予算現額 47,547 千円
決算額 41,100 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,478			10	37,612

企画調整課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>総合計画推進事業</u>	1,728	<p>本市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その理念に基づく市政運営のあり方を示す第3次伊勢市総合計画の策定作業を行った。</p> <p>伊勢市総合計画条例に基づき、学識経験者、公共的団体等の代表者、関係行政機関の職員15名で構成する伊勢市総合計画審議会を設置し、総合計画の策定について諮問した(29年度9回開催)。</p> <p>また、策定にあたり市民意識等を把握するため、市民意識調査やワークショップを開催した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,586,000円 総合計画審議会 6回開催</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・第2次伊勢市総合計画までは、市町村合併に際し策定した「新市建設計画」における「新市まちづくりの基本方針」を、期間の定めのない基本構想として、市町村合併後も継承してきたが、第3次伊勢市総合計画においては基本構想の見直しを行うとともに、基本構想に基づく基本計画案を作成したため、当初の予定回数を超える審議が行われた。</p> <p>・今後、基本構想の実現に向けた施策立案が求められるとともに、市民はもちろん、市職員に総合計画の周知徹底を図る必要がある。</p>	97

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>ふるさと応援寄附 推進事業</u>	16,996	<p>本市に対するふるさと納税の受入を行うとともに、寄附者に対し市の特産品を返礼品として送付し、市の産業のPRに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附件数 1,529件 ・寄附金額 40,742,518円 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 18,805,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附件数 2,000件 ・寄附金額 40,000,000円 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 3,953,410円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附件数 589件 ・寄附金額 27,944,828円 <p>平成28年度 13,651,581円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附件数 1,504件 ・寄附金額 50,237,177円 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に真珠製品など資産性の高いもの、価格の高いものなどの送付自粛が総務大臣から通知されたが、引き続き、地場産品ではない返礼品に関して見直しを求める動きがある。 ・寄せられた寄附金で実施する事業を具体的に明示し、返礼品の有無に関わらず、その事業趣旨に賛同した方からの寄附を募る「クラウドファンディング型」のふるさと納税の実施について、検討を進める必要がある。 	97
3. 定住自立圏構想推進事業	171	<p>定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圈や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で形成する伊勢志摩定住自立圏について、圏域の関係者17名で構成される懇談会における協議等を経て、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の変更を行った。</p> <p>また、取組内容の拡充を図るため、圏域市町の首長を構成員とする伊勢志摩定住自立圏推進協議会において、圏域の課題及び次期伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン策定に係る協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンを変更(平成29年6月) ○伊勢志摩定住自立圏推進協議会(総会)を開催 ○伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会を2回開催 	97

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>出会い・結婚支援事業</u></p>	<p>13,918</p>	<p>○結婚を希望する人等の相談業務、出会いの場や情報の提供、結婚に向けたセミナー研修等を行う場として「いせ出会い支援センター」の運営を委託した。 委託先：株式会社デルタスタジオ 委託料：8,053,383円 利用件数：2,765件（訪問・電話・メール・チラシ） セミナー開催：18回（延べ72人） 出会いイベント開催：2回（延べ69人）</p> <p>○市内および定住自立圏域市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」への登録を促進した。 委託先：株式会社デルタスタジオ 委託料：3,477,600円 登録企業数：180社 企業対象セミナー開催：1回 参加者18社（21人） 財源：平成28年度地域少子化対策重点推進交付金（平成28年度第2次補正予算）</p> <p>○伊勢市オリジナルデザインの婚姻届及び出生届を専用サイトからダウンロードで提供することにより、結婚や出産のイメージアップを図った。 委託先：株式会社リクルートホールディングス 委託料：100,000円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 15,625,000円 ・出会い支援センター運営 ・企業の結婚支援促進業務 ・フォーラム等開催業務 ・伊勢市版婚姻届・出生届の提供 など</p> <p>【過去2カ年度の実績】 (センター運営 ※平成27年10月21日～) 利用件数：1,055件（訪問・電話・メール・チラシ） セミナー開催：4回（延べ21人） 出会いイベント開催：1回（60人） 平成28年度 利用件数：3,068件（訪問・電話・メール・チラシ） セミナー開催：9回（延べ48人） 出会いイベント開催：2回（延べ121人）</p> <p>【事業を取りまく状況等】 企業の結婚支援促進業務は、財源である国庫支出金の交付決定額が当初の見積りより減額となったことに伴い、一部の内容（従業員同士の交流会）をセンターの委託業務とし、フォーラムからセミナーに規模を縮小し開催した。 また、今後は「いせむすび」登録企業に仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりを啓発し、あわせて従業員同士の交流会を促進していく。</p>	<p>97</p>

企 画 調 整 課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. シティプロモーション推進事業	3,454	<p>本市が市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるよう、平成28年2月に策定した「伊勢市シティプロモーション推進計画」に従い、移住・Uターン応援ガイド概要版の策定、本市にゆかりのある民話を題材とした紙芝居の制作、伊勢志摩ナンバー及び図柄入りナンバープレート導入の検討、サミット記念ベンチの製作を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市移住・Uターン応援ガイド概要版 1,000部 ・紙芝居制作（蘇民将来、犬のおかけ参り） ・ご当地ナンバー導入市民アンケート 回答1,733件、77.5%が導入賛成、67.8%が図柄希望 ・サミット記念ベンチ 88脚 	97
2. 地方版総合戦略推進事業	111	<p>まち・ひと・しごと創生法に基づき、国及び県の総合戦略を勘案し、また「伊勢市人口ビジョン」が描く将来像へ向け、人口減少の克服、持続可能な地域づくりを実現するために策定された伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理を行った。進行管理については、産官学金労言の各分野の関係者で構成される伊勢市まち・ひと・しごと創生会議において、取組の進捗状況の確認及び市の現状について意見交換等を実施した。</p> <p>○伊勢市まち・ひと・しごと創生会議を2回開催</p>	97

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>公共施設マネジメント事業</u></p>	<p>1,480</p>	<p>公共施設及びインフラ資産における各施設の今後の管理方針を示す施設類型別計画について、附属機関である施設類型別計画検討委員会や公共施設の方向性に関する意見交換会でいただいた意見を踏まえ、公共施設等マネジメント推進会議において全庁的な協議・調整を行い、策定を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討委員会開催経費 146,089円 ・ 施設類型別計画策定の考え方についての意見交換会等 16,755円 ・ 公共施設カルテ管理システム導入業務委託料等 1,317,600円 <p>【当初予算における内容、計画】 公共施設マネジメント事業 3,769,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討委員会、推進会議の開催 ・ 施設類型別計画策定の考え方についての意見交換会 ・ 施設カルテの管理（各課作業の調整） ・ 施設類型別計画の策定と印刷製本 ・ 公共施設カルテ管理システム導入業務委託 ・ 先進地視察 <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成28年度 1,603,481円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設類型別計画検討委員会の設置・開催 ・ 公共施設に関する市民アンケートの実施等 <p>平成27年度 202,920円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等総合管理計画検討委員会の開催等 <p>【事業を取りまく状況等】 施設類型別計画の策定にあたり、議会と協議・調整しながら同計画を策定していく。また、策定後は市民への周知を図るとともに、同計画の進捗管理を行う。</p>	<p>97</p>

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 9. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 4,639 千円
 決算額 4,551 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,551

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 男女共同参画推進 都市事業	4,188	<p>市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託し市民への意識啓発やパートナーの日の周知活動を実施した。企業への啓発としては、事業所訪問や、三重県と共同で企業向けセミナーを開催、及び事業所等における男女共同参画の取り組みを促進するため、積極的に取り組んでいる事業所等を表彰した。</p> <p>また、第3次伊勢市男女共同参画基本計画の策定業務を委託した。</p> <p>○市民向けの取り組み ・映画祭、講演会、各種講座、街頭啓発など ・広報いせへ啓発記事掲載</p> <p>○企業向けの取り組み ・企業訪問17社 ・企業対象セミナー開催1回 参加者10社(24人) ・男女共同参画推進事業者等の表彰 〈女性の活躍推進「きらり」賞〉 株式会社 ゴーリキ 〈仕事と生活の調和实践賞〉 株式会社 奥野建設 〈特別賞〉 浜郷地区まちづくり協議会</p> <p>○第3次伊勢市男女共同参画基本計画策定業務 委託料：株式会社 創建 三重支店 委託料：2,916,000円</p>	97

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 16. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 866,766 千円
 決算額 597,669 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		325,000	32	272,637

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>本庁舎改修事業</u>	456,478	<p>築52年が経過した本庁舎本館の長寿命化及び市の防災拠点としての耐震性能の向上等を図るため、平成26年度に策定した庁舎改修基本計画に基づき、平成30年夏季の完工に向けた整備を進めた。</p> <p>【平成29年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館等改修工事 398,990千円 ・本館等改修工事監理業務委託 9,528千円 ・引越業務委託 10,179千円 ・他施設会議室使用料 1,851千円 ・仮移転先事務所設置工事 8,148千円 ・仮移転先事務所電話設備移設工事 7,825千円 ・仮移転先事務所維持管理経費等 19,957千円 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 864,161千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館等改修工事 ・本館等改修工事監理業務委託 ・引越業務委託 ・他施設会議室使用料 ・仮移転先事務所設置工事 ・仮移転先事務所電話設備移設工事 ・仮移転先事務所維持管理経費等 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 24,836千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館等改修工事設計業務委託 10,100千円 ・仮移転先改修工事設計業務委託 5,026千円 ・仮移転先仮事務所設置工事 9,710千円 <p>平成28年度 125,989千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館等改修工事設計業務委託 26,578千円 ・引越業務委託 8,244千円 ・仮移転先事務所設置工事 53,751千円 ・仮移転先事務所電話設備移設工事 19,391千円 ・仮移転先事務所通信設備移設工事 627千円 ・仮移転先事務所維持管理経費等 17,398千円 <p>※仮移転先：小俣総合支所、御薊総合支所、旧消防本部及び消防署、旧さくらぎ保育所、東庁舎</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>老朽化等現在の庁舎が抱える問題を解消し、市民等が安心及び満足できるような環境づくりが早期に求められている。</p>	101

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 18. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 92,433 千円
 決算額 90,693 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			17,290	73,403

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民活動促進事業	32,325	平成16年4月に「いせ市民活動センター」を開設し、同年7月から指定管理者制度を導入した。平成29年度から第5期(3カ年)指定管理者として特定非営利活動法人いせコンビニネットが管理運営を行っている。 平成29年度指定管理料 14,255,000円	103
2. 活性化活動事業補助金	541	市内で活動する地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し、市民自治の担い手として継続的に活動できるよう、その経費の一部を補助した。 〔交付団体数〕6団体 〔交付金額〕489,000円	103
3. 伊勢のまつり開催事業	8,110	市民が「見て」「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的に開催した。 〔開催日〕10月7日(土)、8日(日) 〔会場〕高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線～伊勢市駅周辺 〔参加団体数〕214団体(約6,500人) 〔来場者数〕約15万人	103
4. 矢持会館管理事業	275	地域住民のふれあいの場に供し、交流活動を通じた地域づくりの推進を図る集会施設として利用するために矢持会館の維持管理を行った。	103

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 19. 地域自治推進費

(単位 千円)

予算現額 247,415 千円
 決算額 242,687 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,100	239,587

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>地域自治推進事業</u>	169,407	<p>平成27年度から本格稼動した「ふるさと未来づくり」制度に基づき設置された「まちづくり協議会」が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。また、まちづくり協議会が実施する「防災機能強化等への取組み事業」に対し、活動事業費(臨時特例分)を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務運営費・活動事業費(基本額) 69,359,201円 (23団体) ・臨時特例分 5,073,633円 (9団体、11件) ・一括交付金化事業 93,201,166円 (15団体) 計 167,634,000円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 179,562,000円 ・まちづくり講演会 ・まちづくり人材養成講座 ・市民活動補償制度 ・ふるさと未来づくり資金 など</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成28年度 ・事務運営費・活動事業費(基本額) 82,401,014円 (23団体) ・一括交付金化事業 93,223,750円 (15団体) 計 175,624,764円 事業全体 177,171,491円 平成27年度 ・事務運営費・活動事業費(基本額) 79,057,534円 (23団体) ・一括交付金化事業 68,975,200円 (11団体) 計 148,032,734円 事業全体 150,814,405円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 条例が施行され市の制度としての位置づけも新たに本格稼動したが、財政支援については、緩やかな移行期間として選択性を設けており、調整が必要な地域がある。</p>	103

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 区長謝礼事業	7,410	市内175自治会の活動について、行政委員等の候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。	103
3. 自治会集会所建設 事業補助金	6,822	地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の改築、修繕及びバリアフリー改修を行った自治会に補助金を交付した。 交付金額 6,822,000円(7自治会) <内訳> ・改築 5,000,000円(1自治会) ・修繕 1,162,000円(3自治会) ・バリアフリー改修 660,000円(3自治会)	103
4. コミュニティ助成 事業補助金	3,100	(一財)自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会等にコミュニティ助成事業補助金を交付した。 〔交付団体数〕自治会・・・2団体	103
5. 自治会コミュニ ティ放送整備補助 事業	1,933	地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して、補助金を交付した。 交付金額 1,933,000円(12自治会) (14件) <内訳> ・拡声放送 1,336,000円(4自治会) ・戸別受信機 552,000円〔7自治会(9件)〕 ・メール配信 45,000円(1自治会)	103
6. 自治会活動補助事 業	52,585	○元気なまちづくり協働事業補助金 市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。〔交付自治会数〕55自治会 ○振興助成金 地域における自治活動を支援・推進するため、助成金を交付した。〔交付自治会数〕68自治会 ○広報配布等事業 市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して交付金を交付した。〔交付自治会数〕68自治会	103
7. 総連合自治会運営 補助金	1,430	市内165自治会が加盟する伊勢市総連合自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。	103

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 4,517 千円
 決算額 4,223 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
51	946		36	3,190

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 国際交流推進事業	2,245	伊勢市国際交流協会を通じ、在住外国人への日本語学習支援、国際交流の趣旨普及、情報提供及びボランティア活動の推進に努めた。また、サミット開催後1年の節目に、ポストサミットの取り組みとして講演会及び写真展を開催した。他には国際感覚の醸成を目的とした国際交流フェスティバルを開催した。	103
2. 多文化共生事業	1,978	外国人住民の生活を支援するための事業として、「外国人をサポートするための避難所運営訓練」、技能実習生への説明会や市内外国人世帯への情報提供等を行った。	103

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 22. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 61,429 千円
 決算額 54,021 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				54,021

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 防犯啓発事業	4,132	<p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するため、地域安全活動を推進した。</p> <p>○地域安全講習会の開催 各自治会・老人会等を対象に地域安全講習会を開催し、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。 ・平成29年度の講演会開催回数 26回 851名参加</p> <p>○街頭啓発活動の実施 振り込め詐欺等の特殊詐欺被害防止のため、伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会及び伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で街頭啓発を実施した。 ・平成29年度の街頭啓発活動実施回数 28回</p> <p>○「伊勢市自主防犯団体連絡会」講演会の開催 地域住民が防犯意識を高め、地域ぐるみで防犯活動に取り組むことで、より安全で安心なまちをめざすための講演会を開催した。 開催年月日：平成29年4月20日(木) 開催場所：伊勢市ハートプラザみその 第1部演題：「安全安心な街 明るく楽しい街 自助 ・共助のあふれる街！」 講師：津市豊が丘地区自治会連合会会長 生川 介彦 氏 第2部演題：伊勢市内で発生した特殊詐欺の寸劇 「だまされないで！その電話！」 出演：伊勢市職員、 伊勢度会地区生活安全協会職員 参加人数：約140名</p>	頁 105

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>防犯灯LED化推進事業</u>	41,491	<p>夜間に路上で発生する犯罪等を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が所有する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。また、自治会及び市が所有する防犯灯を経済面・環境面・効率面で優れたLED防犯灯防犯灯へ取替えを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱費、修繕料 1,701,915円 ・防犯灯LED取替工事 4,746,600円 ・補助金、助成金 35,042,748円 <li style="padding-left: 20px;">(内訳)整備 3,161,528円 (146灯) <li style="padding-left: 20px;">修繕 822,350円 (544灯) <li style="padding-left: 20px;">LED取替 17,013,270円 (1,751灯) <li style="padding-left: 20px;">電気 14,045,600円 (13,393灯) <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 51,329,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱費、修繕料 1,368,000円 ・防犯灯LED取替工事 5,727,000円 ・補助金、助成金 44,234,000円 <p>【過去2カ年度の実績】 平成29年度から防犯施設等維持管理経費と防犯灯設置等補助金を統合して実施</p> <p>【事業を取りまく状況等】 自治会が所有する防犯灯について、平成33年度までに全灯LED化を目指しており、各自治会の進捗状況を把握し、進捗の遅れている自治会には取替を促していく必要がある。</p>	105

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 23. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 106,756 千円
決算額 100,804 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,517			32	99,255

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全啓発事業	3,592	伊勢市交通安全条例の趣旨に沿って、市内における交通事故の防止を図るため、伊勢市交通安全都市推進協議会及び伊勢・度会地区交通安全対策協議会に負担金を支出し、交通安全の啓発を行った。	105
2. 駐輪場管理事業	9,435	<p>鉄道駅周辺市営駐輪場の巡回・整理や、平成26年7月1日に施行された伊勢市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例の規定により、自転車等放置禁止区域(伊勢市駅、宇治山田駅周辺)、鉄道駅周辺市営駐輪場、その他公共の場所の放置自転車の撤去を行い、美観の確保、駐輪場利用者の利便性の確保並びに道路の安全通行の確保に努めた。</p> <p>放置自転車撤去 実施場所 自転車等放置禁止区域、駅周辺駐輪場、 その他公共の場所 撤去台数 524台</p>	105

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 交通安全活動団体 推進事業	2,053	市内小学校・幼稚園・保育所単位で構成される交通安全母の会等交通安全活動推進団体に対し、交通安全活動推進事業交付金を交付し、交通事故のない地域づくりを推進した。	105
4. コミュニティバス 運行事業	70,138	コミュニティバスの運行により、現況の鉄道・バス路線網を最大限活用することで、市全体における公共交通体系を構築し、市民生活の利便向上を図った。 また、地域住民との検討会や、学識者・運行事業者との伊勢地域公共交通会議により、多様化するニーズや、限られた財源の中で、より効果的・効率的な公共交通サービスを提供するため、運行の在り方を検討した。 コミュニティバス運行事業 70,137,835円 ・コミュニティバス運行業務 63,203,847円 ・コミュニティバスその他の経費 420,920円 ・コミュニティバスデマンド運行業務 4,992,068円 ・伊勢地域公共交通会議負担金 1,521,000円 ○利用者数 78,663人 (バス:75,687人、デマンド:2,976人)	107
5. 路線バス運行維持 事業	6,420	廃止路線代替バスの運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。 廃止路線代替バス(玉城線) 6,419,520円	107
6. 自主運行バス運行 事業	9,166	沼木地区では、高齢化が進み、車など自ら移動手段を持たない高齢者が多く、買い物、通院などの市民生活を行う上で、既存の公共交通では支障をきたしていたため、地域住民の主体的な取り組みにより、交通弱者(高齢者、小中学生等)の移動手段を確保した。 自主運行バス運行事業 9,166,359円 ・自主運行バス運行業務 7,065,797円 ・その他の経費 2,100,562円 ○利用者数 6,278人	107

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 1. 税務総務費

(単位 千円)

予算現額 317,107 千円
決算額 308,752 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	201,797		13,691	93,264

収納推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 口座振替事務費	1,878	納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、口座振替納付を行っている。 ・口座振替での収納税額 5,052,454,728円 ・支出経費 金融機関口座振替取扱手数料 1,639,314円 ゆうちょ銀行郵便振替取扱手数料 58,290円 ゆうちょ銀行自動払込取扱手数料 180,660円	107

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 134,470 千円
 決算額 126,164 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			102	126,062

課税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 固定資産評価システム経費	48,625	<p>適正・公平な課税を行うため、以下の主要な業務を行い、その経費を支出した。</p> <p>○固定資産土地評価及び地番図・家屋図修正業務委託 29,290千円 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込みと平成30年度評価替え作業のため</p> <p>○固定資産土地評価及び地番図・家屋図修正業務委託 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込みと平成33年度評価替え作業のため</p> <p>【債務負担行為 (H29～H32年度)】 契約額 96,678千円 (税抜) うち、H29年度分 準備期間のため費用なし H30年度分 27,000千円 (税抜) H31年度分 38,403千円 (税抜) H32年度分 31,275千円 (税抜)</p> <p>○土地鑑定評価 (時点修正) 業務委託 10,044千円 平成30年度評価替え用に決定した鑑定評価額は、平成29年1月1日の価格基準日における評価額のため、地価下落等に伴う変動を反映させ、現状に則した価格とするための時点修正 (平成29年7月1日時点)</p> <p>○家屋評価計算業務委託 5,112千円 家屋評価計算及び家屋平面図等、計算の根拠となる資料のイメージデータ作成</p> <p>○平成30年度固定資産税評価替対応データ作成等業務委託 3,726千円 平成30年度評価替に対応するためのデータ作成</p>	107

収納推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. コンビニ収納経費	6,924	<p>納税者の利便性向上のため、市民税 (普通徴収、特別徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、コンビニエンスストアでの収納を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアでの収納税額 1,123,666,334円 ・支出経費 <ul style="list-style-type: none"> 収納代行手数料 5,079,288円 電話回線使用料 201,141円 	107

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 徴収管理一般経費	49,680	<p>高額滞納者等、整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、収納率の向上を図った。</p> <p>(徴収第一課分：高額案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> 移管件数 42件 移管総額 76,939,410円 (H29年度移管事案分) ・収納額実績 内訳 <ul style="list-style-type: none"> 52,326,543円 26,672,682円 (H28年度移管事案分) 25,653,861円 (H29年度移管事案分) ・負担金 <ul style="list-style-type: none"> 均等割額 100,000円 処理件数割額 5,880,000円 徴収実績割額 10,382,000円 計 16,362,000円 <p>(徴収第二課分：少額案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> 移管件数 0件 ・収納額実績 12,217,825円 (H28年度移管事案分) ・負担金 <ul style="list-style-type: none"> 徴収実績割額 6,993,000円 	107

(款) 2. 総務費 (項) 3. 戸籍住民基本台帳費 (目) 1. 戸籍住民基本台帳費

(単位 千円)

予算現額 313,439 千円
決算額 295,751 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,509	134		41,992	241,116

戸籍住民課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 戸籍住民関係窓口 業務等委託事業	57,553	<p>戸籍住民課の窓口業務等を民間事業者へ委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託内容 戸籍届出・住民異動届の受付・入力業務 証明書交付請求の受付・発行・交付等 ・履行期間 (第1期 3年間) 平成27年1月1日～平成29年12月31日 (第2期 3年間) 平成30年1月1日～平成32年12月31日 	109

(款) 2. 総務費 (項) 6. 監査委員費 (目) 1. 監査委員費

(単位 千円)

予算現額 33,006 千円
 決算額 32,362 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				32,362

監査委員事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 工事等技術調査委託経費	49	<p>公共工事の品質の確保・向上に役立てるため、工事監査を1件実施した。監査の執行にあたっては専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。 設計金額1億円以上の工事1件</p> <p>監査実施工事名 床ノ木水源地更新工事</p>	115

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,680,754 千円
 決算額 1,621,340 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
433,587	403,658		22,817	761,278

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 民生委員児童委員活動経費	21,877	民生委員・児童委員、主任児童委員が各地域で実施する日常の見守り活動、相談・助言活動、資質向上のための研修活動を支援した。 委員数 291名 (平成30年3月31日現在)	115
2. 福祉健康センター管理事業	44,395	指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、昭和63年建設以降、相当年数を経過しているため、設備等のメンテナンス、老朽化による施設の不具合を解消した。 【主な施設改修の状況】 ・揚水ポンプ更新工事 1,231,200円 ・高圧受変電設備改修工事 4,579,200円	115

生活福祉課 (小俣)

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館管理事業	15,532	高齢者をはじめ住民の健康増進・教養向上及びレクリエーション等の場として、小俣管内6地区にある保健福祉会館の維持管理にあたった。	115

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ハートプラザみその等管理事業	48,894	指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、平成4年建設以降、相当年数を経過しているため、設備等のメンテナンス、老朽化による施設の不具合を解消した。 【主な施設改修の状況】 ・高圧受電設備改修工事 1,080,000円 ・多目的ホール電動式移動観覧席改修工事 7,884,000円	115

高 齢 者 支 援 課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決 算 書 頁
1. <u>健康ポイント事業</u>	27,236	<p>運動・スポーツ無関心層を含む40歳以上の市民に対し、インセンティブを付与することで、ウォーキングをはじめとする運動や健康づくりを促し、将来的な健康寿命の延伸(介護予防)及び、超高齢化や人口減少社会にも対応可能な地域づくりを図った。</p> <p>事業参加者 1,000人(応募者1,149人より抽選)</p> <p>①業務委託先 株式会社タニタヘルスリンク 業務委託料 15,352,219円 業務内容 インセンティブ付与や取組みデータ管理を行うためのICTシステム利用</p> <p>②業務委託先 株式会社つくばウエルネスリサーチ 業務委託料 1,684,800円 業務内容 事業分析・評価 ポイント還元報償費 5,346,420円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 47,557,000円 ・事業参加者 1,000人 ・ICTの活用 ・魅力あるポイント交換商品の提供</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成28年度 当初予算額 35,664,000円 事業参加者 1,000人(応募者1,446人より抽選) 業務委託先 株式会社つくばウエルネスリサーチ 業務委託料 16,470,000円 共通プラットフォーム利用委託 5,886,000円 事業推進支援業務委託 10,584,000円 ポイント還元報償費 2,331,920円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 今後の展望 ・参加者枠の拡大 ・事業取組み終了後の支援策の構築 事業執行に伴う課題 ・今年度は地方スポーツ振興費国補助金を受けて事業を施行した。今後は継続的な事業運用のための財源確保が求められる。</p>	117

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 臨時福祉給付金 (経済対策分) 支給事業	300,225	消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、低所得者に対する適切な配慮を行うための暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金(経済対策分)を給付した。 給付金額 300,225,000円 (15,000円×20,015人) 【当初予算における内容・計画】 当初予算額 314,610,000円 (15,000円×20,974人) 決算額 300,225,000円 【過去の実績】 平成28年度 58,752,000円 (3,000円×19,584人) 平成27年度 122,844,000円 (6,000円×20,474人) 平成26年度 262,010,000円 (基本額 10,000円×20,084人) (加算額 5,000円×12,234人)	117

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 2,852,686 千円
 決算額 2,800,847 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,317,396	635,604		28,676	819,171

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者地域生活支援事業	144,299	<p>1. 障害者相談支援センター運営事業 障がい種別や年齢に関わらない一次相談やアウトリーチによる相談を行う東地域及び西地域の2か所の地域相談支援センターを、また、地域相談支援センターとしての機能に加え、協議会の運営、権利擁護や相談支援専門員の人材育成など地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センター機能を有する伊勢市障害者総合相談支援センターをそれぞれの社会福祉法人に運営を委託し、相談支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市障害者総合相談支援センター「フクシア」 委託先 社会福祉法人 三重済美学院 委託金額 28,011,000円 ・伊勢市障害者西地域相談支援センター 委託先 社会福祉法人 四季の里 委託金額 10,150,000円 ・伊勢市障害者東地域相談支援センター 委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 委託金額 10,150,000円 <p>2. 日常生活用具給付事業 在宅の重度心身障がいのある人等に対し、特殊マット、入浴補助用具等を給付することにより、日常生活の安定を図った。</p> <p>給付件数 2,875件 給付費 31,171,607円</p>	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>意思疎通支援等事業</u>	11,200	<p>1. 手話通訳設置事業 庁内に手話通訳者を配置し、聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置人数 本庁2名、小俣総合支所1名 ・窓口対応件数 本庁156件、小俣総合支所40件 ・事業費 7,785,845円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 11,664,570円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 5,225,754円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置人数 本庁2名 ・窓口対応件数 176件 <p>平成28年度 10,097,913円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置人数 本庁2名 小俣総合支所1名 ・窓口対応件数 本庁145件 小俣総合支所48件 <p>2. 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 聴覚障がい等のある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がい等のある人の社会参加の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者派遣件数150件、登録通訳者数12名 ・要約筆記者派遣件数63件、登録通訳者数10名 ・事業費 2,033,595円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 5,493,567円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 776,751円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者派遣件数85件、登録通訳者数11名 ・要約筆記者派遣件数34件、登録通訳者数13名 <p>平成28年度 1,001,314円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者派遣件数124件、登録通訳者数13名 ・要約筆記者派遣件数66件、登録通訳者数9名 <p>3. 手話奉仕員養成事業 聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚障がいのある人の社会参加を支援する手話奉仕員の育成を目的として手話奉仕員養成講座入門編を開催した。また、厚生労働省策定の手話奉仕員養成カリキュラム・指導要領に基づいた指導内容や指導方法を学び講師の指導力向上を図ることを目的に、三重県聴覚障害者協会が開催する講師養成講習会を受講した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員養成講座入門編 11月～3月、全23講座、34名受講 ・手話奉仕員指導者養成 9名受講（手話奉仕員養成指導者） ・委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 ・事業費 558,545円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 636,950円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 180,851円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員養成講座入門編 7月～3月、全23講座、26名受講 ・手話奉仕員ステップアップ講座 4月～3月、全12回、11名受講 <p>平成28年度 509,360円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員養成講座基礎編 4月～3月、全30講座、20名受講 ・手話奉仕員ステップアップ講座 4月～3月、全12回、10名受講 	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>4. 手話言語条例関連施策 手話は言語であるという認識に基づき、手話の理解及び普及並びに地域における手話を使用しやすい環境の構築に関し、総合的かつ計画的に施策を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 326,336円 ・市ホームページへ手話動画『みんなで手話』を掲載 ・手話イラスト入り自由帳の作成(2,000部) ・映画「ゆずり葉」上映会の実施(中学校2校) ・手話体験教室の実施(小学校5校、9コマ) <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 909,550円</p> <p>5. 点字広報・声の広報発行事業 広報を点字及び朗読することにより、視覚障がいのある人の情報保障の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字広報発行人数 12人 ・声の広報発行人数 39人 ・事業費 350,000円 <p>【事業を取り巻く状況等】 伊勢市手話言語条例と同日に障害者差別解消法が施行された相乗効果により、講演会やイベント等、不特定多数の市民が参加対象となるものへの手話通訳者の派遣が増えた。また、市民等から「手話を学ぶ場」についての問合せが増加した。</p>	

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>障がい者サポーター事業</u>	7,867	<p>これまで、障がいについて知る機会がなかったり、障がいのある人と接する機会がなかった人に、多様な障がい特性、障がいのある人が困っていることや障がいのある人への必要な配慮などを理解してもらい、障がいのある人へ「ちょっとした配慮」を実践し、障がいのある人が暮らしやすい共生のまちをつくるため、「伊勢市障がい者サポーター制度」の普及を図った。</p> <p>1. 障がい者サポーター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター登録者数 321人 (総サポーター登録者数 864人) ・サポート企業・団体登録数 5企業・団体 (総サポート企業・団体数 26企業・団体) ・障がい者サポーター研修会 3回 ・出前研修会 3か所 ・事業費 2,138,927円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 3,638,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年12月制度発足 ・平成28年度 1,960,368円 ・サポーター登録者数 543人 ・サポート企業・団体登録数 21企業・団体 <p>2. 障がい者就労体験サポート事業</p> <p>就労経験や実習の機会の少ない就労系障害福祉サービスの利用者が、職場での仕事を体験することを通じて、企業、障害福祉サービス事業所及び障がいのある人の意識改革を図り、企業と障害福祉サービス事業所等との関係の構築を図るとともに、企業に対しては障がいのある人への理解、障がいのある人に対しては働くことへの理解促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット ・委託期間 平成29年4月7日～平成30年3月31日 ・利用人数 15人 ・事業費 3,110,184円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 3,111,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度からの新規事業 <p>3. ヘルプカード・ヘルプマーク</p> <p>外見では援助や配慮を必要としていることが分からない人(障害者手帳の交付を受けている人、難病の人、発達障がいの診断を受けた人など)が、日常生活や災害時等で困ったときに周囲に知らせることで、援助や配慮を得やすくするために、ヘルプマークの作成と配付を行った。また、ヘルプマークと併せて、ヘルプカードの配付も行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成数 2,500個 ・配付数 398個 ・事業費 437,400円 <p>【事業を取り巻く状況等】 平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、障がいのある人への差別の禁止と合理的配慮が求められており、今後さらなる制度の普及と啓発が必要である。</p>	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 障害者外出支援事業	13,383	<p>1. 重度障害者タクシー料金助成事業 重度の障がいのある人の自立更生、社会参加等を促すため、障がいのある人が利用したタクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。 ・タクシー券利用枚数 18,117枚 ・助成額 10,869,150円</p> <p>2. 重度身体障害者リフト付タクシー料金助成事業 車椅子等でしか移動できない重度の障がいのある人が利用したリフト付タクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。 ・リフト付タクシー券利用枚数 1,910枚 ・助成額 1,900,040円</p>	117
5. 障害者福祉運営対策経費	61,015	<p>1. 身体障害者福祉センター運営事業 指定管理者制度により、社会適応訓練（パソコン教室等）等を実施するとともに、身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 ・年間利用人数 950人（各種教室等）</p> <p>2. 重度身体障害者デイサービスセンター運営事業 指定管理者制度により、創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の身体機能又は生活能力の向上のための支援を行う生活介護事業を実施するため、重度身体障害者デイサービスセンター「くじら」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 ・平均利用人数 16.8人/日</p> <p>3. 障がい者就労支援施設運営事業 雇用されることの困難な障がいのある人に、就労・生産活動の機会の提供、その他の知識及び能力の向上のために必要な支援を行う就労継続支援事業を実施するため、障がい者就労支援施設「ひまわり」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 ・平均利用人数 13.5人/日</p> <p>4. 自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 ・助成団体 8団体</p>	117
6. 障害者手当等給付事業	72,147	<p>在宅で重度の障がいのある人に対し、その障がいによって生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別障害者手当等を支給した。</p>	117
7. 社会的事業所創業支援事業補助金	3,015	<p>三重県社会的事業所設置運営要綱に基づく社会的事業所の設置又は運営を支援し、障がいのある人の地域社会に根ざした就労の促進及び社会的かつ経済的な自立の促進を図るため、補助金を交付した。</p>	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. おひさま児童園整備事業	28,674	みそのデイサービスセンターを改修し、児童福祉法に規定する障害児通所支援事業による理学療法などの機能訓練を実施する、こども発達支援施設おひさま児童園を新たに設置するための改修工事を行った。	117
9. 障害者介護給付等事業	2,394,334	障害福祉サービス等の利用について、介護給付費等の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	117

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 876,260 千円
 決算額 875,868 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	334,289			541,579

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者医療費支給事業	251,791	<p>身体障害者手帳1級～4級または療育手帳A1～B1の方で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 241,193千円 ・助成件数 56,833件 <p>2 証明書類の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 10,598千円 ・助成件数 52,992件 	119
2. 65歳以上障害者医療費支給事業	169,001	<p>後期高齢者医療被保険者である身体障害者手帳1級～4級、療育手帳A1～B1の方で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 169,001千円 ・助成件数 73,179件 	119
3. こども医療費支給事業	329,595	<p>出生から15歳になった日以降の最初の3月31日までの子どもで、受給資格のある方に対して医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 297,286千円 ・助成件数 164,460件 <p>2 証明書類の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 32,309千円 ・助成件数 161,544件 	119

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 一人親家庭等医療費支給事業	78,814	<p>18歳の年度末までの子どもを養育している配偶者のいない父母およびその子ども、または父母のいない18歳の年度末までの子どもで、受給資格のある方に対して医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成 ・助成額 72,725千円 ・助成件数 31,148件</p> <p>2 証明書料の助成 ・助成額 6,089千円 ・助成件数 30,443件</p>	119
5. 寡婦医療費支給事業	75	<p>現在婚姻していない60歳～69歳の女性で、配偶者と死別し、その時に20歳未満の子を扶養していた方であって、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。</p> <p>1 医療費の助成 ・助成額 72千円 ・助成件数 15件</p> <p>2 証明書料の助成 ・助成額 3千円 ・助成件数 15件</p>	119

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 4. 遺家族等援護費

(単位 千円)

予算現額 3,088 千円
決算額 2,823 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14		4	2,805

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 追悼式開催事業	1,309	<p>戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に伊勢市戦争犠牲者追悼式を挙行了した。</p> <p>・日時 平成29年7月29日(土) 10:00～ ・会場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・年々、遺族の高齢化による参加者の減少が課題であったため、平成26年度から臨時バス・マイクロバスの運行方法を再検討し、参列しやすい環境づくりに努めた。</p>	119

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 地域福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 144,495 千円
 決算額 143,410 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
48,077			9,947	85,386

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>生活困窮者自立支援事業</u>	51,127	<p>生活困窮者が抱える複合的な生活課題を包括的に支援し、困窮状態からの早期脱却を図り、かつ将来の貧困の連鎖を防止することを目的として、生活困窮者自立支援法に基づき必須事業と任意事業を実施した。</p> <p>1 自立相談支援事業(委託)：必須事業 相談者数 実346人(延べ3,467件)</p> <p>2 住居確保給付金の給付(直営+委託)：必須事業 実3世帯支給 延べ14か月分を給付 給付金額合計 485,200円 就職者数 2人</p> <p>3 就労準備支援事業(委託)：任意事業 支援者数 17人 相談回数 延284回 就職者数 4人</p> <p>4 子どもの学習支援事業(直営+委託)：任意事業 ・生活困窮家庭学習支援(直営) 学習支援員が、子どものいる生活保護世帯等へ訪問し、学習や進路相談等を実施。 対象者 小学生から高校生相当 実58人 相談回数 実47人 延べ288回 継続支援 実36人 ・生活困窮家庭の子ども学習サポート事業(委託) 学習の場を設け、学習支援を行うことにより、子どもの基礎学力を補い、貧困の連鎖の防止に努めた。 開催回数 授業形式 小学生84回、中学生84回 開催回数 個別形式 小学生85回、中学生85回 受講者数 小学生実18人、中学生実40人</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 54,178,000円 ・生活困窮者自立相談支援事業 ・住居確保給付金給付 ・就労準備支援事業 ・子どもの学習支援事業</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 1 自立相談支援事業 ・平成27年度(直営) 相談者数 実284人(延べ368件) ・平成28年度(直営) 相談者数 実218人(延べ322件)</p> <p>2 住居確保給付金の支給 ・平成27年度(直営) 実5世帯支給 延べ21か月分を給付 給付金額合計 662,900円 就職決定者数 3人 ・平成28年度(直営) 実7世帯支給 延べ33か月分を給付 給付金額合計 835,200円 就職決定者数 6人</p>	119

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>3 就労準備支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度（委託） 支援者数 15人 相談回数 延219回 就職者数 3人 平成28年度（委託） 支援者数 26人 相談回数 延299回 就職者数 7人 <p>4 生活困窮家庭学習支援（直営）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 対象者 小学生から高校生相当 実94人 訪問件数 実84人 延べ332回 継続支援 実40人 平成28年度 対象者 小学生から高校生相当 実67人 訪問件数 実37人 延べ146回 継続支援 実32人 <p>生活困窮家庭の子ども学習サポート事業（委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から実施 授業形式 開催回数 小学生81回、中学生84回 受講者数 小学生実27人、中学生実46人 <p>【事業をとりまく状況等】 生活困窮者自立支援法施行から3年が経過し、これまで支援につながってこなかったり、縦割りの各種制度の中で対応されてきた「生活困窮者」の存在が明らかになってきている。</p>	

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>小地域活動推進事業</u>	77,197	<p>※いせライフセーフティネット事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 平成29年4月に「伊勢市生活サポートセンターあゆみ」を開設しコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置、寄り添い・伴走型の「個別支援」に取り組むとともに、その課題を地域が我が事と捉え、地域が丸ごとで解決するしくみづくりへの支援（地域支援）を行う。 ◎当初予算額 77,150千円</p> <p>【具体的な取り組み】 身近な生活圏域で、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくり、「課題の早期発見・つなぐ」きっかけとして、高齢者・子育てサロンの運営・立上げ支援や福祉何でも相談の試行などを進めた。 ◎サロン立上げの相談 20箇所 ◎福祉何でも相談窓口の試行 30箇所</p> <p>【過去2カ年度の実績】 ◎前年度までの法人運営事業負担金を廃止。 平成28年度 85,000千円 平成27年度 85,000千円</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 高齢者、障がい、生活困窮、ひきこもり、虐待など重層的な課題を抱え、さまざまな公的制度を受けられず「はざま」で苦しんでいる実態が報告されている。</p>	119

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 福祉ボランティア 育成事業	14,300	<p>【当初予算における内容、計画】 地域内で活躍するボランティアやその他地域の担い手づくり、活動の活性化を支援するとともに、啓発・各種講座等を実施し、地域福祉の推進を図る。</p> <p>【具体的な取り組み】 ◎入門講座、養成講座、スキルアップ研修会、地域活動サポート体験型講座など ◎登録団体等への各種助成 ◎福祉協力校助成、夏休みちよこっと福祉体験、福祉体験学習等の福祉教育の推進 ◎企業の地域貢献活動支援</p> <p>【過去2ヶ年度の実績】 ◎平成28年度 15,956,665円 ◎平成27年度 14,392,733円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 少子化、高齢化、人口流出等が課題となる一方、地域包括ケアシステムの深化が求められ、「自助・共助」による地域づくりが求められている。地域を支える担い手の確保、育成が必要となっている。</p>	119

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 4,041,977 千円
決算額 4,028,001 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,282	307,503		69,731	3,634,485

高齢者支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 外出支援サービス 事業	24,673	<p>65歳以上の寝たきり及び歩行が全介助状態である下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な人に対し、移送用車両（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。</p> <p>利用枚数 24,303枚</p>	121
2. 緊急通報体制等整備 事業	2,742	<p>虚弱な一人暮らし高齢者や重度身体障がい者に対し、緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、一人暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。</p>	121

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 老人乗合バス運賃 助成事業	23,631	<p>75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券（100円券40枚または1回乗りきり乗車券12枚）（※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人及び第1種の手帳をお持ちの人の介護者で希望の人は、「50円券×80枚」も選択可）を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして社会参加の促進及び心身の健康の保持増進を図った。</p> <p>寿バス乗車券 交付者数 10,761人 (内訳) 100円券 9,068人 50円券 279人 乗りきり券 1,414人</p>	121
4. 老人クラブ補助金	10,908	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区単位老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。	121
5. 敬老祝品贈呈事業	2,051	<p>市内に在住する年度末時点で満88歳・100歳・最高齢の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老祝品を贈呈した。（最高齢者への贈呈は生涯に1回）</p> <p>88歳 5,000円相当 795人 100歳 10,000円相当 31人 最高齢 15,000円相当 一人</p>	121
6. 救急医療情報キット 配備事業	436	<p>一人暮らし高齢者等の要援護者に対し救急時の対策として、要援護者に係る情報を救急隊員や病院関係者へ迅速・的確に伝えるため、救急医療情報キットを配備した。</p> <p>配備件数（平成30年3月31日時点） 3,348件</p>	121
7. 老人ホーム入所措 置事業	204,221	<p>65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な人を、養護老人ホームへ入所措置した。</p> <p>入所施設数 6施設 年度当初入所者数 117名 年度中の入退所者数 入所者 13名 退所者 21名 年度末入所者数 109名</p>	121

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉施設等整備事業	48,458	<p>伊勢市第7次老人福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づき、市が選定した法人が行う地域密着型サービス施設が円滑に開設できるよう、施設整備及び開設準備に係る必要経費に対し補助した。</p> <p>また、利用者の安心・安全を確保するため市内に所在する介護施設等が行う防災・防犯改修に係る経費に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービス等整備助成事業 1件 【認知症対応型共同生活介護事業所の整備】 補助金額 32,000,000円 ・介護施設等の施設開設準備経費等支援事業 1件 補助金額 11,178,000円 ・既存施設の sprinkler 設備等整備事業 4件 補助金額 989,000円 ・防犯対策強化事業 12件 補助金額 4,291,000円 	121

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. みなとふれあいセンター管理経費	12,684	<p>みなとふれあいセンターについて指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、設備等のメンテナンスを行い、老朽化による施設の不具合を解消した。</p>	121

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護未経験者研修支援事業	150	<p>介護に従事する人材の確保及び介護職員の資質の向上を図るため、介護職員初任者研修に係る費用の一部を助成した。</p> <p>初任者研修受講者：3人（3法人）</p>	123

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 946,224 千円
決算額 895,518 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
94,402	276,741	43,400	2,967	478,008

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担金	2,000	<p>へん地にある保育所の児童送迎にかかる負担を軽減するために、社会福祉法人一宇郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。</p>	123

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 子育て支援ショートステイ事業	78	保護者の疾病等により家庭で児童の養育が一時的に困難となった場合や経済的理由等により緊急一時的に母子の保護を必要とする場合に、委託施設において養育又は保護を行った。 実利用児童数 4人 延べ利用日数 14日	123
3. 病児・病後児保育事業	16,271	児童が病気あるいは病気回復期にあるために集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで預かることにより、保護者の子育てと就労の両立支援を行った。 延べ利用人数 1,009人	123
4. ファミリーサポートセンター事業	9,459	会員間の相互援助活動により、仕事と子育ての両立を図るため一時的に子どもを預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営を行った。 年度末会員数 424人 活動件数 1,702件	123
5. <u>養育支援訪問事業</u>	496	不適切な養育状態にあるなど虐待のリスクを抱え、特に支援が必要な家庭を子育て経験者等が訪問し、育児・家事支援を通じて、児童の養育環境の維持・改善及び保護者の養育力の向上を支援した。 訪問実家庭数 1戸 訪問延件数 16件 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,252千円 ・業務委託料（訪問支援費、運営事務費） ・支援対象家庭 6戸 【過去2か年度の実績】 平成29年度新規事業 【事業を取り巻く状況等】 核家族化や地域における子育て機能の低下などにより、子育て家庭が子育て不安や孤立感等を抱える状況にある。不適切な養育状態にあり虐待リスクがある家庭に対して、育児・家事支援を行うことで、養育環境の維持・改善及び保護者の養育力の向上を図ることが重要である。 また、養育者の育児負担を軽減することで、児童虐待の予防を図る。	123
6. 放課後児童対策事業	313,801	保護者が仕事などにより昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 放課後児童クラブ数 27箇所	123
7. 一般保育事業補助金	55,470	公立保育所等職員と民間保育所等職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所等に対し補助した。 民間保育所等 21箇所	123
8. 延長保育促進事業補助金	1,980	短時間認定児童および標準時間認定児童に対し通常の保育時間を超えて長時間保育を実施している民間保育所等に対しその経費を補助した。 民間保育所等 6箇所	123

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 地域活動事業補助金	4,993	保育所等を基点とした地域住民の主體的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所等に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所等 20箇所	123
10. 障害児保育事業補助金	21,809	保育所等での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童を受け入れている民間保育所等で、基準を超える保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所等 11箇所 対象児童 (中度) 12人 (重度) 4人	123
11. 一時保育事業補助金	1,507	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のための一時的な保育を行う保育所に対しその経費を補助した。 延べ利用児童数 1日利用 79人 半日利用 4人	125
12. アレルギー等対応特別給食提供事業補助金	12,813	食物アレルギー等があり保育所等における給食に特別な配慮が必要な児童への安全な給食提供のため、民間保育所等における調理員の加配、代替食材、研修等にかかる費用を補助した。 民間保育所等 15箇所 対象児童数 72人	125
13. <u>低年齢児保育充実事業補助金</u>	29,237	民間保育所等が、低年齢児(0～2歳児)の年度途中入所に対応するため保育士の配置に必要な人件費を補助する。 ①伊勢市低年齢児保育充実事業補助金 特別保育事業を実施し、0・1歳児の受け入れのため保育士の配置に必要な経費を補助した。 ②伊勢市低年齢児待機児童対策事業補助金 待機児童の発生を防ぐため、満3歳児に達していない児童の受け入れのため保育士の配置に必要な経費を補助した。 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 31,634,000円 ①民間保育所等 8箇所 ②民間保育所等 11箇所 【過去2ヵ年度の実績 ①のみ】 平成27年度 8箇所 7,603,200円 平成28年度 8箇所 7,603,200円 【事業を取り巻く状況等】 平成29年度より②の補助事業を追加することにより、特別保育をしていない施設においても低年齢児の受入に対する人件費の補助を受けることができるようになった。	125

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
14. 民間保育所施設整備事業費補助金	22,319	<p>保育所施設の機能の維持及び向上を図るため、民間保育所が行う工事の施行に対し補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり保育園トイレ改修工事 14,200,920円 ・みやま保育園防犯カメラ設置工事 510,300円 ・あけの保育園防犯カメラ設置工事 575,100円 ・暁の星こども園正門防犯対策強化整備工事 5,427,000円 ・暁の星こども園正門防犯対策強化ドアフォン整備工事 784,080円 ・マリアこども園防犯カメラ設置工事 353,970円 	125
15. 子ども家庭支援ネットワーク事業	654	<p>伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置して、要保護児童とその家族の早期発見と適切な支援のため、関係機関との連携を図り児童虐待の防止に努めた。</p>	125
16. こども家庭相談センター事業	11,240	<p>保健師、社会福祉士及び家庭児童相談員、女性相談員、臨床心理士（非常勤）を配置し、児童虐待通告や子育て相談、DV（配偶者等による暴力）等の女性相談に対する助言指導等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童相談（児童虐待や家庭養育、不登校等） 延べ1,169件（実人数420人、うち新規204人） ・女性相談（DVや離婚問題等） 延べ 485件（実人数109人、うち新規 74人） 	125
17. <u>民間認定こども園施設整備事業費補助金</u>	239,786	<p>認定こども園施設の機能の維持及び向上を図るため、民間認定こども園が行う工事の施行に対し補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有緝こども園改築工事 239,785,969円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 241,211,000円 補正予算額 19,371,000円 ・有緝こども園改築工事</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成28年度 32,964,800円 ・太陽光発電設備設置工事 1件 ・改修工事 1件 ・防犯対策強化整備工事 1件 平成27年度 ・実施なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・市が行うべき保育の実施を民間保育所及び民間認定こども園が担っていることから、児童の安全かつ快適な保育環境を保障しなければならず、施設の機能の維持及び向上を図るための補助を今後も市が行っていく必要がある。</p>	125

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 3,925,211 千円
 決算額 3,903,649 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,976,971	701,693		249,698	975,287

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童入所施設措置 事業	6,924	児童の福祉に欠ける世帯の母子を母子生活支援施設に入所措置することで、家庭生活の安定保護を図るとともに、自立への支援を行った。また、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置を図った。 母子生活支援施設利用件数 3件 助産施設利用件数 0件	125
2. 児童手当支給事業	1,821,520	子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに、中学3年生までの子どもを養育する保護者に対し児童手当を支給した。 受給者数 8,395人 対象児童延べ人数 167,353人	125

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 555,497 千円
 決算額 554,594 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
188,604				365,990

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高等職業訓練給付 金等事業	11,579	ひとり親家庭の自立の促進を図るために、看護師等の資格養成機関で修業するひとり親家庭の父又は母に対し、生活費の負担減を図るための補助金を支給した。 高等職業訓練促進給付金 14人 高等職業訓練修了支援給付金 4人	125
2. 児童扶養手当支給 事業	539,859	父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、手当を支給した。 受給資格者数 1,296人	125

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,553,969 千円
 決算額 1,510,709 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,298	14,007		283,897	1,197,507

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保育所地域活動事業	1,853	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施した。 市立保育所 10箇所	127
2. 地域子育て支援センター事業	54,111	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、小俣子育て支援センター明倫保育所、二見浦保育園、しごうこども園	127
3. 障害児保育事業	58,799	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士及び保育補助員を加配した。 市立保育所等 13箇所 対象児童 (中度) 38人 (重度) 13人	127
4. 延長保育促進事業	9,488	11時間を超えて長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所 (大世古保育所、保育所きらら館)	127
5. 休日保育事業	3,830	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所 (保育所きらら館)	127
6. 一時保育事業	12,934	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 保育所きらら館、小俣子育て支援センター しごうこども園 延べ利用児童数 1日利用 1,526人 半日利用 1,072人	127

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 6. 子ども発達支援費

(単位 千円)

予算現額 117,786 千円
 決算額 116,877 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			34,323	82,554

こども発達支援室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. おおぞら児童園運営事業	22,990	障がいのある児童の発達の促進と障がいの軽減を図るため、通園による訓練や療育、相談等を行った。 ・児童発達支援 発達療育：延べ597人、感覚運動遊び：延べ1,057人 作業療法：延べ553人、言語療法：延べ205人 心理療法：延べ74人、機能回復訓練：延べ21人 ・放課後等デイサービス 小学部療育：延べ591人、作業療法：延べ272人 ・療育や就学等についての相談：延べ411件	129
2. おおぞら児童園管理事業	3,706	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	129
3. 障害児相談支援事業	9,717	障がい児が地域において自立した日常生活又は社会生活を送り、適切な福祉サービス等が提供されるよう障害児支援利用計画の作成等を行った。 利用計画作成延べ件数 318件 モニタリング延べ件数 696件	129

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. <u>子ども発達支援事業</u>	5,671	<p>みえ発達障がい支援システムアドバイザーが、子どもの発達や育ちに関する相談に対し支援を行い、必要なサービスや関連機関へのコーディネートを行った。</p> <p>発達障がい児の早期発見・早期支援に向け、市内の保育所（園）・幼稚園・認定こども園を巡回して、保護者や保育士・教員等からの相談を受け、助言を行うとともに、必要に応じて、療育や専門機関につなげ連携を図った。</p> <p>5歳児発達支援事業の本格実施に向けて、公立保育園2園を対象にモデル事業を実施した。</p> <p>途切れのない発達支援や発達障がいについての理解を深めるための講演会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達支援相談件数 平成29年度 延べ 446件 <p>【当初予算における内容、計画】 発達支援相談業務、5歳児発達支援モデル事業の実施 発達障がいに関する講演会の開催</p> <p>【過去2カ年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達支援相談件数（巡回相談を含む） 平成28年度 延べ 428件 平成27年度 延べ 751件 <p>【事業を取り巻く状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいに関する相談内容の多様化など、相談体制の強化が求められる。 ・子どもの発達支援については、保健・福祉・教育が連携したサポート体制の強化や、相談のワンストップ化が社会ニーズとしても求められている。 	129

(款) 3. 民生費 (項) 4. 生活保護費 (目) 2. 扶助費

(単位 千円)

予算現額 2,125,780 千円
 決算額 2,078,210 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,573,735	70,970			433,505

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 各種扶助事業	2,078,210	<p>健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。</p> <p>平成29年度実績 被保護世帯数 931世帯 被保護人員 1,137人 被保護率 9.0‰</p> <p>種別 円 生活扶助 517,349,433 就労自立給付金 6,672 住宅扶助 239,680,206 教育扶助 5,432,346 介護扶助 89,513,197 医療扶助 1,184,961,987 生業扶助 4,477,114 葬祭扶助 2,964,723 保護施設事務費 33,824,623 合計 2,078,210,301</p> <p>平成28年度実績 被保護世帯数 926世帯 被保護人員 1,160人 被保護率 9.1‰</p> <p>種別 円 生活扶助 539,768,737 就労自立給付金 96,364 住宅扶助 236,660,247 教育扶助 6,840,085 介護扶助 83,184,777 医療扶助 1,145,359,547 出産扶助 23,640 生業扶助 3,846,808 葬祭扶助 3,808,329 保護施設事務費 31,877,220 合計 2,051,465,754</p>	頁 131

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 66,874 千円
 決算額 63,093 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	17,092			46,001

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権施策推進事業	855	伊勢市人権施策推進協議会と協力し、人権尊重啓発ポスター・人権尊重啓発標語の募集、人権セミナー開催等の各種事業の展開を通じて、市民の人権意識の高揚に努めた。	131
2. 市民館講座開催事業	158	人権問題に関する理解と認識を深めるため、成人学習講座をはじめとする各種講座を開催し、市民に学習の場と気づきの機会を提供した。	131

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 2. 人権啓発推進費

(単位 千円)

予算現額 4,597 千円
 決算額 4,125 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	238			3,887

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権啓発推進事業	1,142	人権啓発パンフレット・啓発物品を作成し、「差別をなくす強調月間」及び「人権週間」を中心に、企業訪問、街頭啓発などで配布した。2月には人権映画祭を開催し、市民の人権意識の高揚に努めた。	131
2. 非核平和推進事業	1,069	非核・平和第39回空襲展を実施し戦争の悲惨さと平和の大切さを訴えていくことができた。 平和を祈念した折鶴用に「非核平和宣言都市」名入り折紙を作成し、市内中学の平和記念式典に献納するなどして活用した。 平和首長会議からのポスターを活用した原爆被災ポスター展を実施し、折鶴コーナーも設け広く市民へ非核・平和の周知を行った。9月の国際平和デーには、正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取り組みを実施するとともに、国際平和デーイベント「平和へのねがい2017～講演と音楽の夕べ～」を開催した。	131

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 講演会開催事業	890	8月の「人権を考える市民の集い」では、杉山文野さんを講師に招き、『クラスにひとりには必ずいる!?LGBTの子どもたち～誰もが抱えるそれぞれの「生きづらさ」を乗り越えるヒント～』、12月の「伊勢市人権講演会」では、増岡弘さんと劇団東京ルネッサンスを招き、「マスオの人権問題考/群読『角筈にて』」の講演会を開催し、人権啓発につながった。	131
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	860	市内22の各協議会にて、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。3月には今後の取組の充実を図るため、全協議会参加による交流会を開催し、地域での人権啓発推進に努めた。	131
5. 人権啓発講座開催事業	164	小中PTA会員と一般からの受講者を募集し、4回講座を持った。回ごとにテーマと講師を変え、講師による講演後、グループによる意見交換を行い、人権問題を広く学習する機会を提供した。延べ169名の参加があり、人権啓発に努めた。	133

(款) 3. 民生費 (項) 7. 災害救助費 (目) 1. 災害救助費

(単位 千円)

予算現額 92,770 千円
決算額 27,646 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,501			17,145

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害見舞金支給事業	14,940	伊勢市災害見舞金支給要綱、伊勢市災害弔慰金支給条例等に基づき、台風21号による被災者に対し見舞金等を支給した。 【支給内容】 ◎住家の全壊 (5万円/世帯) 対象世帯なし 〃 半壊 (3万円/世帯) 92世帯 2,760千円 〃 床上浸水 (2万円/世帯) 359世帯 7,180千円 ◎災害弔慰金 死亡 1人 5,000千円	133

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 被災住宅復旧工事補助金	5,431	台風21号により床上浸水した住宅に居住する方に対し、被災した住宅の復旧に要する費用の一部を補助した。 補助件数 71件	133

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 義援金配分委員会 経費	18	台風21号伊勢市災害義援金を募集し、伊勢市災害義援金配分委員会を設置、配分方法等を検討した。 ◎受付期間 平成30年1月31日まで ◎受入総額 13,250,485円 ※三重県、三重県共同募金会、日本赤十字社 16,863,317円 (全体 36,915,301円)	133

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生活必需品給与経費	2,750	災害救助法に基づき、台風21号により床上浸水以上の被害があった被災世帯を対象に生活必需品の支給を行った。 支給件数 173件	133

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 被災住宅応急修理 経費	4,478	平成29年10月に発生した台風第21号による被害において、災害救助法が適用されたことに伴い、自らの資力では応急修理ができない被災者を対象として、日常生活に必要不可欠な最小限の部分について、574,000円を限度とした応急修理を実施した。 件数 : 10件 扶助額 : 4,478,014円	133

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 524,961 千円
 決算額 482,692 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,247	11,242	43,000	5,835	410,368

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	45,975	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 506千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 37,573千円(実績割100%) 建設経費 7,896千円(平等割10%人口割90%)	135
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	188,389	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,291千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 170,087千円(実績割100%) 建設経費 3,238千円(平等割10%人口割90%) 公債費 12,773千円(元利補給金)	135
3. 生活排水対策啓発事業	332	伊勢市環境会議にて、各家庭における生活排水対策の啓発活動等に取り組んだ。 実施事業：勢田川七夕大そうじ、水生生物による水質調査、エコッキング教室等	135
4. 狂犬病予防事業	1,234	狂犬病予防法に基づき、獣医師会等と協力して、畜犬登録と狂犬病予防注射を行った。 畜犬新規登録件数 427頭 狂犬病予防注射接種件数 5,090頭	135
5. 合併処理浄化槽整備事業補助金	63,033	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 公共下水道認可区域外 216基 59,064千円 公共下水道認可区域内 27基 3,098千円 共同汚水処理施設の適正な維持管理を推進するため、住民で組織する団体が管理し、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事(当該修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上のものに限る)を実施した管理団体に対し補助を行った。 補助件数：2件 871千円	135
6. 太陽光発電普及促進事業	5,542	地球温暖化の防止に寄与するため、太陽光発電システム設備設置に対し1件あたり60千円を補助した。 平成29年度 ・補助金 66件 3,960千円 平成28年度からの繰越 ・補助金 26件 1,560千円	135

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. エコドライブ普及 推進事業	302	市域運輸部門の温室効果ガス排出量を削減するために、エコドライブ講習会を実施した。 市民向け2回実施 29人 職員向け3回実施 42人	135

生活福祉課（小俣）

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営 事業	22,142	地域住民の福祉の充実及び公衆衛生の向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。 また、平成19年4月1日からは、民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し、管理運営を行い、毎月6回程度のかわり湯を実施し利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成29年度利用者数 42,458人	135

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 犬猫不妊手術費等 補助金	2,262	犬や猫の適正な飼育を図るため、不妊手術費の一部助成を行った。 補助金交付件数 犬182頭 猫525頭	135
2. 環境フェア等開催 事業	852	環境問題に対する意識啓発、環境に関する市の取組への理解と協力を得るため、環境フェアを開催した。 開催日 平成29年10月9日（月・祝日） 開催場所 三重県営サンアリーナ	135
3. 環境教育推進事業	200	持続可能な社会づくりに貢献する人材育成のため、事業者や大学と連携し、環境教育の出前講座等を実施した。 ・事業者：6校 11クラス ・大学：5校 8クラス	135

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 3,655,608 千円
 決算額 3,032,950 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	539	1,657,900	31,594	1,342,917

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 健康・医療電話相談事業	7,804	市民の安心と救急医療体制の保持を図るため、健康、医療をはじめ、介護、育児やメンタルヘルスなどの、市民の心と体の様々な相談に、医師や看護師などの専門家による24時間年中無休、通話料無料の電話相談サービスを委託により実施した。17,811件の相談があった。	135
2. 一次救急医療事業	3,948	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、市民に救急医療に関する正しい知識と理解を深めてもらうよう周知に努めた。	137
3. 病院群輪番制病院運営費補助金	34,525	病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院(伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院)が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。 平成29年度は18,668人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。	137

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 健康文化都市推進事業	1,574	生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざして、第2期健康づくり指針に基づき生活習慣病の発症予防と重症化予防を中心に健康づくり活動を推進した。健康文化週間及び健康の日の啓発事業、健康づくりのリーダーとなる健康づくりアドバイザー養成講座等を開催した。重点事業への取組みとして、身体活動・運動習慣を増やすことを目的に「いせし健康体操」の作成と普及啓発の実施、ウォーキング講座の開催、ウォーキングコースの健康増進効果の検証とマップ作成、野菜の普及啓発を実施した。	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 食生活改善推進事業	977	健康づくりの基本となる食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成と、推進員の自主的な活動に対する支援を行った。	137

財 政 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>病院事業会計繰出金</u>	1,095,178	<p>病院事業会計に対して繰出基準に基づく繰出しのほか、資金不足改善及び台風21号被災に係る災害復旧のため、繰出しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常分 654,178千円 ・資金不足改善分 410,000千円 ・災害復旧経費分 31,000千円 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常分 644,332千円 ・資金不足改善分 410,000千円 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常分 696,090千円 ・資金不足改善分 485,610千円 <p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常分 651,902千円 ・資金不足改善分 530,000千円 <p>【事業を取り巻く状況等】</p> <p>病院事業は、公立病院として必要な地域医療体制を確保し、安定的に経営を継続する必要がある。これに対して繰出しを行うにあたっては、国が示す基準に準拠し適切に行うことが求められている。</p>	137

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>連携リハビリテーション医学講座設置事業</u>	24,000	<p>地域医療（主に回復期リハビリテーション）の充実を目的に設置した寄附講座により、市立伊勢総合病院へ医師が派遣され、スタッフへの指導、教育を含めリハビリテーション環境の充実を図った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 24,000,000円 ・継続的なリハビリテーション科医師派遣（常勤医師1名派遣） ・スタッフへの指導・教育を通じたネットワーク構築（医療従事者向け講演会、リハビリテーション研修等）</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成27年度 24,000,000円 ・継続的なリハビリテーション科医師派遣（常勤医師1名派遣） ・スタッフへの指導・教育を通じたネットワーク構築（医療従事者向け講演会、リハビリテーション研修等） 平成28年度 24,000,000円 ・継続的なリハビリテーション科医師派遣（常勤医師1名派遣） ・スタッフへの指導・教育を通じたネットワーク構築（医療従事者向け講演会、リハビリテーション研修等）</p> <p>【事業を取りまく状況等】 寄附講座の設置によって、継続的なリハビリテーション科医師派遣の仕組みの構築及びコメディカルスタッフの指導・教育等リハビリテーション環境の充実が図られる。</p>	137
2. <u>公的病院支援事業補助金</u>	30,000	<p>不採算医療分野のうち、公的病院である伊勢赤十字病院が市内で唯一保有する小児医療病床及び周産期医療病床の運営経費を一部補助し、地域医療体制の確保を図り、市民の安心・安全な医療の提供につなげた。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 30,000,000円 小児医療病床及び周産期医療病床の運営経費の補助</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成27年度 10,000,000円 平成28年度 30,000,000円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 伊勢赤十字病院は地域小児医療センター病院に位置づけられ、伊勢地区の小児入院医療は平成17年に伊勢赤十字病院に集約されており、今後も地域における小児入院医療の確保維持を図る必要がある。</p>	137

財 政 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 病院事業出資金	1,657,900	<p>病院事業会計の新病院建設事業費のうち企業債対象経費の1/4相当額を出資金として支出した。(合併特例債を100%充当)</p> <p>・支出額 1,657,900千円 平成29年度(現年分) 317,300千円 平成28年度からの繰越分 1,340,600千円</p> <p>・出資金算定対象の経費 建設工事 建設工事監理業務 雨水貯留槽排水管接続工事 器械備品購入費</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>・出資金 983,100千円 ・出資金算定対象の経費 建設工事 建設工事監理業務 雨水貯留槽排水管接続工事 器械備品購入費</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度出資金 29,700千円 平成28年度出資金 231,900千円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 平成29年度の新病院建設工事が台風21号被災対応による工期の遅れから繰越されたことに伴い、出資金の支出についても平成30年度へ繰越しを行った。(繰越した出資金 610,000千円) なお、地域医療体制・機能を確保する観点から、病院事業会計の新病院建設に係る経費について、その一部を負担するものであるが、財源として合併特例債を活用することにより、一般会計の実質的な負担軽減に努めている。</p>	137

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 345,103 千円
 決算額 322,472 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,734			318,738

健 康 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 予防接種事業	322,472	<p>全ての定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行うとともに、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。</p>	137

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 274,487 千円
 決算額 257,760 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
648	7,707		1,579	247,826

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	10,651	40歳以上の保険が無い方を対象にした健康増進法健康診査と、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診等を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	137
2. がん検診事業	238,352	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん(悪性新生物)を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	137
3. 歯周疾患検診事業	7,711	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 2,661人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	137
4. 成人健康相談事業	692	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ250人の相談を行った。	137
5. 訪問指導事業	354	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族261人に対し、生活習慣病の予防や介護予防に関するアドバイス、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	137

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 167,341 千円
 決算額 153,267 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,822	5,713		1,314	138,418

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	361	乳幼児期に離乳食教室等を実施し、子育てに関する正しい知識の普及や子育ての不安の解消、仲間づくりの支援を図った。1,010人の参加があった。	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 発達支援教室事業	2,617	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。また、育てにくさを感じる親に寄り添う支援として生後4か月児健診の結果等から育てにくさや育児への不安が強い親とその乳児に対して、ふれあい遊びや音楽遊び、交流会等の内容で親支援の教室を開催した。681人の参加があった。	139
3. 幼児歯科保健事業	3,284	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室 807人 ・3歳児フッ化物塗布 660人	139
4. 子育て相談事業	990	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域等で開催し、延べ3,003人の相談に対応した。	139
5. 新生児等訪問指導事業	4,872	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることで不安や悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児813人、乳幼児925人、妊産婦837人、育児支援263人の訪問を実施した。	139
6. 妊婦・乳児健康診査事業	99,211	妊娠中に14回及び乳児期に2回(4か月、10か月)計16回、県下の委託医療機関で健康診査を実施した。妊婦は延べ10,904人(県外助成を含む)、乳児は延べ1,619人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	139
7. 1歳6か月児健康診査事業	2,823	身体発育、精神発達の面で歩行や言語発達の標識が容易に得られる1歳6か月時に健康診査を実施し、890人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	139
8. 3歳児健康診査事業	4,333	身体発育及び精神発達の面で最も重要な時期である3歳の時点において、総合的な健康診査を実施し、873人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	139
9. 妊婦歯科健康診査事業	1,002	歯周疾患の早期発見、早期治療により早産や低出生体重児の出生を予防し、健やかな子育てを開始できるよう、市内及び度会郡内の実施歯科医院で、356人の妊婦に歯科健康診査を実施した。	139
10. 新生児聴覚検査助成事業	1,980	新生児聴覚検査に係る費用の一部助成(上限3,000円)をすることにより、経済的負担の軽減と先天性聴覚障がい等の早期発見と支援にむけた体制整備を行い、乳幼児の健康の保持増進を図った。660件に助成を行った。	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
11. 母子健康手帳交付 事業	514	妊娠の届出を行った885人の妊婦に対し、窓口で母子健康手帳を交付した。また、妊娠中からの保健指導を行い、母子の健康の保持増進を図った。	139
12. 不妊不育治療費助 成事業	13,760	医師が必要と認めた不妊不育治療を受けた夫婦に対し、不妊不育治療費に要する費用の一部助成（費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで）を行った。不妊治療193件、不育治療3件に助成を行った。	139
13. 未熟児養育医療事 業	5,132	入院養育が必要な未熟児26人に対して、医療の給付に要する経費を補助することにより、経済的負担の軽減と未熟児の健康の保持増進を図った。	139
14. <u>妊娠出産包括支援 事業</u>	12,388	<p>安心して妊娠・出産・子育てができるよう、中央保健センターを拠点に、母子保健コーディネーター（保健師）や助産師が中心となって、妊娠期からの切れ目ない支援の充実を図った。</p> <p>(1) 母子保健相談支援事業 母子保健コーディネーターが、妊娠期からの相談や訪問「ママ安心サポートプラン」の作成など、母子健康手帳交付時からの継続した支援を実施した。</p> <p>(2) 産前・産後サポート事業 助産師が中心となり、お母さんの悩みや不安に寄り添う支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパとママの教室（5回/年） 148人 ・おめでとうコール（産後2～3週目の産婦） 751人 ・おっぱい相談会（1回/週） 87人 ・おしゃべりタイム（1回/週） 460人 <p>(3) 産後ケア事業 産科医療機関等において母体ケア、育児相談等の産後のケアを実施した。宿泊型 6件、訪問型 2件</p> <p>(4) 拠点の運営 産前産後の母親が気軽に立ち寄って相談できる拠点『ママほっとテラス（子育て世代包括支援センター）』の運営を行った。1,517人の利用があった。</p> <p>(5) 関係機関との連絡・調整会議の開催</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 14,300,000円 ・母子保健相談支援事業の実施 ・産前産後サポート事業の実施 ・産後ケア事業の実施 ・拠点の運営 ・関係機関との連絡・調整会議の開催</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成27年度 11,644,000円 （1）、（2）の事業開始 平成28年度 16,626,000円 （3）、（4）の事業開始</p> <p>【事業を取りまく状況等】 地域のつながりの希薄化等により、妊産婦等が孤立し不安感を抱えやすくなっていると考えられることから、妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援の強化を図ることが重要である。</p>	139

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 9,373 千円
 決算額 8,091 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,704	4,387

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 共同墓地整備事業補助金	4,387	共同墓地内の環境改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し補助を行った。 補助金交付件数 10件	139

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 121,761 千円
 決算額 102,086 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			97,749	4,337

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 内科診療所運営事業	94,291	夜間や休日などに救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	139
2. 歯科診療所運営事業	7,795	休日の救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(歯科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	139

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 4,515 千円
 決算額 4,114 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,114

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 調査事業	4,114	公害防止、環境保全に努めるため、水質・騒音・振動・悪臭等について調査し現状把握を行った。	141

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 909,287 千円
 決算額 908,095 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			156	907,939

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	842,466	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 ○共通経費 6,241千円 (平等割10%加入事務数割90%) ○運営経費 463,391千円 (実績割100%) ○建設経費 183,207千円 (平等割10%人口割90%) ○公債費 186,506千円 (元利補給金) ○清掃事業所分担金 3,121.2千円	141
2. 廃棄物集積所設置補助金	4,905	ごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。 ○交付申請団体数 のべ19団体 ○補助金交付基数 27基 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	141
3. 不法投棄防止対策推進事業	772	市有地等に不法投棄された家電4品目及び処理困難物を適正に処理した。 ○主な不法投棄物の回収実績： テレビ62台、冷蔵庫17台、洗濯機18台、エアコン4台、タイヤ63本他	141

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 13,771 千円
 決算額 10,797 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			540	10,257

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再生資源回収推進事業	6,485	自治会、PTA等資源物の集団回収事業を行う団体に対して、回収量に応じ再生資源回収事業奨励金を交付することにより、ごみの減量・資源化を図った。 ○交付団体数 146団体 ○回収量 2,160t (内訳) 紙類2,059t、布類41t、缶類60t ○回収量(瓶) 1,917本 ※1kg当たり3円の奨励金 瓶については、1本当たり3円の奨励金	141
2. ごみ減量化容器設置補助金	1,034	生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。 ○家庭用 54件 59基	141

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 715,649 千円
 決算額 710,398 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16			16,115	694,267

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	358,581	ごみの減量・資源化のため、缶・金属類、資源びん(無色、茶色、その他の色)、紙・布類(新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類)、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類、乾電池及び蛍光管の分別回収を行った。 ○市内ステーション設置状況 ・資源ステーション 1,004箇所 ・資源拠点ステーション 19箇所 (内訳) 伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、早修、北浜、宮本、沼木、大湊、いせトピア、二見、小俣、明野、御菌	143
事業名	決算額	施策の成果	決算書

			頁
2. じん芥収集車購入 事業	12,068	<p>耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図った。</p> <p>○購入車両</p> <p style="padding-left: 20px;">2 t パッカー（回転板式） 1 台</p> <p style="padding-left: 20px;">3 t パッカー（回転板式） 1 台</p> <p>○収集車両台数 計 36 台</p>	143
3. じん芥収集一般事 業	23,918	<p>ごみ収集業務のほか、市民から搬入されたガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の適正処理を行い、環境保全の推進を行った。</p> <p>また、小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。</p> <p>○伊勢年間搬入量 568,035 kg</p> <p>○小俣年間搬入量 28,242 kg</p>	143

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 57,876 千円
 決算額 54,933 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,595	47,338

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若年求職者等支援事業	4,510	いせ若者就業サポートステーションと連携し、若年求職者・無業者を対象に個別ケースにあわせた支援を実施し、早期就職の実現を図った。 ○伊勢市若者就職総合支援事業 ・臨床心理士による心理カウンセリング ・適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム ・講演会 ・セミナー・講座 ・ボランティア体験 ・就労体験 ・市内事業所見学会 ・ネットワーク会議	143
2. 就労支援事業	835	○障がい者雇用促進 障がい者雇用に関する理解を深めてもらうため、事業所等を対象に、セミナーを実施した。参加者は12名であった。 また、啓発パンフレットを3,000部作成し市内の事業所に配布した。 ○女性の再就職支援セミナーの開催 結婚、出産、育児などにより離職した女性の再就職を支援するため、セミナーを実施した。参加者は5名であった。 ○人材活用セミナーの開催 高齢者・女性の人材活用、企業の雇用の確保を図るため、事業所等を対象にセミナーを実施した。参加者は6名であった。	143
3. 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金	13,284	中小企業で働く勤労者と事業主への福祉制度の充実を推進し、併せて中小企業の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。	143
4. 勤労者ふれあい事業	1,200	10月9日(月・祝)県営サンアリーナにて、一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとりT・I・M・E you・ゆう・遊ing」を開催した。	143
5. 高齢者労働能力活用事業費補助金	17,233	社会の高齢化が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した公益社団法人伊勢市シルバー人材センターに対し、管理運営費の補助を行った。	143

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. サンライフ管理運営事業	8,436	勤労者の健康増進、体力及び教養文化の向上を図るため、指定管理者による運営を行うとともに、高圧受電設備の改修等を実施した。	145
7. 労働福祉会館管理運営事業	6,869	労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。	145
8. 勤労者持家促進資金貸付金	2,130	勤労者の負担を緩和し持家の促進を図るため、市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が、東海労働金庫の住宅貸付を利用し、市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する際の利子軽減を行った。	145

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 2. 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 364,273 千円
 決算額 362,971 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12		267,028	95,931

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢地域農業共済事務組合事務承継事業	267,026	伊勢地域農業共済事務組合の解散に伴い、本市が事務承継団体となり、打切り決算に伴う決算事務及び未収金の収納、未払金の支払いなどの承継事務を行った。	145

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 38,873 千円
 決算額 34,432 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	18,538		442	15,452

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農業近代化資金等利子補給補助金	416	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のため借り入れた資金の利子補給を行った。	147
2. 遊休農地活用事業	735	遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、営農可能な状態に回復するための支援を行った。	147
3. 新規就農者総合支援事業	15,000	経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。	147
4. 農業振興補助金	2,058	農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。	147
5. 経営所得安定対策推進事業	5,685	意欲ある農業者が需要のある作物を生産することに対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。	147

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. <u>6次産業化推進事業</u>	531	<p>6次産業化による農業者の経営向上に関する取り組みの検討・推進を図った。また、6次産業化支援事業補助金により、市内産の農産物を使用した新たな加工品の開発等に係る経費について、支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化支援事業補助金による支援 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初予算額 2,080,000円 ・6次産業化支援事業補助金 ・市と各種団体が共同で取り組む6次産品試作の材料費 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成28年度 1,040,200円 平成27年度 361,724円</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化・地産地消法が創設され、国庫事業でも6次産業化の取り組みに対して支援されている。 ・6次産業化の主たる目的は農業者の所得向上であるが、観光、外食業など異業種と連携して特産物等の開発に繋がれば、地域の活性化にも期待できる。 	147
7. 農地中間管理事業	898	<p>今後、農業者の減少により耕作者のいない農地の増加が見込まれるため、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化に対する支援を行った。</p>	147
8. <u>農産物ブランド化推進事業</u>	1,221	<p>市内農産物（青ねぎ、いちご、トマト、かぼちゃ、蓮台寺柿、横輪いも）の生産量拡大、販路拡大、高付加価値化、知名度の向上を推進する取り組みを行う団体等に対して支援し、地域農業の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物ブランド化推進事業補助金による支援 ・三重テラスにおける農産物のPR <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初予算額 3,456,000円 ・農産物ブランド化推進事業補助金 ・ブランド化推進農産物のPR、販路拡大 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成28年度 1,067,000円 平成27年度 9,916,816円 ※平成27年度については、地方創生事業で実施</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、産地間競争の激化に伴う農産物価格の低迷などにより農業を取り巻く環境は厳しい状況になっている。その中で、地域農業の振興や農業者の所得向上を図るため、農産物の認知度向上及び販路拡大等を行う農産物のブランド化の推進が必要である。 	147

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 地産地消推進事業	1,287	市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知し、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。 また、農産物直売所事業に対して消耗品や資材面で支援を行うことにより、地域農業における農村コミュニティの再構築や地域農業の維持発展を図った。	147
10. 特色ある農産物づくり支援事業	250	先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。	147
11. 農業体験学習事業	863	食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食を育む産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。	147

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 124,360 千円
決算額 121,528 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	67,901		1,565	52,062

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二見しょうぶロマンの森維持管理経費	8,691	指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設の管理運営を行った。 ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合 ・開館日数 356日 ・来客人数 140,057人	147
2. 伊勢市都市農山村交流促進施設維持管理経費	3,059	横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。 ・指定管理者 横輪町活性化委員会 ・開館日数 265日 ・来客人数 7,884人	147
3. 多面的機能支払交付金事業	90,690	農業者又は地域住民を含めた組織等で取り組む農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全活動や推進活動に対し支援を行う『農地維持支払交付金』と水路、農道等の施設の軽微な補修や農村環境保全活動等の取組みに対し支援を行う『資源向上支払交付金(共同活動)』と老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の活動に対し支援を行う『資源向上支払交付金(施設の長寿命化)』を支払った。	149

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,393 千円
 決算額 3,393 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,393

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 畜産振興事業	3,393	食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。	149

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 302,479 千円
 決算額 182,118 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,346	100,100	6,606	47,066

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 土地改良事業補助金	20,312	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付件数・・・9件	149
2. 県営事業負担金	79,582	<p>県営かんがい排水事業負担金</p> <p>○宮川4工区【H28繰越】 事業期間 平成18年度～平成32年度 事業内容 用水路工 522.6m、測量設計 一式 用地補償 一式 事業費 433,000千円 負担区分 ・幹線 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10%</p> <p>・支線 国50% 県25% 市町8.333% 宮川用水16.667% →伊勢市負担額 63,856,612円 →うちH28繰越37,796,632円</p> <p>○有爾中・明星地区【H28繰越】 事業期間 平成27年度～平成32年度 事業内容 用水路工 1651.5m、測量設計 一式 用地補償 一式 事業費 150,000千円 負担区分 国55% 県25% 市町12.5% 宮川用水7.5% →受益面積割 伊勢市0.056% →伊勢市負担額 84,000円 →うちH28繰越66,080円</p>	149

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>○田丸地区【H28繰越】 事業期間 平成27年度～平成32年度 事業内容 用水路工 50m、測量設計 一式 事業費 15,000千円 負担区分 国55% 県25% 市町12.5% 宮川用水7.5% →受益面積割 伊勢市7.215% →伊勢市負担額 1,082,250円 →うちH28繰越526,695円</p> <p>高度水利機能確保基盤整備事業負担金</p> <p>○小俣地区【H28繰越】 事業期間 平成21年度～平成31年度 事業内容 用水路工 2,100m、測量設計 一式 用地補償 一式 事業費 150,000千円 負担区分 ・幹線 国55% 県27.5% 市10% 宮川用水7.5% ・支線 国55% 県27.5% 市3.15% 小俣土改14.35% ・農道 国55% 県27.5% 市17.5% →伊勢市負担額 4,725,000円 →うちH28繰越3,906,000円</p> <p>○宮川左岸地区【H28繰越】 事業期間 平成26年度～平成31年度 事業内容 用水路工 1,787m、測量設計 一式 用地補償 一式 事業費 530,000千円 負担区分 国55% 県27.5% 市町10% 地元7.5% →受益面積割 伊勢市 幹線4.888% 支線1.8682% →伊勢市負担額 22,340,382円 →うちH28繰越15,531,820円</p> <p>農業用施設アスベスト対策事業負担金</p> <p>○城田・下外城田地区【H28繰越】 事業期間 平成26年度～平成31年度 事業内容 用水路工 5,378m、測量設計 一式 事業費 268,000千円 負担区分 国55% 県35% 市町5% 地元5% →受益面積割 伊勢市2.426% →伊勢市負担額 5,340,552円 →うちH28繰越5,340,552円</p>	

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>県営かんがい排水事業負担金</p> <p>○宮川4工区 事業期間 平成18年度～平成32年度 事業内容 用水路工 1,315m、測量設計 一式 用地補償 一式 事業費 516,096千円 負担区分 ・幹線 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10% ・支線 国50% 県25% 市町8.333% 宮川用水16.667% →伊勢市負担額 77,414,400円 →うち現年 5,700,000円 繰越 71,714,400円</p> <p>○有爾中・明星地区 事業期間 平成27年度～平成32年度 事業内容 用水路工 4,000m、測量設計 一式 用地補償 一式 事業費 80,000千円 負担区分 国55% 県25% 市町12.5% 宮川用水7.5% →受益面積割 伊勢市0.056% →伊勢市負担額 44,800円 →うち現年 3,920円 繰越 40,880円</p> <p>○田丸地区 事業期間 平成27年度～平成32年度 事業内容 用水路工 784.7m、測量設計 一式 用地補償 一式 事業費 208,800千円 負担区分 国55% 県25% 市町12.5% 宮川用水7.5% →受益面積割 伊勢市7.215% →伊勢市負担額 15,064,920円 →うち現年 7,554,105円 繰越 7,510,815円</p> <p>高度水利機能確保基盤整備事業負担金</p> <p>○小俣地区 事業期間 平成21年度～平成31年度 事業内容 用水路工 6,449m、測量設計 一式 用地補償 一式 事業費 360,000千円 負担区分 ・幹線 国55% 県27.5% 市10% 宮川用水7.5% ・支線 国55% 県27.5% 市3.15% 小俣土改14.35% ・農道 国55% 県27.5% 市17.5% →伊勢市負担額 11,682,500円 →うち現年 1,120,550円 繰越 10,561,950円</p>	

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 94,269 千円
 決算額 67,248 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	121		5,162	61,965

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	14,294	<p>排水機場の設備の定期的な整備補修、更新等を実施することにより、施設の機能保持を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とする。</p> <p>土地改良施設維持管理適正化事業で整備を実施 事業費の90%が交付金対象 (国:30%、県:30%、市:30%) 90%のうち市負担30%及び事務費2.5%を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。 (概要) 平成29年度現年分 小川排水機場 設計業務 一式 1件 主ポンプ整備 一式 1件</p>	149

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 59,529 千円
 決算額 55,186 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,525		3	35,658

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 森林病害虫防除事業	2,949	<p>海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布6.05ha 伐倒破砕18.9m³ 下刈3.8ha</p>	151
2. 獣害防止事業	8,621	<p>野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会が実施する事業に対して負担金を支出し、集落を含む関係機関が一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。 また、伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。</p>	151
3. 森林環境創造事業	907	<p>音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行っている。平成14年度からいせしま森林組合に委託しており、本年度は3.96ha実施した。</p>	151

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 森林整備事業	15,730	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用して、松くい虫防除（樹幹注入）を実施し、暮らしに身近な森林づくりを行った。 樹幹注入 203本	151

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 4,278 千円
決算額 3,662 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	600			3,062

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 種苗放流事業補助金	1,281	伊勢湾・宮川各漁業協同組合が実施するアサリ、クルマエビ、アユ等の種苗放流事業に対して支援し、資源の増大・確保と漁家経営の安定を図った。	151
2. 水産教室実施事業	67	水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、早修小学校5年生(21人)、佐八小学校5年生(9名)に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への興味の高揚を図った。	153
3. 干潟等保全活動支援事業	640	地区漁業者を中心とした干潟保全活動(伊勢干潟保全会・村松浅場保全会)に対しアサリ着底基盤材等の購入に係る費用を支援し干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。	153
4. 漁業近代化資金利子補給補助金	68	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借りに生じる利子を補給し、復旧に必要な資金の借りの円滑化と漁業経営の再生を図った。	153

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>水産振興事業</u>	1,606	<p>伊勢湾漁業協同組合の移動販売車導入に係る費用に補助することにより、市内及び県内で水揚げされた新鮮な水産物を地元消費者に直接届けるとともに水産物の知名度向上、漁業者の収入増を図った。</p> <p>導入車両 軽保冷車 交付金額 1,460,000円 ※うち500,000円は県補助金 販売箇所8箇所 のべ利用者数：約14,300人 ※平成28年7月～平成30年3月</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,280,000円 ※先進地視察に伴う旅費130,000円及びイベントにおける水産物PR用材料費50,000円を含む。</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成28年度(初年度)実績 導入車両 2t保冷車 交付金額5,000,000円 ※うち2,500,000円は県補助金 販売箇所8箇所 のべ利用者数：約6,700人 ※平成28年7月～平成30年3月</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・地域へ新鮮な水産物を提供でき、漁業者の収入増にも繋がった。 ・専属の職員1名が新規雇用された。 ・軽保冷車の導入により、2t保冷車で対応できない販売ルートや地産地消の店認定店をはじめとする市内飲食店への配達等が可能となったことにより、新たな販路の確保を進めている。</p>	153

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 3. 漁港管理費

(単位 千円)

予算現額 76,789 千円
 決算額 60,247 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	35,824	14,300	2,587	7,536

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 水産物供給基盤機能保全事業	54,023	<p>管内漁港の機能保全事業を推進した。</p> <p>【事業内容】 松下漁港において航路及び泊地の浚渫を実施した。 また、西防波堤の保全工事に先立ち測量及び設計業務を行った。 ・松下浚渫工事 ・松下漁港西防波堤測量業務委託 ・松下漁港西防波堤設計業務委託 村松漁港において水域の保全工事を実施するため機能保全計画を策定(水域施設を追加)した。 ・村松漁港深浅測量業務委託 ・村松漁港機能保全計画書作成業務委託</p>	153

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 77,559 千円
 決算額 73,516 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,096			69,420

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消費生活センター運営事業	6,480	架空請求や悪質商法、多重債務など消費生活に関するトラブルについて、専門相談員による相談を行った。また、被害を未然に防ぐため、紙芝居などを活用し、高齢者クラブを中心にわかりやすい出前講座を8回実施したほか、伊勢市消費生活センターの周知のため市内のイベントに2回ブース出展した。また、消費者被害を未然防止を図るため、「悪質商法トラブル防止ステッカー」を作成し、広報いせ10月1日号に挟み込みをし、全戸配付を行った。 消費生活相談件数 718件	153
2. 中小企業災害復旧資金利子補給補助金	104	台風21号により被災し災害復旧に必要な融資を受けた中小企業者へ融資に係る利子の一部を補助した。 補助件数 4件	153

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 201,882 千円
 決算額 167,393 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	276		2,261	164,856

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小規模事業資金保証料補給補助金	5,661	伊勢商工会議所または伊勢小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金または小規模借換資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。 補助件数 172件	155
2. 経営改善普及事業	17,344	地域経済を支える中小企業・小規模企業の経営改善及び経営基盤の強化を支援するため、また、中小企業等への相談や指導の充実化を図るため、伊勢中小企業相談所(伊勢商工会議所内)及び伊勢小俣町商工会が行う経営指導事業や専門家派遣事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。 ・経営改善普及事業補助金 補助件数 2件 ・専門家派遣事業補助金 補助件数 2件	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 商店街等振興対策事業	16,422	<p>地域のコミュニティの担い手としての役割が期待されている中心市街地商店街等の活性化を図るために、商店街等空店舗対策事業、商店街等活性化対策事業、商店街等PR支援事業及び商店街等の通行量調査を実施した。</p> <p>(1) 商店街等空店舗対策事業 補助件数 12件 中心市街地商店街等の空店舗の解消を図るため、伊勢まちづくり株式会社が実施する空店舗対策事業に負担金を支出した。</p> <p>(2) 商店街等活性化対策事業 補助件数 3件 中心市街地商店街等の集客力及び機能回復を図るために、伊勢まちづくり株式会社が実施する商業まちづくり補助金事業に対して負担金を支出した。</p> <p>(3) 商店街等PR支援事業 商店街等の空店舗の解消や活性化を図るため、伊勢まちづくり株式会社が行う商店街の広報に対して負担金を支出した。</p> <p>(4) 商店街等の通行量調査 まちなかの回遊性の実態や、にぎわい創出の効果等、各商店街における来街者の動向を適切に把握し、今後の経営戦略や商店街の活動に対する指標とするため、伊勢まちづくり株式会社が行う通行量調査に対して負担金を支出した。</p>	155
4. <u>経営力向上支援事業</u>	6,790	<p>中小企業・小規模企業の持続的発展を促し地域経済の活性化を図るため、対象となる三重県融資制度、日本政策金融公庫融資制度を受けた場合にその融資にかかる利子の一部の補給補助を行う。</p> <p>また、伊勢商工会議所及び伊勢小俣町商工会が実施する中小企業・小規模企業者の経営を向上させるため実施する取り組みに対し支援を行う事業に対して補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営力向上支援事業利子補給補助金（新規） 補助件数：88件 ・三重県版経営向上計画実施支援補助金（新規） 補助件数：2件（事業者：19件） <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 17,089,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営力向上支援事業利子補給補助金の交付 ・三重県版経営向上計画実施支援補助金の交付 <p>【過去2か年度の実績】 新規事業のため過去の実績なし。</p> <p>【事業を取りまく状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県版経営向上計画実施支援補助金を実施したことで事業者が積極的に計画を策定し、計画認定数が三重県内の自治体で最も多い結果となった。 	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>創業支援事業</u>	14,031	<p>創業や事業所の移転を促進することで雇用の創出及び移住・定住の促進を図るため、創業支援事業計画に基づいて、創業支援事業者が行う事業に要する経費の一部を補助、新たに伊勢市内に事業所を設置し創業等を行う者の創業・移転に必要となる経費の一部の補助、創業関連融資制度のうち対象となる融資を受けた場合にその融資に係る利子の一部の補助、また、融資に係る信用保証協会の保証料を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業計画事業補助金 補助件数 1件 ・創業・移転促進補助金（新規） 補助件数 19件（うち繰越対象者7件） ・創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助金 補助件数 49件 ・創業・再挑戦アシスト資金利子補給補助金（新規） 補助件数 20件 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 15,143,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業計画事業補助金の交付 ・創業・移転促進補助金の交付 ・創業再挑戦アシスト資金保証料補給補助金及び利子補給補助金の交付 <p>【過去2年間の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業計画事業補助金 補助件数 1件（平成27年度、平成28年度共に） ・創業再挑戦アシスト資金保証料補給補助金 補助件数 平成27年度 44件 平成28年度 53件 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業・移転促進補助金について、年度を越えて創業する者については繰越予算にて対応することとした。 	155
6. 住宅・店舗リ フォーム等促進事 業補助金	17,726	<p>市内住宅関連産業の振興を促し、地域経済の活性化を図るために、住宅や店舗のリフォーム等を行う者に対し、補助金を交付した。 補助件数 191件</p>	155
7. 地域産品販売促進 事業	2,716	<p>伊勢の食材や特産品など地域資源の販路拡大や全国における認知度の向上を図るため、首都圏や大都市圏において、物産展や食材のPRを行った。 また、伊勢市内の中小企業者の販路拡大及び新規需要開拓を促進するため、商談会や見本市等に出展する中小企業者に対して補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産展・食材PR 計8回 （県外5回、県内3回） ・商談会等出展支援事業補助金 補助件数 15件 	155
8. 商業活性化推進事 業	3,569	<p>伊勢市内の商業振興を図るため、地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取り組む商業団体等に対して事業費の一部を補助する商業魅力アップ支援事業補助金を実施した。 補助件数 5件</p>	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 全国菓子大博覧会・三重開催支援事業	30,007	平成29年4月21日～5月14日の24日間、県営サンアリーナ及びその周辺を会場として第27回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博2017）が開催されるに当たり、負担金の支出等により開催を支援した。 （1）開催支援負担金 20,000,000円 菓子産業等の振興発展や他産業への波及効果に加え、地域経済の活性化や交流人口の拡大などが期待できることから、実行委員会に対し負担金を支出した。 （2）交通対策負担金 8,258,000円 開催期間中に予想される交通渋滞に対し、周辺道路の管理者である伊勢市と伊勢二見鳥羽ラインの管理者である三重県において対策を講じる必要があるが、より効率的かつ円滑に実施するため実行委員会が一括して行うこととし、これに係る費用を負担金として支出した。	155
10. 皇學館大学地域連携活動事業	789	中心市街地及び商店街の賑わいの創出を図るため、中心市街地内の空店舗等を活用し、皇學館大学生の地域における活動拠点の維持に係る費用に対して、補助金を交付した。拠点では大学生が地域社会に関するゼミや市内商店街や地域団体への支援・協力、イベントへの出展、地元企業と連携し、旅行商品の企画などを行った。	155
11. タウンマネージャー設置支援事業	556	伊勢市中心市街地活性化基本計画に掲げた事業を推進するため、まちづくり等に関する専門的知見や経験を有し、関係者との連携・調整を図りながら中心市街地の活性化に資する業務に取り組むことのできるタウンマネージャーの設置に対し伊勢商工会議所に補助金を交付した。	155
12. <u>プレミアム付き地域商品券発行支援事業</u>	51,782	地元中小企業等の販売意欲ならびに消費者の購買意欲を高め、官民連携により地域経済の活性化を図るため、伊勢商工会議所（協力事業者：伊勢小俣町商工会）が行うプレミアム付き地域商品券発行事業に対して補助金を交付した。 補助金額 51,782千円 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 55,000千円 販売額 300,000千円（額面総額 345,000千円） 発行冊数 30,000冊 1冊あたりの販売額 10,000円（額面11,500円） プレミアム率15%（プレミアム分総額45,000千円） 事務経費 10,000千円 【過去2年間の実績】 平成27年度実績 補助金額 150,025千円 販売額 500,000千円（額面総額 600,000千円） 発行冊数 50,000冊 1冊あたりの販売額 10,000円（額面12,000円） プレミアム率20%（プレミアム分総額100,000千円） 【事業を取りまく状況等】 ・市内登録店は724店舗（大型店29店舗、小規模店695店舗）であり、商品券の利用内訳は大型店が約40%、中小規模店が約60%であった。 ・アンケート調査から、今回の商品券事業が商業活性化に役立ったと回答した消費者が66%を超え、商品券がきっかけで普段利用しない中小規模店を知るきっかけとなったとの声があった。	155

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 145,617 千円
 決算額 139,749 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			22,365	117,384

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. ものづくり推進事業	3,304	中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」を、伝統工芸品産業の再生と後継者育成に繋がる事業に対し、「伝統工芸品等再生支援事業補助金」を交付した。 ・新産業創出支援事業補助金 補助件数 2件 ・伝統工芸品等再生支援事業補助金 補助件数 2件	155
2. 企業立地推進一般経費	2,803	サン・サポート・スクエア伊勢の維持管理に努めた。	155
3. <u>企業立地推進事業</u>	555	産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、市内企業への情報収集、伊勢市企業立地マッチング促進事業の創設などを実施した。 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 5,374,000円 ・企業訪問 ・不動産鑑定評価 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会等負担金 【過去2カ年度の実績】 平成28年度 129,033,321円 ・企業訪問 ・神薮工業団地地積更正 一式 ・不動産鑑定評価 一式 ・神薮地区揚水試験 一式 ・神薮地区地下水調査 一式 ・神薮工業団地用地の取得 A=94,642㎡ ・伊勢志摩地域産業活性化協議会等負担金 平成27年度 18,369,992円 ・企業訪問 ・サン・サポート・スクエア伊勢污水管渠布設工事 L=146m ・サン・サポート・スクエア伊勢舗装工事 A=602㎡ ・サン・サポート・スクエア伊勢整備工事 一式 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会等負担金 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会による企業連携セミナー 【事業を取りまく状況等】 ・市の工業団地であるサン・サポート・スクエア伊勢、神薮工業団地については完売となり、更なる企業誘致の推進の為に、新たな適地の確保が急務となっている。 ・全国的に見ると生産拠点の統廃合などによる既存立地企業の地域外流出の動きもある為、市内立地企業の市外移転を防ぐ手立ても必要となっている。 ・三重県及び関係機関等との連携の下、市外からの企業誘致並びに市内既存企業の事業高度化及び市外流出抑制のため、企業訪問等を行い、情報収集及びネットワークの構築を図る。	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 工場等誘致奨励事業	69,063	「伊勢市工場等立地促進条例」に基づき、奨励金を交付した。 奨励金実績 12件	155
5. 産業支援センター 管理運営経費	46,090	平成24年度から、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため、指定管理制度を導入した。指定管理者（伊勢商工会議所）は施設の管理運営と企業訪問による課題の聴き取り及び解決、起業家育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。	155

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 351,142 千円
 決算額 335,717 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,686	334,031

生活福祉課 (二見)

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事業	10,164	<p>国指定重要文化財である賓日館の運営及び維持管理について、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることで、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図り、より多くの集客に繋げた。また、施設の適正な管理を行い、維持向上に努めた。</p> <p>○入館者数 H29年度 32,168人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災保険料 48千円 ・指定管理委託料 7,300千円 ・AED・駐車場用地賃借料 1,652千円 ・賓日館高圧受変電設備改修工事 384千円 ・小破修繕 162千円 <p>(文化振興課にて執行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 618千円 	157

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 海水浴場管理運営事業	10,000	<p>二見浦海水浴場の開設及び施設維持管理等を(公社)伊勢市観光協会に委託して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設期間：平成29年7月8日～8月31日 (天候不良で2日閉鎖したため、開設日数は53日。) ・海水浴客数(延べ)：11,350人 	157
2. バリアフリー観光向上事業	1,490	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢おもてなしヘルパー事業 高齢者や身体の不自由な方が内宮を安心して参拝できる体制を整えるため、関係団体と受入体制整備を行った。 ・バリアフリー観光情報発信事業 平成26年度に身体が不自由な方にもまち歩きを楽しんでもらえるよう作成したウェブサイトの店舗情報の更新と、新規店舗の追加を行った。 	157
3. おもてなし推進事業	1,980	<p>観光客とのふれあいを通じ、子供たちに伊勢の魅力を知ってもらうことを目的として、地元団体及び学生ボランティアの協力を得て、伊勢っ子育て事業を実施した。</p> <p>また、観光協会と協働で、観光客をもてなすための各種事業を実施した。</p>	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 案内ガイド連携事業	295	案内人の質の向上・情報共有・一体感の醸成を目的とした市内観光案内ガイド団体の連絡協議会「伊勢たびナビの会」に事務局として参画し、運営を行った。	157
5. <u>外国人観光客受入 強化事業</u>	15,804	訪日外国人旅行者数増に伴い、伊勢を訪れる外国人観光客の増加が見込まれることから、受入環境の整備等を行った。 【平成29年度の実績】 決算額 15,803,676円 ・観光案内所の外国人観光客受け入れ体制強化 ・外国人観光客実態調査の実施 ・インバウンドエリアマーケティング事業の実施 ・多言語マップ・パンフレットの作成 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 16,666,000円 ・観光案内所の外国人観光客受け入れ体制強化 ・外国人観光客実態調査の実施 ・インバウンドエリアマーケティング事業の実施 ・多言語マップ・パンフレットの作成 【過去2カ年度の実績】 平成28年度 14,847,733円(繰越含む) 平成27年度 2,869,393円 【事業を取りまく状況等】 現在、国をあげて外国人観光客誘致促進に取り組んでおり、観光事業者の関心も高い中、誘客促進とあわせて外国人観光客の受け入れ環境整備が求められている。	157
6. 案内所管理運営経費	33,151	伊勢市駅、宇治山田駅、二見浦、外宮前、宇治浦田の各観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所における運営管理業務を、(公社)伊勢市観光協会に委託して実施した。	157
7. 観光協会負担金	4,708	広く市内観光産業活性化のために活動できるよう、(公社)伊勢市観光協会の財政基盤安定を目的として支援を行った。	157

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光振興基本計画 推進事業	8,720	伊勢市観光振興基本計画推進委員会を設置し、平成30年度から平成33年度を計画期間とする新しい観光振興基本計画を策定した。また、平成29年度までの計画の検証を行った。 さらに、当市を訪れる観光客の行動実態を明らかにするため、伊勢を訪れた観光客に対面式の聞き取り調査を実施した。	157
2. 旅客受入基盤整備 事業	5,900	神宮に続く観光スポットとして朝熊山へ訪れてもらうため、三重交通(株)と協働で参宮バスを運行した。	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>3. <u>内宮周辺トイレ整備事業</u></p>	<p>0</p>	<p>近年の公衆トイレを取り巻く環境の変化により、観光客や近隣店舗、関係団体等から内宮周辺トイレに対し、「数が足りない」、「汚い」、「臭い」などの苦情や意見が寄せられている。そのため、平成25年度に実施した「伊勢市バリアフリー観光旅行調査」等の結果も踏まえ、宇治浦田街路広場に公衆トイレ新設を計画し、平成29年度から設計業務委託を行っている。（平成31年度4月運用開始予定）</p> <p>【平成29年度の実績】 決算額 0円（翌年度繰越額4,104,000円） ・宇治浦田街路広場公衆トイレ（仮称）新築工事 設計業務委託 実施期間 平成30年2月23日～7月20日</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,486,000円 ・宇治浦田街路広場公衆トイレ設置工事 設計委託</p> <p>【過去2カ年の実績】 平成29年度からの新規事業</p> <p>【事業と取りまく状況等】 内宮周辺のトイレ環境は観光客や観光関係者から様々な苦情や意見が寄せられており、トイレ環境が観光地のイメージに大きな影響を与えることから、早急な環境整備が求められている。</p>	<p>157</p>

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 2. 旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 255,013 千円
 決算額 225,059 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,959	217,100

観光誘客課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>観光情報発信事業</u>	73,161	<p>誘客宣伝を目的に、新聞・雑誌等への広告出稿や、パンフレット、ホームページ等を活用した情報発信を行い、来訪者の新規開拓、リピーターの確保を図った。 また、公共交通機関とのタイアップによる誘客キャンペーン、首都圏や大阪、九州でのPR等を実施した。 ※平成27年度から御遷宮誘客宣伝事業を観光情報発信事業に集約</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 85,899,000円 ・各種広告事業(雑誌・テレビ等) ・パンフレット・ホームページ等での情報発信 ・タイアップキャンペーン、協働PR等 繰越予算額 1,863,400円 ・新観光プログラム「常若婚」にかかる情報発信</p> <p>【平成29年度の実績】 ・新聞や雑誌等への広告記事の掲載による情報発信 ・駅貼りポスター等での誘客宣伝及び公共交通利用促進 ・デジタルメディアを活用したタクシー車内等での広告 ・放送メディアを活用した情報発信 ・インターネットを活用した情報発信 ホームページアクセス数 1,076,552件 フェイスブック「いいね」数 約2,600件 ・(公社)伊勢市観光協会と共同で運営するホームページの全面リニューアル ・パンフレット等作成による情報発信及び誘客活動 パンフレット発送数 1,091件 ・関係団体との協働によるPRキャラバン ・新観光プログラム「常若婚」の展開 ・市内での体験及び宿泊を促進する「コト旅in伊勢」キャンペーンの展開</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成28年度 89,185,994円 平成27年度 82,298,850円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・今後の方向性として、広報媒体のアナログからデジタルへの移行を検討する時期となっている。</p>	157

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広域連携事業	1,253	(一財)伊勢志摩国立公園協会、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会、国立公園関係都市協議会に参画し、広域での連携を強化した。 また、「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020」に基づき、伊勢志摩国立公園管内の景観・環境等の整備を進めると同時に、新たに設立された伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会にも参画した。	157

観光誘客課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広域連携事業	3,115	伊勢熊野観光連絡協議会、(公社)三重県観光連盟、(公社)日本観光振興協会等に参画し、事業展開を図った。	157
2. ターゲット戦略推進事業	3,078	伊勢の観光資源を活用した旅行商品の開発等、伊勢への誘客を積極的に推進した。	157
3. 伊勢志摩広域観光活性化事業	14,824	(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構に参画し、伊勢志摩観光の誘客宣伝・地域づくり活動のために、伊勢志摩観光振興プランの推進及び伊勢志摩キャンペーン事業等を実施した。	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. <u>外国人観光客誘致 推進事業</u>	25,797	<p>経済の成長力と来日規模から注目される中国・東アジア・東南アジアからの誘客について、協議会等を通じて他地域と連携しつつ、伊勢の文化に興味のある欧米諸国などについては、市単独で伊勢の知名度向上を目指した情報発信に取り組んだ。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 45,562,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連携協議会等協働事業 ・ジャパンハウスPR事業 ・外国人短期留学生招聘及び情報発信事業 ・長期滞在外国人観光客向けマップ作成事業 等 <p>【平成29年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会、三重県外国人観光客誘致促進協議会へ参画。 ・伊勢志摩鳥羽インバウンド協議会へ参画し、伊勢志摩地域でビジットジャパン事業を実施。 ・アメリカ合衆国の西海岸都市（ロサンゼルス市、サンフランシスコ市ほか）において伊勢のPR事業を実施。 ・外客関係誘客調査事業にて、アメリカ合衆国ボストン市において日系人社会への情報発信及びアンケート調査等を実施。 ・外国人短期留学生招聘及び情報発信事業にて、伊勢の学習と情報発信を促進。 ・長期滞在外国人観光客向けマップ作成事業にて、関西を起点として日本に長期滞在する外国人観光客の伊勢旅行用マップを作成し、観光案内施設等への配置を依頼。 マップ作成部数 10,000部 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成28年度 27,246,924円 平成27年度 8,992,619円</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢志摩サミット開催を契機とした誘客へのプラスの効果を持続させるため、継続して情報発信に取り組む必要がある。 ・国をあげてインバウンドと地方創生に取り組む中、インバウンドを切り口として、地方創生を推進していく必要がある。 ・受入環境整備と誘客促進を共に進める必要がある。 	159

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スポーツ誘客推進 事業	21,397	<p>全国の地区予選を突破した自治体職員で構成される32チームが一堂に会する第46回全国自治体職員サッカー選手権大会を開催した。</p> <p>開催日 : 平成29年8月4日(金)～9日(水) 会場 : 伊勢フットボールヴィレッジ 参加者数 : 約700名</p> <p>また、市内での各種スポーツ大会や合宿を誘致するため、市内宿泊者数に応じた補助金交付事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数 : 101団体 ・宿泊者数(延べ) : 22,022人 	159

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 観光客受入環境創出事業	17,307	お伊勢さん菓子博2017開催を契機として訪れた観光客等の市内周遊を促進し、消費額を向上させるため、近鉄五十鈴川駅への臨時観光案内所の設置や、市内の菓子店や飲食店等への周遊を促進するキャンペーンを実施した。 さらに、伊勢まちづくり(株)と連携し、市内周遊や消費の促進を目的としたクーポンの販売や、マーケティング結果に基づいた地域資源を宿泊プランとセットにした商品開発等を行った。 また、(公社)伊勢市観光協会と協働で、観光客を対象としたイベントの実施やパンフレットの作成を行った。	159
3. 花火大会開催負担金	45,500	伊勢神宮奉納全国花火大会委員会に事務局として参画し、「第65回伊勢神宮奉納全国花火大会」を開催した。 本大会は全国から42業者の花火師が参加する競技花火大会であり、打上花火の部40組、スターマインの部10組の2部門で競われ、花火玉約1万発が放揚された。 ・開催日：平成29年7月15日(土) ・会場：宮川河川敷 ・観覧数：約230,000人	159
4. お伊勢さんマラソン開催負担金	19,627	伊勢市出身でアテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずき氏を大会長に迎え、地域の活性化とスポーツ振興、健康づくりを目的として、野口みずき杯2017中日三重お伊勢さんマラソンを開催した。 ・開催日：ウォークの部、バリアフリーラン 平成29年12月2日(土) ランニングの部 平成29年12月3日(日) ・会場：三重県営サンアリーナ周辺 ・参加申込者数：11,999人 ・当日参加者数：10,909人	159

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化推進費

(単位 千円)

予算現額 5,000 千円
決算額 5,000 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,000

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつりブランド化推進事業	5,000	神嘗奉祝祭実行委員会が主催する第17回神嘗奉祝祭「祭のまつり」の開催に際し、企画・準備や当日の運営について、協力・支援を行った。 ・開催日：平成29年10月14日(土) 15日(日) ・参加団体：日本全国の祭団体18団体(約600名) ・観客数(延べ)：39,500人	159

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 4. 伝統文化継承費

(単位 千円)

予算現額 35,400 千円
 決算額 34,531 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,200	33,331

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 民俗伝統行事継承 事業	34,531	「お木曳行事」、「お白石持行事」の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信を行うため、第63回神宮式年遷宮に向けた事業計画に基づき、次世代継承、誘客PRなどの事業を実施した。	159

(款) 9. 土木費 (項) 1. 土木管理費 (目) 1. 土木総務費

(単位 千円)

予算現額 288,772 千円
 決算額 283,266 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,425			263,841

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地籍調査推進事業	29,015	国土調査法に基づく地籍調査について、調査区域を定め、調査区域内の地籍（地番・所有者・地積・地目・境界）の整備に努めた。 (概要) 地籍調査業務 一式 5件 ○調査区域（業務内容） ①有滝町（調査） 調査面積 0.31 k m ² ②有滝町（測量） 調査面積 0.31 k m ² ③有滝町（閲覧） 調査面積 0.16 k m ² ④宮町1丁目・大世古1丁目・曾祢1丁目 一之木1丁目・常磐2、3丁目・浦口2、3丁目 (閲覧) 調査面積 0.13 k m ² ⑤村松町（素図作成） 調査面積 0.29 k m ² システム保守業務 一式 1件	159

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 172,541 千円
 決算額 167,510 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,320			1,082	165,108

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	15,670	適切な道路管理を行うため、道路の拡幅及び道路用地の寄付採納を行った。また、道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 (概要) ・道路台帳修正 供用開始（新規認定） 1.6 km 供用開始（区域変更） 0.1 km 未供用（新規認定） 0.8 km 未供用（区域変更） 0.2 km 廃止 0.7 km 改良 7.0 km	161

用 地 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	3,593	<p>狭あい道路の解消を図るため、建築行為等に際して、道路後退用地の寄附採納を行い、安心安全で快適なまちづくりを進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>公共用地の取得(寄附) 8件</p> <p>○後退用地等に係る報償金</p> <p>申請者数 4名 筆数 5筆 面積 124.28㎡ 金額 982,483円</p> <p>○後退用地等に係る助成金</p> <p>申請者数 8名 筆数 9筆 面積 154.77㎡ 金額 1,180,356円</p>	161

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 254,654 千円
決算額 250,593 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
37,731		27,800	4,239	180,823

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	40,446	<p>道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>・道路舗装 4件 A = 6,728㎡</p>	161

基 盤 整 備 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路維持補修経費 (防災・安全交付金)	71,120	<p>道路交通の安全性を確保する上で、現状の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の要否の判断を行い、計画的な修繕を実施することにより、道路施設の長寿命化及びそれに伴うコスト削減を図っている。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成29年度現年分 道路舗装 A = 2,600㎡ 1件</p> <p>②平成28年度から一部繰越 トンネル修繕 一式 1件</p> <p>③平成28年度から繰越 道路舗装 A = 2,213㎡ 3件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	161

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 504,695 千円
 決算額 431,328 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		349,000		82,328

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路改良事業	92,886	市民生活に密着した道路の拡幅等改良を行うことにより 道路機能の改善、生活環境基盤の整備を進めている。 (概要) 測量業務 一式 2件 除草業務 一式 2件 予備設計業務 一式 2件 詳細設計業務 一式 3件 誘導ブロック状況調査 一式 1件 道路改良 L=375m 2件 道路舗装 A=2,263㎡ 2件 用地 A=34.63㎡ 道路改良にかかる工事負担金 一式 1件	161

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	338,442	市民生活に密着した道路側溝等の整備を行うことにより、 道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。 (概要) 測量設計業務 一式 13件 施工延長 L=4,895m 33件 (側溝延長 L=5,783m)	161

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 4. 橋梁維持費

(単位 千円)

予算現額 50,908 千円
 決算額 47,943 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,940		12,800	2,736	10,467

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 橋梁長寿命化事業 (防災・安全交付金)	47,207	道路交通の安全性を確保する上で、これまでの破損してから修繕するという事後的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換し、コスト削減を図るため、橋梁長寿命化事業を推進している。 (概要) ①平成29年度現年分 点検業務 一式 2件 修繕詳細設計業務 一式 1件 橋梁補修 一式 2件 ②平成28年度から繰越 点検業務 一式 1件 橋梁補修 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	163

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 50,622 千円
 決算額 43,040 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				43,040

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全施設整備事業	14,901	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 道路反射鏡設置及び道路照明灯設置等 一式	163

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 112,214 千円
 決算額 80,555 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
41,822		34,000		4,733

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中村楠部17-1 号線整備事業(交 付金)	12,925	<p>当該地域は、来訪者交通による渋滞が深刻であり、早急な対応が必要である。このことから、地域住民や来訪者交通の円滑化を図るとともに、災害時における避難ルートを確保するため、本路線の事業を推進している。</p> <p>(概要)</p> <p>支障物移転設計業務 一式 1件 用地 A=321.86㎡</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	163
2. <u>一之木5丁目1.6</u> <u>号線整備事業(交</u> <u>付金)</u>	22,046	<p>当該地域は、道路網が未整備な上、伊勢赤十字病院や商業施設への交通によって、慢性的な渋滞が発生し、一般車両のみならず救急車両のアクセスも悪い状況である。このことから、来訪者や救急車両の交通の円滑化を図り、快適かつ安全安心なまちづくりを行うため、本路線の事業を推進している。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成29年度現年分 建物調査業務 一式 1件 用地 A=117.03㎡</p> <p>②平成30年度へ一部繰越 補償 7名(延べ人数)</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 33,718,000円 ・測量業務 一式 ・建物調査 一式 ・用地 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成28年度 996,300円 建物調査業務 一式 1件</p> <p>平成27年度 26,740,800円 測量業務 一式 1件 詳細設計業務 一式 1件 地質調査業務 一式 1件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・財源の確保が厳しい状況にある。 ・地域住民や関係機関と調整を図りながら事業を進めていく。</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	163

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 宇治山田駅周辺道路整備事業（交付金）	4,863	<p>宇治山田駅への送迎車両が通行する狭隘な路線について、道路を拡幅することで、安全性・利便性を向上させ駅利用者の増加を図るため、事業を推進している。</p> <p>（概要）</p> <p>①平成29年度現年分 建物調査業務 一式 1件</p> <p>②平成30年度へ一部繰越 補償 2名（延べ人数）</p> <p>③平成30年度へ繰越 道路改良 L = 85m 1件 用地 A = 64.39㎡</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	163
4. 楠部27号線整備事業（交付金）	3,558	<p>当該路線は接続する県道伊勢南島線との高低差により交差点部が急勾配となっている。また、歩道も幅員狭小となっており歩行者にとって非常に危険な状態である。このことから、道路勾配の緩和を図り、歩道を整備することで歩行者の通行及び防災拠点である倉田山公園へのアクセス機能の向上を図るため、事業を推進している。</p> <p>（概要）</p> <p>用地 A = 70.05㎡ 補償 1名</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	163
5. （仮称）栗野5-2号線整備事業（交付金）	130	<p>現在、当該地区と県道鳥羽松阪線を結ぶ道路は、伊勢玉城線をはじめ、いずれも幅員が狭小であるため、新たにバイパス機能を持つ本路線を整備することにより、通行の安全性、利便性を向上させるため、事業を推進している。</p>	163

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																							
6. <u>通学路整備事業</u>	37,033	<p>小学校の通学路における通学路交通安全プログラムでの要対策箇所をはじめ、通学路の対策を重点的に実施することで危険箇所の解消を図り、安全安心な歩行者空間を確保するため、事業を推進している。</p> <p>(概要)</p> <table> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>詳細設計業務</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>道路改良</td> <td>L = 146m</td> <td>2件</td> </tr> </table> <p>【当初予算における内容・計画】</p> <p>当初予算額 49,000,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 一式 ・詳細設計業務 一式 ・道路改良 一式 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成28年度 81,032,020円</p> <table> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>予備設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>詳細設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>地質調査業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路改良</td> <td>L = 343m</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路舗装</td> <td>A = 1,840㎡</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>区画線等設置</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>2名(延べ人数)</td> <td></td> </tr> </table> <p>平成27年度 9,836,306円</p> <table> <tr> <td>用地</td> <td>A = 58.48㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>1名(延べ人数)</td> <td></td> </tr> </table> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者、警察、道路管理者などで伊勢市通学路交通安全推進協議会を設置し、通学路の安全対策に取り組んでいる。 ・財源の確保が厳しい状況にある。 <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	測量業務	一式	1件	詳細設計業務	一式	2件	道路改良	L = 146m	2件	測量業務	一式	2件	予備設計業務	一式	1件	詳細設計業務	一式	1件	地質調査業務	一式	1件	道路改良	L = 343m	1件	道路舗装	A = 1,840㎡	1件	区画線等設置	一式	2件	補償	2名(延べ人数)		用地	A = 58.48㎡		補償	1名(延べ人数)		163
測量業務	一式	1件																																								
詳細設計業務	一式	2件																																								
道路改良	L = 146m	2件																																								
測量業務	一式	2件																																								
予備設計業務	一式	1件																																								
詳細設計業務	一式	1件																																								
地質調査業務	一式	1件																																								
道路改良	L = 343m	1件																																								
道路舗装	A = 1,840㎡	1件																																								
区画線等設置	一式	2件																																								
補償	2名(延べ人数)																																									
用地	A = 58.48㎡																																									
補償	1名(延べ人数)																																									

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 3. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 77,498 千円
 決算額 71,764 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				71,764

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁									
1. 河川改良事業	71,764	<p>流下断面の不足や護岸、河床の浸食等により人家等への災害発生が危惧される河川において、河川拡幅や護岸改良を行い、浸水被害や災害の防止対策を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成29年度現年分</p> <table> <tr> <td>護岸調査設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>河川改良</td> <td>L = 547m</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>3名(延べ人数)</td> <td></td> </tr> </table>	護岸調査設計業務	一式	1件	河川改良	L = 547m	3件	補償	3名(延べ人数)		163
護岸調査設計業務	一式	1件										
河川改良	L = 547m	3件										
補償	3名(延べ人数)											

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 排水路維持費

(単位 千円)

予算現額 346,525 千円
 決算額 199,319 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		48,100		151,219

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. <u>排水機場維持管理経費(ポンプ場機能更新)</u>	80,883	<p>平成25・26年度に都市ポンプ場の機能診断を行い、診断結果に基づき平成27年度に都市ポンプ場の長期補修計画を作成した。この計画に基づき予防保全の観点から都市ポンプ場の整備、機能更新を行うことで、効率的かつ効果的なポンプ場の運用ができた。</p> <p>(概要)</p> <p>平成29年度 施設整備更新詳細設計業務 一式 1件 (ポンプ場5機場、ポンプ施設6施設) 施設整備更新工事 ①平成29年度現年分 ポンプ場 1機場 ポンプ施設 2施設 ②平成30年度へ繰越 ポンプ場 1機場</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 260,302,000円 施設整備更新詳細設計業務 一式 1件 (ポンプ場5機場、ポンプ施設6施設) 施設整備更新工事 ポンプ場 2機場 ポンプ施設 2施設</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成28年度 施設整備更新詳細設計業務 一式 1件 (ポンプ場2機場、ポンプ施設2施設) 平成27年度 長期補修計画作成 一式 1件 (ポンプ場7機場、ポンプ施設24施設)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・設備の老朽化に伴う更新費用の増大への懸念に対し、長期補修計画を作成し、施設を延命化することによりライフサイクルコストの削減を図った。 ・計画的な維持管理を行うために、事後保全方式から予防保全方式に切り替えることにより、地域の治水に対する安全性、信頼性を確保した。</p>	頁 165

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 5. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 220,600 千円
 決算額 160,576 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		151,500		9,076

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水施設整備事業	160,576	豪雨時の急激な増水等による浸水を防止するため、排水路の整備を進めている。また、自然排水が困難な地域においては、ポンプ場の新設・増設等を行うことで、浸水被害の防止対策を進めている。 (概要) ①平成29年度現年分 測量設計業務 一式 2件 地質調査業務 一式 2件 詳細設計業務 一式 3件 測量業務 一式 1件 除草業務 一式 1件 排水路改良 L=317m 5件 樹設置工 1か所 1件 試掘工 2か所 1件 補償 5名(延べ人数) ②平成30年度へ一部繰越 排水路改良 L=149m 3件	165

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 19,805 千円
 決算額 18,590 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,302	8,100	259	5,929

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	8,592	三重県が施行した港湾改修事業に対し、負担を行った。 (宇治山田港【大湊】) (宇治山田港【今一色】)	165

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 70,829 千円
 決算額 70,828 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,300				48,528

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>中心市街地再生事業(交付金)</u>	48,474	<p>急速な人口減少と少子高齢化などの影響により、市街地の低密度化が進み、中心市街地の都市機能が低下している。そのため、多くの人にとって安全で快適に暮らせるまちづくりを実現することで、中心市街地の再生と活性化を図る。</p> <p>平成29年度は、伊勢市駅前地区の市街地再開発事業等を推進するため、B地区(ジョイシティ跡地)が実施する事業計画等の作成に対し、第一種市街地再開発事業による支援を行った。</p> <p>また、再開発事業の初動期であるC地区に対しては、コーディネート業務委託にて、協議会の設立や活動に対する支援を行った。</p> <p>(概要) 平成29年度 (住環境整備交付金) 48,474,200円 費用便益分析業務 一式 1件 コーディネート業務 一式 1件 補助金 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 (住環境整備交付金) 当初予算額 131,200,000円 費用便益分析業務 一式 1件 コーディネート業務 一式 1件 補助金 一式 1件</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成28年度 (住環境整備交付金) 89,410,482円 補助金 一式 1件</p> <p>平成27年度 54,336,830円 (市街地整備交付金) 3,923,640円 まちづくり活動支援事業 一式 3件 事後評価業務 一式 1件 通行量調査業務 一式 1件 (住環境整備交付金) 50,413,190円 計画策定業務 一式 1件 詳細設計業務 一式 1件 補助金 一式 2件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・住環境整備交付金により支援を行ってきた民間都市開発が平成28年度に完成したことにより、伊勢市駅前地区周辺の賑わいが取り戻されつつあるが、更なる中心市街地の再生と活性化を図るため、隣接する新たな民間都市開発に対しても、補助金等による支援を行い、事業の促進を図っていく必要がある。</p>	167

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 中心市街地都市機能再生促進事業	11,165	<p>都市機能再生事業にて施行された施設に対し、「伊勢市中心市街地都市機能再生促進条例」に基づき都市機能再生奨励金の交付を行うことで、事業効果を一層促進させ、伊勢市駅前周辺の活性化を図る。</p> <p>平成29年度は、都市機能再生奨励金として、2件の交付を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>平成29年度 11,165,000円 都市機能再生奨励金 一式 2件</p>	167
3. 踏切道対策事業	7,722	<p>踏切道改良促進法に定められている地方踏切道改良計画を作成し、その計画を実施することで、踏切道をはじめ市街地の交通の円滑化を図る。</p> <p>平成29年度は、地方踏切道改良計画案を作成するため、踏切道の実態調査と、踏切対策の基本方針を策定した。</p> <p>(概要)</p> <p>平成29年度 7,722,000円 踏切道対策検討業務 一式 1件</p>	167
4. 立地適正化計画推進事業	2,495	<p>人口減少・少子高齢化社会といった都市をめぐる環境が大きく変化する中、将来多くの人にとって利便性が高く、暮らしやすい良好なまちづくりに向け、立地適正化計画の策定を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>(平成28年度～平成29年度)債務負担行為 平成28年度 4,957,200円 平成29年度 2,494,800円 (集約都市形成支援事業補助金) 伊勢市立地適正化計画策定業務 一式 1件</p>	167
5. 都市計画基本方針策定経費	972	<p>伊勢市の都市計画に関する方針を示し、都市全体の再編・整備を実現していくため、伊勢市都市マスタープランの一部改定を行うための資料を作成した。</p> <p>(概要)</p> <p>平成29年度 972,000円 伊勢市都市マスタープラン改定業務 一式 1件</p>	167

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 298,415 千円
 決算額 93,905 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,947		78,000	997	5,961

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	14,695	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。 (外宮度会橋線【伊勢南島線】)	169

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)	8,868	本路線は、伊勢市の交通分散路線としての幹線道路であるとともに、災害時の円滑な通行可能路線に位置付けられており、防災機能の強化、市内の交通の円滑化並びに市街地の活性化を図るものである。また現況道路が狭小なことから、緊急車両がスムーズに通行できるようにし、さらに車両対向時の歩行者の安全確保に努めるため整備を行っている。 (概要) 除草業務 一式 2件 建物再積算業務 一式 2件 用地 A = 32.26 m ² 道路改良(側溝工) L = 72m ◇社会資本整備総合交付金事業	169
2. 本町大湊線改良事業(交付金)	63,150	伊勢市駅と外宮をつなぐ外宮参道と交差する本路線は、電線類が景観を阻害しており、また地震による電柱の倒壊などの被害が懸念される。このため、電線類を地中化することにより、都市景観の向上と災害に強いまちづくりを進めている。 (概要) 共同溝整備 L = 41m 補償 一式 受委託 一式 2件 ◇社会資本整備総合交付金事業	169
事業名	決算額	施策の成果	決算書

			頁
<p>3. <u>高向小俣線ほか1線整備事業（交付金）</u></p>	<p>7,192</p>	<p>老朽化が著しい現在の宮川橋の代替機能を持つ本路線の整備を行うことにより、県道鳥羽松阪線の度会橋周辺の渋滞の緩和、宮川左岸地域と右岸地域の生活圏を結ぶ交流軸や、地域の安心に繋がる機能を担う道路として整備を進めている。（平成27年度事業名：高向小俣線調査事業）</p> <p>（概要）</p> <p>①平成29年度現年分 交通量調査業務 一式 1件</p> <p>②平成30年度へ一部繰越 道路詳細設計業務 一式 1件 地質調査業務 一式 1件</p> <p>③平成30年度へ繰越 地質調査業務 一式 1件 用地測量業務 一式 1件</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 69,000,000円 ・用地路線測量業務 一式 ・詳細設計業務 一式 ・地質調査業務 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成28年度 31,439,880円 ・予備設計業務（平成27年から繰越） 一式 1件 ・予備設計検討業務 一式 2件</p> <p>平成27年度 7,459,560円 ・測量業務 一式 1件 ・予備設計業務 一式 1件 ・地質調査業務 一式 1件</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路、橋梁の詳細設計にあたっては、模型実験を行い橋梁の安全性や橋梁の河川への影響について協議するとともに近接するJRとも協議を行い進めていく。 大規模な事業である本路線には多大な事業費が必要であるが、国からの予算配分が厳しい状況であることから、財源確保が重要な課題である。 <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	<p>169</p>

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 6. 公園費

(単位 千円)

予算現額 70,190 千円
 決算額 64,136 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,000		39,700		14,436

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 宮川右岸河川敷公園(仮称)整備事業	7,601	国土交通省の宮川右岸堤防改修工事とあわせて宮川堤公園の一部(東詰広場)のリニューアルなどを行い、桜の名所としてふさわしい、憩いやコミュニティ活動の場として活用できる公園の整備を進めている。 (概要) 設計業務 一式 2件	169

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>グラウンド・ゴルフ場整備事業</u>	34,797	伊勢廃棄物投棄場の跡地(指定区域)を朝熊山麓公園の区域に含め、グラウンド・ゴルフ場としても利用できる公園として整備するため、造成工事を行った。 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 36,848,000円 ・グラウンド表層工 12,000㎡ ・四阿設置工 1基、柵工 L=140m 【過去2カ年度の実績】 平成29年度単年度事業 【事業を取りまく状況】 廃棄物投棄場跡地の適正管理及び有効活用のため、グラウンド・ゴルフ場として整備することで、市民の健康増進や地域間交流を図る。	169

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公園長寿命化事業(交付金)	21,738	公園施設の安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理や更新投資を行っていくため、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の長寿命化を図っている。本年度は、5公園の遊具の更新を行った。 (概要) 公園改修工 一式 ◇社会資本整備総合交付金事業	169

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 227,222 千円
 決算額 201,187 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
33,378			138,951	28,858

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公営住宅維持管理 経費	100,631	<p>平成24年10月から指定管理者による市営住宅の管理を開始し、単身高齢者等の定期巡回や、休日・夜間も含め、迅速な対応が可能となり、入居者サービスの向上に繋がった。また、住宅の調査等も定期的に行い、効率的かつ経済的な管理運営を行った。</p> <p>指定管理者：FE住宅管理共同企業体 期間：平成29年4月1日 ～平成34年3月31日 期間全体の 指定管理料：481,607,635円</p>	169
2. 住宅等改修事業	7,344	<p>市営住宅の機能保持と安全性確保のため、下記の工事を実施した。 (概要) 空家修繕工事 ・北明野団地 一式 1件 空家解体 ・やすらぎ団地 一式 1件</p>	169
3. 住宅等整備事業	58,507	<p>平成28年度に策定した「社会資本総合整備計画（地域住宅計画）」及び「伊勢市営住宅等長寿命化計画」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を実施した。 (概要) ①平成29年度現年分 屋上防水改修等 一式 2件 屋根改修等 一式 1件 ②平成28年度から一部繰越 屋根改修等 一式 1件</p>	169

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 2. 住宅対策費

(単位 千円)

予算現額 62,722 千円
 決算額 49,121 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,923	6,745		7,046	17,407

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住宅・建築物耐震 改修等促進事業	38,104	<p>阪神・淡路大震災で昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、南海トラフ地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。その結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>さらに、耐震改修促進法の一部改正に伴う大規模建築物の耐震改修に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>また、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護し、災害に強いまちづくりを推進するため、市内に存する危険なブロック塀等の撤去に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断等業務 一式 120件 ・補助金 <ul style="list-style-type: none"> 耐震補強設計 一式 8件 耐震補強工事 一式 6件 除却工事 一式 63件 リフォーム工事 一式 6件 大規模建築物耐震改修 一式 1件 ブロック塀等撤去費 一式 9件 	171
事業名	決算額	施策の成果	決算書

			頁
<p>2. <u>空家等対策事業</u></p>	<p>11,017</p>	<p>平成28年度に策定した伊勢市空家等対策計画に基づき、空家等の対策を効果的かつ効率的に取り組んだ。 (概要)</p> <p>①平成29年度現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理不全の空家等の改善等件数 176件 ・特定空家等への対応 判断基準の策定 認定件数 4件(調査件数26件) ・伊勢市空家バンク制度の創設(平成29年8月28日) 登録件数 31件 (所有者等9件、利用者22件) ・空き家無料相談会の開催(平成30年2月10日) 来場者数 94組 相談件数 延べ 131件 ・伊勢市空家等対策協議会の開催 4回 ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金 1件 <p>②平成28年度から繰越 伊勢市空家等対策計画策定業務 一式</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 10,699,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家の適正管理及び活用案内チラシ作成 ・伊勢市空家バンク物件調査等業務 一式 ・伊勢市空家等対策協議会等支援業務 一式 ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金 3件 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成28年度 73,867円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金案内チラシ作成 <p>平成27年度 18,740,000円 一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家等実態調査業務 ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金(移住促進対策空き家改修支援事業(国1次補正)) 1件 <p>【事業を取りまく状況等】 市内の空家は年々増加している状況にあり、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、空家等に関する対策を効果的かつ効率的に推進していく必要がある。</p>	<p>171</p>

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 1,832,274 千円
 決算額 1,810,665 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,624		22,200	348,231	1,423,610

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 応急手当普及啓発事業	2,131	<p>「いつでも・どこでも・誰でも」応急手当が可能となるよう、自動体外式除細動器 (AED) の取り扱いを含めた講習を行い、市民への普及を図った。</p> <p>救命講習に係る消耗品 1,548千円 救命講習用資器材 一式 560千円ほか</p> <p>【実績】 平成29年度救命講習開催回数 167回 受講人数 4,905人</p>	171
2. 各種資機材購入経費	8,859	<p>救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。</p> <p>軽量消防用ホース 70本 2,420千円 各署所配備 防火外套 17組 3,599千円 職員貸与補充 空気呼吸器用調整器 5組 829千円 各署所配備 軽量空気ボンベ 9本 632千円ほか 各署所配備</p>	171
3. 消防自動車購入事業	58,258	<p>老朽化した化学消防ポンプ自動車1台を更新した。</p> <p>化学消防ポンプ自動車 1台 58,158千円ほか 消防署小俣分署配備</p>	171

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 131,127 千円
 決算額 123,634 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		9,800	14,138	99,696

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	5,678	消防団活動に必要な資機材の充実を図った。 消防団用防火外套 80組 4,234千円 第1～3方面隊配備 特定小電力トランシーバー 25台 176千円 第4～6方面隊配備 消防団用ホース 14本 405千円ほか 第1・3・5・6方面隊配備	173
2. 小型動力ポンプ付積載車購入事業	13,685	老朽化した小型動力ポンプ付積載車1台・小型動力ポンプ付軽積載車2台を更新した。 小型動力ポンプ付積載車 1台 修道・明倫分団配備 小型動力ポンプ付軽積載車 2台 上野分団円座班配備 上野分団矢持班配備 13,002千円ほか	173

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 60,817 千円
 決算額 56,021 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,767	4,700	320	43,234

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消火栓新設負担金	7,053	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に消火栓を設置し、消防水利の整備を図った。 単口消火栓 6基 7,053千円	173
2. 消防水利施設整備経費	9,791	消火活動を円滑にするため老朽化した消防水利の改修及び消防水利の明示化を図った。 防火井戸埋設工事 4,298千円 消防水利蓋改修工事 3,549千円 消防水利溶着塗装(その1)工事 1,080千円 消防水利溶着塗装(その2)工事 864千円	173

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 消防署庁舎改修経費	1,188	各消防署庁舎の機能維持と長寿命化を目的とし改修を行った。 消防署小俣分署庁舎前出入口改修工事 1,188千円	173
4. 消防団車庫建替事業	12,866	防災拠点である、消防団車庫を老朽化のため建替えし、消防力の向上を図った。 消防団御菌分団御菌第3班車庫新築工事 12,744千円ほか	173
5. 消防団車庫改修事業	4,888	消防団車庫の機能維持と長寿命化を目的とし改修を行った。 消防団御菌分団御菌第1班車庫耐震調査業務委託 1,566千円 消防団大湊分団車庫ほか外壁塗装工事 2,030千円 消防団四郷分団朝熊班1車庫外壁塗装工事 1,292千円	173

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 915,000 千円
決算額 575,729 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
156,723	10,959	171,200	3,854	232,993

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自主防災隊補助事業	20,645	伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、自主防災隊及び自治会の行う防災事業・活動に対し補助を行った。 ・自主防災隊訓練助成金(89件) 2,670千円 ・防災補助金(172件) 17,975千円	175

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>地域防災力向上支援事業</u>	9,868	<p>①市民防災意識普及啓発 市内各地域で防災講習会等を開催し、市民に防災意識の普及啓発を行う。</p> <p>②自主防災リーダー育成 自主防災隊の中心的役割を担うリーダーを対象とした研修会等を行うことにより、リーダーの育成を図る。</p> <p>③地域防災マップ作成 地域住民が主体となったタウンウォッチングにより「わがまち」を認識し、防災マップを作成することにより災害に強いまちづくりを目指す。</p> <p>④高齢者等宅家具固定事業 高齢者等の世帯を対象に1世帯につき1回、3台まで金具の取り付けを無料で行う。</p> <p>⑤防災コーディネーター制度 市民の中から登録のあった防災コーディネーターの活動を通じて、地域の防災活動のサポート等を行い防災活動の普及・防災意識の高揚を図る。</p> <p>⑥防災大学 様々な防災の学習ができる防災大学を開校し、防災知識の豊富な人材を育成するとともに、地域の防災力の向上、災害に強いまちづくりを目指す。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 13,788,000円 ・共済費 1,159,000円 ・賃金 7,727,000円 ・報奨金 96,000円 ・旅費 19,000円 ・需用費 4,015,000円 ・委託料 660,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成28年度 決算額 5,274,008円 平成27年度 決算額 6,638,474円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 東日本大震災、熊本地震以降、市民の防災意識の高まりから、防災講習会の開催希望が激増している。 また、啓発によって防災意識が向上してきているため、より実践的な防災訓練の助言希望も増加しつつある。</p>	175

高齢者支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害時要援護者対策事業	555	<p>災害時に、自分自身や家族の支援だけでは避難することが困難な人が迅速・安全に避難支援等が受けられる体制を整えるため、対象者に対し、災害時要援護者への登録を図るとともに、災害時要援護者支援ネットワーク代表者会議を開催して制度の推進を図った。</p> <p>登録者(平成30年3月31日時点) 2,476人</p>	175

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 避難対策事業	2,356	①各部、各チームが主体性を持ってBCMに取り組むためにBCM定例会を開催し、課題の進捗報告等を行った。 ②プロジェクト型災害対策本部体制の習熟度を上げ、防災センターでの災害対策業務を経験することを目的として、図上訓練を実施した。(参加職員延べ300名) ③宮川左岸沿岸部において、地域と協働し津波避難訓練を実施した。(参加者1,334名)	175

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 避難対策事業	4,225	土砂災害防止法に基づき、三重県が土砂災害(特別)警戒区域に指定した地域において、住民の生命、財産を守るため、土砂災害ハザードマップを作成し、住民に配布することで避難に関する周知を行った。 (概要) 土砂災害ハザードマップ作成業務 一式 1件 土砂災害ハザードマップ印刷業務 1件 ≪整備地域≫ 二見町松下地内(H28.10.28区域指定(三重県))	175

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 備蓄物資整備事業	16,123	伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき非常用食料等を購入・更新し、物資及び資機材の整備を行った。 ・備蓄物資・資機材購入 15,196千円 ・防災倉庫等修繕及び解体工事 927千円	175

防災施設整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>避難所等整備事業</u></p>	<p>358,993</p>	<p>○津波からの避難困難地に対する緊急避難所として、津波避難施設等の整備を実施した。</p> <p>平成29年度 津波避難施設整備 ・磯町津波避難施設 養生シート撤去工事 ・東豊浜町津波避難施設 建築工事、監理業務 ・二見町今一色津波避難施設 (平成30年度へ一部繰越) 建築工事、電気設備工事、監理業務 ・その他の整備 避難所看板設置 地震自動解錠付防災ボックス設置</p> <p>○災害時に利用する避難所の環境整備の基本計画業務を実施した。</p> <p>平成29年度 避難生活施設の環境整備 ・災害用トイレの整備 基本計画策定業務</p> <p>【当初予算における計画、内容】 当初予算額 716,002,000円 (津波避難施設の整備) ・東豊浜町津波避難施設 建築工事、監理業務 ・二見町今一色津波避難施設 建築工事、電気設備工事、監理業務 ・その他の整備 避難所看板設置 地震自動解錠付防災ボックス設置</p> <p>(避難生活施設の環境整備) ・災害用トイレの整備 基本計画策定業務</p> <p>【過去2ヵ年の実績】 平成28年度 626,329,359円</p> <p>①平成28年度現年分 ・村松町津波避難施設 照明設置工事 ・磯町津波避難施設 マウンド整備工事(継続費) ・東豊浜町津波避難施設 用地買収、地質調査、建築設計 ・二見町今一色津波避難施設 地質調査、建築設計 ・その他避難所の整備 避難所看板設置</p> <p>②平成27年度から一部繰越 ・二見町西津波避難施設 用地造成工事</p>	<p>175</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>③平成27年度から繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> 磯町津波避難施設 マウンド上屋建築工事 二見町西津波避難施設 建築工事、防火水槽設置工事、舗装工事、監理業務 <p>平成27年度 713,388,307円</p> <ul style="list-style-type: none"> 大湊町津波避難施設 舗装工事、防火水槽設置工事 一色町津波避難施設 用地造成工事、建築工事 有滝町津波避難施設 建築工事 磯町津波避難施設 用地買収、マウンド設計 マウンド整備工事（継続費） 二見町西津波避難施設 用地買収、用地造成設計、解体工事 用地造成工事、建築設計 東豊浜町津波避難施設 用地測量 二見町今一色津波避難施設 用地測量 その他避難所の整備 外付階段設置 避難看板設置 地震自動解錠付防災ボックス設置 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南海トラフの巨大地震等の災害から市民の生命を守るため、平成25年から津波緊急避難所の整備を行い平成30年度には整備が完了予定である。 今後は、災害時に市民や観光客が利用する防災備蓄備蓄倉庫の整備や避難生活時の災害関連死を防止する目的から、避難所の環境整備等が強く求められている。 	

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害ボランティア支援事業	528	市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンターに関して、有事の際に円滑な対応ができるよう、各種の取り組みを行った（市社会福祉協議会への負担金により実施）。また、台風21号豪雨災害に係る被災者支援を行った。	175

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 応急復旧経費	41,652	<p>平成29年10月に発生した台風第21号により被害を受けた道路（農道含む）や排水機場、河川等の災害復旧工事や清掃業務、浸水被害を受けた公共施設の機能回復等の応急復旧を実施した。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東庁舎地下浸水に係る応急復旧経費 3,937千円 (管財契約課、課税課、戸籍住民課、地域包括ケア推進課、高齢・障がい福祉課) ・災害用毛布クリーニング、備蓄食料購入等 775千円 (危機管理課) ・福祉健康センターエレベータ修繕工事ほか 888千円 (福祉総務課) ・所管施設の維持管理委託等 142千円 (生活福祉課(小俣)、学校教育課、消防総務課) ・農道、樋門等修繕工事及び漁港清掃等に係る経費 (農林水産課) 3,950千円 ・河川、法面等応急復旧に係る経費 900千円 (監理課、基盤整備課) ・道路、排水路等土砂撤去工事及び排水機場、ポンプ等修繕、清掃等業務委託(維持課) 31,060千円 	175
2. 被災者支援経費	4,722	<p>平成29年10月に発生した台風第21号の被災者の生活再建を支援するため、災害調査や家屋等の消毒業務、避難所の借上げ、災害ごみ処分などの業務を実施した。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害調査用レンタカー借上(管財契約課) 455千円 ・消毒液、消毒資機材等の購入(環境課) 760千円 ・廃棄物処分手数料(清掃課) 2,383千円 (家電4品目、廃タイヤなど) ・帰宅困難かつ支援が必要な災害時要配慮者のための福祉避難所の借上(医療保険課) 1,124千円 	175

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育振興費

(単位 千円)

予算現額 376,507 千円
 決算額 358,959 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,280	647		2,260	341,772

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校行事開催事業	12,653	<p>子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援し、また、成果を発表する場を設けることにより、児童生徒の学習意欲を高めるとともに豊かな感性を養った。</p> <p>○科学創作展</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 委託先 : 伊勢市科学創作教育振興会 開催日 : 平成29年9月9日・10日 開催場所 : 伊勢市生涯学習センター いせトピア 委託料 : 221,419円 <p>○教育美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 児童生徒の絵画、工作、書写作品を展示し、一般に公開した。 委託先 : 伊勢市教育美術展運営委員会 開催日 : 平成29年12月2日・3日 開催場所 : 伊勢市生涯学習センター いせトピア 委託料 : 300,000円 <p>○伊勢市中学校連合音楽演劇発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 児童生徒による合唱・吹奏楽・太鼓の演奏会が行われた。 委託先 : 伊勢市中学校連合音楽演劇発表会 開催日 : 平成29年11月14日 開催場所 : 伊勢市観光文化会館 委託料 : 2,033,225円 <p>○伊勢まつり「小学生連合鼓笛隊パレード」「中学生吹奏楽演奏会」</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 伊勢まつりにおいて小学生による鼓笛パレード、中学生による吹奏楽演奏会が行われた。また、進修小学校による宇治地区鼓笛パレードも行われた。 委託先 : 伊勢まつり鼓笛・イベント実行委員会 開催日 : 平成29年10月7日・8日 開催場所 : 小学生は尼辻交差点から伊勢市駅前 中学生は一之木交差点本部前 進修小学校は学校からおはらい町 委託料 : 1,286,058円 <p>○伊勢市小学生演劇鑑賞運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 市内小学校23校6年生児童全員を対象に劇団四季の鑑賞会を行った。 委託先 : 伊勢市小学生演劇鑑賞運営委員会 開催日 : 平成29年10月4日 開催場所 : シンフォニアテクノロジー響ホール 伊勢大ホール 委託料 : 1,539,296円 	177

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>○菓子博への社会見学に伴うバス借上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 : 三重県営サンアリーナにおいて開催された全国菓子博覧会への社会見学に参加した市内小中学校児童生徒を安全かつスムーズな送迎を行うため、市が大型バスを借り上げた。 ・開催日 : 平成29年4月22日～5月12日 期間中の10日間 ・支出額 : 7,272,720円 	
<p>2. 学校教育支援事業</p>	<p>114,808</p>	<p>地域人材や学生を、学習支援員等として活用することで、学習環境の整備に努め、個に応じたきめ細かな支援や指導を行うことができた。</p> <p>【学習支援員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○配置および活動状況（平成30年3月31日現在） 小学校21校 53人 うち1人複数校勤務 中学校 9校 18人 うち1人複数校勤務 <p>【教育支援ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登録者数 161人（平成30年3月31日現在） ○活動人数 145人（平成30年3月31日現在） 内訳（学習支援111人、学校図書館支援6人、部活動支援6人、保育活動補助15人、日本語支援4人、心の支援1人、その他2人） ○活動回数 3,861回 他に皇學館大学生等の大学生も活動。 <p>【学校安全ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登録者数 666人 （小学校23校、中学校1校：各校区で随時活動） 	<p>177</p>
<p>3. 特別支援教育推進事業</p>	<p>643</p>	<p>子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うために、特別支援教育体制整備をすすめた。専門家（臨床心理士・特別支援学校教諭・発達相談員等）による市内保幼小中への巡回相談や、教職員の研修会、保護者啓発のための講演会等を実施した。</p>	<p>177</p>

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 通学安全対策事業	48,479	<p>主要地方道伊勢南島線を利用して通学する伊勢宮川中学校生徒、学校統合により遠距離通学となった旧沼木中学校区及び旧今一色小学校区から通学する児童生徒の通学上の安全と利便を確保するためスクールバスの運行をした。</p> <p>また、公共交通機関がなく、徒歩での通学が困難な高麗広地区の進修小学校児童、五十鈴中学校生徒については教育研究所の不登校対策事業とあわせ市のマイクロバスを、横輪・矢持地区の上野小学校児童については、沼木自主運行バスを送迎利用し通学上の安全確保及び保護者の負担軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢宮川中学校スクールバス運行业務委託 38,101千円 ・二見浦小学校スクールバス運行业務委託 7,046千円 ・伊勢宮川中学校スクールバス転回場整備工事 1,833千円 (交通政策課にて執行) ・沼木自主運行バス運行业務 1,468千円 ・土地借上料等 31千円 	177

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 通学安全対策事業	8,514	<p>児童の通学上の安全確保を図るため、遠距離通学等をする児童について、J R ・路線バスの定期券代金を助成した。</p> <p>また、平成29年度から、次年度の在校生・新入生に対し、通学定期券の現物給付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期券を購入して通学する児童の保護者への助成額 4,552,780円 ・通学定期券の現物給付額 3,961,500円 	177
事業名	決算額	施策の成果	決算書

事業名	決算額	施策の成果	決算書
2. 子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業	2,922	<p>自然や環境、伝統文化、福祉やボランティア等に関する体験学習など、創意工夫を生かした学習活動を通して、児童・生徒が、「やさしいまち伊勢市」のまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を支援した。また、幼稚園において地域の人とのふれあいを通した体験を行うことで、地域のよさや愛着を感じることができるよう支援した。</p> <p>①「やさしいまち伊勢市発見大賞」の実施 ユニバーサルデザインの部、発見・体験エピソード作文の部、俳句・川柳・短歌の部の3部門に分けて市内の小中学生を対象に、作品を募集した。今年度の応募総数は2008点。そのうち、市長賞3点、教育長賞3点、優秀賞各部門小中学校で計6点、入賞各部門小中学校で計11点を決定した。入選作品集を作成し、入賞者の他小中学校36校、各関係機関に配布した。</p> <p>②事業委託校の取組 事業委託をうけた小学校11校、中学校4校、幼稚園1園が、児童生徒が地域の人との交流（ふれあい）や地域探検を通して、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を展開した。 また、授業のユニバーサル化推進事業では、小学校1校、中学校1校が、だれもがわかりやすい授業、すごしやすい学校を目指し、研修の実践や環境面での改善などに取り組んだ。</p> <p>③子ども未来会議 誰でも安心して暮らせる伊勢市のまちづくりについて、小中学校児童生徒代表が意見交流した。</p> <p>④赤ちゃんとのふれあい体験等を通したいのちの学習 市内4中学校で、明照浄済会と連携したいのちの学習のプログラムを実施した。その他の中学校においても、学校独自に講師を招聘していのちの学習を進めていった。</p>	177
3. 未来へチャレンジ！職場体験推進事業	1,423	<p>キャリア教育の一環として、働くことの意義・目的を学び、職業観・勤労観を育てるために、中学2年生を対象として3日間の職場体験学習を実施した。 職場体験学習参加生徒数：1,109名 協力事業所数：のべ363事業所</p>	177
4. 学力向上推進事業	12,662	<p>目標基準準拠検査（CRT）を小中学校で実施し、個に応じたきめ細かい指導に生かすことができた。また、研究校を指定し、課題解決に向けた計画的・継続的な実践研究を行い、授業改善を促進することができた。</p>	179
5. 食育推進事業	765	<p>児童生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎を作ることを目的に、学校・家庭・地域が連携しそれぞれの学校・地域の特色を活かした食育の取組を実施した。</p>	179
6. 文化活動県外大会参加負担金	2,803	<p>文化活動の促進を図るため、県外大会へ参加する学校への助成を行なった。 【平成29年度出場大会】 ・NHK音楽コンクール東海北陸ブロック（愛知県稲沢市） ・中部合唱コンクール（愛知県豊田市） ・全日本合唱コンクール全国大会（長野県長野市） ・声楽アンサンブルコンテスト全国大会（福島県福島市）</p>	179
事業名	決算額	施策の成果	決算書

7. スクールカウンセラー活用事業	307	スクールカウンセラーへの相談は、人間関係に関する相談が最も多く、不登校やいじめ、学習関係等多岐にわたっている。そのために、学校規模に応じて、配置をし、効果的に活用することができた。	頁 179
----------------------	-----	--	----------

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 私立学校等振興助成事業	32,628	<p>○私立幼稚園就園奨励費補助金（国の補助事業） 国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数： 148人 ・補助金支給額： 17,559千円 <p>○私立幼稚園及び私立認定こども園保育料補助金 市内の私立幼稚園及び私立認定こども園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数： 552人 ・補助金支給額： 2,760千円 <p>○幼児教育育成補助金 市内私立幼稚園及び私立認定こども園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給額： 10,368千円 <p>○一時預かり事業（幼稚園型）補助金（国の補助事業） 国の基準に基づき、市内の私立幼稚園及び私立認定こども園の預かり保育事業に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給額： 1,941千円 	179

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 奨学金育英事業	4,249	<p>経済的理由により修学が困難な大学又は高等学校等に在学する学生、生徒に奨学金を支給し、奨学生の学費の負担を軽減するとともに、社会に貢献する有用な人材の育成に努めた。</p> <p>県外大学：10人 県内大学：9人 公立高校：26人 県内大学：5人 公立高等専門学校（1～3年）：0人 私立高等専門学校（1～3年）：0人 県内高等専門学校（4.5年）：1人 計51人</p>	179
2. 非核・平和推進事業	987	<p>平成29年8月6日に行われた広島平和記念式典に、各中学校から生徒代表2名（男女各1名）と、引率教員2名、指導主事2名を派遣し、平和学習を深めた。報告会を開催するとともに、広報いせ、ケーブルテレビの活用や、報告文集を作成し、市内各所で移動展示を行うなど、広く市民に平和の尊さを伝えた。</p>	179

学校統合推進室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小中学校適正規模化・適正配置推進事業	1,143	<p>小中学校の適正規模化・適正配置を推進するため、第1期に統合予定の小中学校において、保護者や地域住民に対する説明会や統合準備会の開催、統合する学校間の事前交流等を行った。</p> <p>平成29年4月統合校開校に伴い、宮川中学校・沼木中学校統合校である伊勢宮川中学校と二見小学校・今一色小学校統合校である二見浦小学校の開校式を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 105千円 ・開校式用消耗品 40千円 ・統合校消耗品 284千円 ・統合準備会だよりの発行 93千円 ・校章デザイン作成委託料 43千円 ・事前交流事業バス借上料等 495千円 ・その他消耗品費等 83千円 	179

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. いじめ防止対策推進事業	775	<p>いじめ防止等に資する対策を効果的に進めるため、「いじめ防止対策推進法」及び「伊勢市いじめ防止基本方針」に沿って会議・研修会を実施し、関係機関との連絡、各小中学校との連携を図ることができた。</p> <p>国立教育政策研究所より委嘱を受けた「魅力ある学校づくり調査研究事業」趣旨を踏まえ、伊勢市における新規不登校児童生徒の抑制へ向けた未然防止・初期対応の取組への理解を深めることができた。</p>	179
事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁

2. エンジョイイング
リッシュ事業

6,401

小学生ちよこつと英語体験、中学生英語スピーチコンテスト、英語検定チャレンジ補助金等、児童生徒が様々な形で外国語に関わることができる機会を設け、外国語への関心意欲向上を図った。

179

【当初予算における内容・計画】

当初予算額 8,177,000円

- ・小学生ちよこつと英語体験
1回につき24名参加。3回開催。
- ・中学生英語スピーチコンテスト
市内各校代表2～3名の中学生が参加。
外部審査員2名招聘。
- ・小学校外国語活動研究指定
小学校1校を指定し、ALTを1名配置。
(JETプログラムALT1名)
新学習指導要領による外国語教科化、早期化に対応するために研究をする。
- ・英語検定チャレンジ補助金

<中学生> 1,150人	準2級	50人
	3級	300人
	4級	400人
	5級	400人
<小学生> 200人	4・5級	各100人

【過去2か年度の実績】

平成29年度からの新規事業

【事業を取りまく状況】

平成32年度から、小学校では中学年で外国語活動、高学年で外国語の教科化が実施される。子どもたちの異文化理解の精神、豊かな語学力、コミュニケーション能力を育成するためのよりよい学習環境づくりを進めていくことが必要である。

事業名	決算額	施策の成果	決算書
-----	-----	-------	-----

頁

<p>3. <u>ALT活動事業</u></p>	<p>57,750</p>	<p>英語を母語とする青年やそれと等しい環境で英語を身につけた青年を招致し、中学校の英語科及び小学校の外国語活動等で、担当教員とともに指導に当たった。 JETプログラムによる雇用6名と市直接雇用10名の計16名を中学校区や小学校に派遣した。(内、1名はエンジョイイングリッシュ事業)また、3名増員したことにより小学校だけに配置することも可能となった。</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 62,880,000円 ALT 15名 (JETプログラム5名、市直接雇用10名)</p> <p>【過去2か年度の実績】 平成27年度 44,164,508円 ALT 11名 (JETプログラム3名、市直接雇用 8名) 平成28年度 51,387,468円 ALT 13名 (JETプログラム3名、市直接雇用10名)</p> <p>【事業を取りまく状況】 平成32年度から完全実施される新学習指導要領においても、小学校での外国語教育早期化、教科化が示され、学校におけるALTの活躍が期待されている。ALTが担当教諭とともに外国語活動や外国語の授業を行うことで、生きた英語に触れる機会が増え、授業が実際のコミュニケーション場面の1つとなったり、異文化理解の機会となったりした。</p>	<p>179</p>
<p>4. 学校図書館活性化支援事業</p>	<p>25,560</p>	<p>全小中学校の図書館に司書資格を有する図書館スタッフを配置し、図書館業務のスムーズな管理運営、児童生徒へのオリエンテーション、読み聞かせ等、学校図書館活動の活性化を図った。</p>	<p>179</p>
<p>5. <u>読書大好キッズプロジェクト事業</u></p>	<p>19,852</p>	<p>伊勢市オリジナルブックリスト「読書ツアー」の作成・配付と掲載図書の学校図書館への整備により、読書意欲の向上を図った。(低学年は取組を実施。高学年用の配付及び取組み開始は平成30年4月)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 18,648,000円 ・事業計画当初、高学年用は4年生のみに配付予定であったが、小学校全体として取り組むことで読書の機運を高める効果が期待できることから、4年生～6年生に配付することになった。</p> <p>【過去2か年度の実績】 平成29年度からの新規事業</p> <p>【事業をとりまく状況等】 学校図書館活性化支援事業と連携し、「読書ツアー」を通して、子どもたちの読書意欲の向上、読書習慣の定着につなげていく。</p>	<p>179</p>

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 227,635 千円
 決算額 216,106 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	61		34	216,011

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 教育研究研修推進経費	2,718	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進めるとともに、教職員・保護者・市民対象の研修講座を開催し、市内保幼小中学校の教育力向上を図った。 研究 8件 研修講座 19講座	頁 179
2. <u>子ども輝き生き活き総合推進事業</u>	44,445	いじめや不登校の早期発見・早期対応・未然防止のため「子どもの人間関係づくり」の研究を行った。 全小中学校で、よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート (hyper-QU) を実施し、その結果・分析に基づいた研修会を行い、学級集団づくりを支援した。また、非常勤講師を配置し研究体制の強化を図った。 ・非常勤講師賃金 36,916千円 ・活動消耗品 34千円 ・研修会参加経費 106千円 ・hyper-QU実施委託経費 5,730千円 ・講座開催委託経費 979千円 ・生徒指導負担金 680千円 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 47,378,000円 ・非常勤講師の配置 小中学校34校 ・カウンセリングマインド向上研修 小中学校11校 【過去2カ年度の実績】 平成27年度 43,031,730円 ・非常勤講師の配置 小中学校36校 平成28年度 46,646,881円 ・非常勤講師の配置 小中学校36校 【事業を取りまく状況等】 ・いじめや不登校等の問題は早期の発見・対応が必要である。現状の研究推進は有効であり、「不登校対策ハーモニーハート総合推進事業」と連携して実施している。	179
事業名	決算額	施策の成果	決算書

<p>3. カウンセリング ルーム総合推進事 業</p>	<p>22, 535</p>	<p>小中学生の教育、いじめや不登校等の問題について、学 校や保護者等からの相談に対し、コンサルタントが電話や 面接等により対応するとともに、状況に応じ学校訪問や家 庭訪問を行った。さらに、児童生徒・保護者を対象に、臨 床心理士によるカウンセリングを実施し、専門的かつ継続 した指導及び心のケアを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談件数 276件 ・カウンセリング 1,067件 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント賃金等 6,837千円 ・臨床心理士、緊急支援員経費 15,610千円 ・活動消耗品 88千円 	<p style="text-align: right;">頁 179</p>
<p>4. 不登校対策ハーモ ニーハート総合推 進事業</p>	<p>10, 180</p>	<p>不登校や登校しぶり等、学校に行きたくても行けない児 童生徒の社会的に自立した学校復帰を目的に、教育支援セ ンターNESTでは、個に応じた生活や学習の指導及び支 援を行った。また、学校にも教育支援センターにも行けな い児童生徒への支援を充実させるため、教職経験のあるコ ンサルタント2名を配置し、児童生徒、保護者及び学校の 支援体制を充実させた。</p> <p>通級児童生徒数 25名 相談件数(述べて件数) 1,230件 (電話 677件、来所 189件、学校訪問 364件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント・運転手・ 支援員賃金等 8,813千円 ・活動支援ボランティア経費 225千円 ・研修会・体験活動経費 842千円 ・研究委託経費 300千円 	<p style="text-align: right;">179</p>
<p>5. <u>スクールイノベー ション総合推進事 業</u></p>	<p>4, 782</p>	<p>皇學館大学と連携し、研究委託校にて、整備を進めてい るタブレットPCを中心にICT機器を活用した授業改善 について研究を行い、広く市内外に公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皇學館大学と連携した研究 2校(有緝小学校、早修小学校) ・教育用コンピュータ機器(タブレット一式)30台 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 6,683,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皇學館大学地域連携委託 ・小中学校研究委託 1校 ・教育用コンピュータ機器(タブレット一式)30台 <p>【過去2か年度の実績】 平成29年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究委託校におけるタブレットPCなどICT機器を 活用した授業において、児童の学習意欲や学力向上に 効果が見られたため、タブレットPCを市内全校にて 活用できるよう、整備を急ぐ必要がある。 	<p style="text-align: right;">179</p>
<p>6. 小学校教育用コン ピュータ管理経費</p>	<p>59, 514</p>	<p>小学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代 型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童 の情報活用能力の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育用コンピュータ機器(タブレットパソコン一式) 60台 	<p style="text-align: right;">181</p>
<p>事業名</p>	<p>決算額</p>	<p>施策の成果</p>	<p>決算書</p>

7. 中学校教育用コンピュータ管理経費	34,139	中学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、生徒の情報活用能力の育成を図った。	頁 181
------------------------	--------	--	----------

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 30,160 千円
決算額 29,763 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	240			29,523

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権教育研究委託経費	698	人権教育に関わる事業の充実を図るため、人権教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託し、市内各小中学校等の加盟団体にて、実践の交流・研修会の開催・人権教育のカリキュラムの研究等が行われ、成果として研究紀要が発行された。	181
2. 人権教育推進一般経費	296	人権教育の先進的な取組を学ぶために、研修会に参加し、最新の情報や資料を得た。 「人権の芽(1,070冊)」を作成・印刷し、各学校へ配布するとともに活用を促すことで、人権学習の推進に努めた。	181
3. 人権教育子ども輝きプラン総合推進事業	1,386	中学校区を単位とした人権教育推進事業を中心に、各学校での取組の充実に向けて、年間を通じた計画的な取組が実施できるよう事業を展開した。 市の委託事業として6中学校区に研究指定を行い、人権教育の公開授業等を通して校区の連携強化を図った。また、全小中学校で取り組んだ人権作文をもとに、子ども人権フォーラムを実施し、学校での人権学習の推進を図った。	181

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 6. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 12,738 千円
決算額 12,246 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				12,246

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教育事業	277	子ども人権スクールを開催し、市内小中学生及び高校生に人権学習の場と機会を提供した。また、小中学校への出前学習や教職員研修を実施し、人権教育の推進に努めた。	181
事業名	決算額	施策の成果	決算書

2. 教育集会所管理経費	11,969	教育集会所を管理運営するために、嘱託職員（4名）を配置するとともに、光熱水費・消耗品費・備品費・法定点検費等を支出し、利用者（市内小中学生等）が安全快適に利用できるように体制を整えた。	頁 181
-----------------	--------	--	----------

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 476,089 千円
決算額 427,580 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,666		15,200	3,977	395,737

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	582	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	183

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校整備事業	41,625	<p>小学校施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防球ネット設置工事（修道小） 8,088千円 ・屋上防水改修工事（中島小） 7,007千円 ・給食室床塗装改修工事（明倫小、厚生小） 2,441千円 ・高圧受変電設備改修工事（明倫小、豊浜西小、御菌小） 3,967千円 ・プール改修工事（小俣小） 16,000千円 工事（一部翌年度へ繰越） 設計業務委託 3,726千円 ・登記業務委託等 396千円 	183

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 76,133 千円
 決算額 74,028 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,443				72,585

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経費	14,816	○一般教材備品 教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 23校(小学校全校) ・整備額 14,011,036円 ○理科教育振興法に基づく理科教材備品 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 5校(早修小学校ほか4校) ・整備額 527,580円 ○特別支援教育設備整備 新設または増設された特別支援学級において、障がいに適応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 4校(進修小学校ほか3校) ・整備額 277,624円	183
2. 学校図書館充実経費	9,757	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 23校(小学校全校) ・整備額 9,756,785円	183
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	46,221	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 なお、新入学児童生徒学用品費について、平成29年度新入学予定児童から、入学前の3月に支給している。 ・平成29年度在校生支給人数 661人 (要保護 2人、準要保護 659人) ・平成30年度入学予定者入学前支給人数 100人 (準要保護)	183

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 3. 小学校建設費

(単位 千円)

予算現額 451,215 千円
 決算額 445,968 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		405,300	168	40,500

学校統合推進室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>神社小学校・大湊小学校統合校整備事業</u>	406,718	<p>平成33年度開校に向け、統合校建設用地の取得及び設計を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築確認申請等手数料 1,181千円 ・学校用地草刈業務委託 12千円 ・建築、土木設計業務委託 115,559千円 ・土地購入費 288,335千円 ・用地取得に係る補償費 1,631千円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 81,768千円 ・建築確認申請等手数料 ・建築、土木設計業務委託 (平成28・29年度継続費) 繰越予算額 327,169千円 ≪繰越明許費≫ 289,967千円 ・土地購入費 ・用地取得に係る補償費 ≪継続費≫ 37,202千円 ・建築、土木設計業務委託 (平成28・29年度継続費)</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成27年度 0千円 平成28年度 4,112千円 ・土地売買契約書用印紙代 ・建築、土木設計業務委託 (平成28・29年度継続費)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・みなと小学校として、平成33年4月開校予定。 ・津波浸水対策として、校舎及び屋内運動場の嵩上げを行う。</p>	183

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 明野小学校特別教室棟増築事業	39,250	<p>児童数の増加により、普通教室に不足が見込まれるため、新たに特別教室棟を増築するための設計業務を委託し、既存校舎の特別教室を普通教室へ改修した。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別教室棟増築 設計業務委託、建築確認申請手数料 22,090千円 既存校舎特別教室改修 コンピューター室改修工事 11,976千円 ネットワーク機器購入、配線業務委託 5,184千円 	183

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 321,512 千円
 決算額 301,961 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,438		43,400	26,282	220,841

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	246	<p>学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。</p>	185

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校整備事業	78,174	<p>中学校施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> エレベーター設置ほか改修工事 (港中) 工事 42,648千円 設計、監理業務委託等 3,930千円 プール解体、グラウンド整備工事 (城田中) 23,788千円 防球ネット設置工事 (小俣中) 7,808千円 	185

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 67,688 千円
 決算額 65,223 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,767	121		20	63,315

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	12,920	○一般教材備品 教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 11校(中学校全校) ・整備額 10,646,574円 ○理科教育振興法に基づく理科教材備品 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 3校(厚生中学校ほか2校) ・整備額 2,190,132円 ○特別支援教育設備整備 新設または増設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 2校(城田中学校ほか1校) ・整備額 82,944円	185
2. 学校図書館充実経費	7,649	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 11校(中学校全校) ・整備額 7,648,748円	185
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	42,960	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 なお、新入学児童生徒学用品費について、平成29年度新入学予定生徒から、入学前の3月に支給している。 ・平成29年度在校生支給人数 395人 (要保護 5人、準要保護 390人) ・平成30年度入学予定者入学前支給人数 102人 (準要保護)	185

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 3. 中学校建設費

(単位 千円)

予算現額 1,195,572 千円
 決算額 623,462 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
137,797		358,500		127,165

学校統合推進室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 豊浜中学校・北浜 中学校統合校整備 事業	474,791	<p>平成31年度開校に向け、統合校の建設工事等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 7千円 ・建築確認申請等手数料 1,223千円 ・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託 (平成29・30年度継続費) 473,144千円 ・水道加入負担金 417千円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,188,761千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築確認申請等手数料 ・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託 (平成29・30年度継続費) <p>【過去2カ年度の実績】 平成27年度 227,147千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築、土木設計業務委託 (平成26・27年度継続費) ・造成工事 ・建築確認申請等手数料 ・土地購入費(用悪水路部分) <p>平成28年度 459,057千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水装置設置に係る手数料 ・造成工事 ・調整池設置工事 ・風塵対策工事 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜浜中学校として、平成31年4月開校予定。 ・津波浸水対策として、校舎及び屋内運動場の嵩上げを行う。 ・統合校建設予定地は航空機による騒音が生じる地域であるため、文科省に加え防衛省からも補助を受ける予定。 	187
2. 宮川中学校・沼木 中学校統合校整備 事業	148,671	<p>平成29年4月に開校した伊勢宮川中学校において、仮設校舎を撤去し、グラウンドの整備等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同実施室引越関連経費 106千円 ・伊勢宮川中学校除草業務委託 1,599千円 ・仮設校舎及び体育館賃借 49,723千円 ・グラウンド等整備工事及び 監理業務委託 97,243千円 	187

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 99,988 千円
 決算額 97,945 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				97,945

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 社会教育推進事業	997	社会教育委員兼公民館運営審議会 ・委員数 11人 ・会議 社会教育関係事業の実施状況等について、審議を行った。 また、平成29年度に富山県富山市で開催された第48回東海北陸社会教育研究大会の参加者による報告を行った。 ・委員研修 第48回東海北陸社会教育研究大会や三重県社会教育委員連絡協議会主催の研修会等に参加した。	187

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 60,299 千円
 決算額 56,228 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,216	55,012

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 芸術祭開催事業	2,143	市民が文化芸術に親しむとともに、文化芸術活動の成果を発表する場として、市民芸能祭・美術展覧会・市民交流茶会など、様々な文化芸術イベントを開催し、市民文化の向上を図った。	189
2. 文化芸術鑑賞事業	3,107	市民が身近な施設で文化公演を楽しんでもらえるように、NHK津放送局との共催により、NHKのど自慢を開催した。また、上質な音楽を気軽に楽しんでもらえる機会として、三重県と(公財)三井住友海上文化財団の共同主催により、著名な演奏家によるピアノコンサートを開催し、文化芸術に親しむ機会の拡充を図った。	189
事業名	決算額	施策の成果	決算書

事業名	決算額	施策の成果	決算書
3. <u>次世代のための文化芸術推進事業</u>	1,021	<p>子どもたちの豊かな心と感性を育むとともに、次世代への文化の継承を図るため、茶道、箏、三味線などの文化芸術に係る体験講座を小学校において実施した。また、日本の伝統的な文学である短歌・俳句を用い、瑞々しい感性で世界に伊勢市の魅力をPRしてもらいたいとの思いを込め、小中学生を対象に短歌と俳句の作品公募を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初予算額 1,337千円 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度新規事業 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>市民による文化活動の活性化に向けて、将来の文化芸術活動の担い手である子どもの豊かな感性と創造性を育むために、子どもが文化芸術に接する機会を拡充して行くことが必要である。また、少子高齢化が進む中、後継者の確保・育成が課題となっている。</p>	頁 189
4. 文化財保存整備事業補助金	7,510	<p>指定文化財等の適正な保存管理を図るため、補助金を交付した。</p> <p>【平成29年度対象事業及び市補助金決算額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国史跡離宮院址環境整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 官舎神社氏子総代会 ・補助金 155千円 ○県有形文化財一色町の木造能面 附 能装束複製事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 一色町能楽保存会 ・補助金 398千円 ○市有形文化財曼荼羅石・左衛門太郎六字名号碑覆屋修理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 中村町共有財産自治会 ・補助金 247千円 ○市天然記念物旭町のアイナシ損傷枝除去事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 個人 ・補助金 27千円 ○市無形民俗文化財官舎神社獅子舞衣装複製・獅子頭修理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 宗教法人 官舎神社 ・補助金 1,452千円 ○市天然記念物旭町のアイナシ保護事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 個人 ・補助金 2,314千円 ○史 旧林崎文庫 史跡等保存管理計画策定事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 宗教法人 神宮 ・補助金 447千円 ○重文 金剛證寺本堂 美しい日本探訪のための文化財建造物魅力向上促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 宗教法人 金剛證寺 ・補助金 2,119千円 ○紙本著色熊野観心十界曼荼羅保存修理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 宗教法人 浄土寺 ・補助金 351千円 	189
5. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	1,692	<p>伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。</p> <p>【交付先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬瀬町狂言保存会他22団体 	189

6. 文化財案内板設置 事業	596	市内の指定文化財や史跡等に対し、文化財案内板を設置することにより、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図るためのものである。平成29年度は、「伊能忠敬測量の地」板面設置を行った。また、既設案内板6件に英語ガイド用QRコードステッカーを貼付し、外国人来訪者への対応を図った。	頁 189
7. 二見浦保存管理計画 運営経費	26	平成18年に指定された国名勝「二見浦」の適切な整備、活用及び運営を行うためのものである。平成29年度は、名勝指定地内における現状変更等の取扱いを検討するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会の委員長及び副委員長と個別協議を2回行った。	189
8. 全市博物館構想推 進経費	281	博物館等の文化資産を紹介するためのマップ「伊勢まるごと博物館」を作成し、市内の博物館等で配布した。また、小学生の郷土学習に携わる小学校教員を対象に、社会科副読本に登場する偉人や史跡を現地に赴いて学ぶ「わたしたちの伊勢市フィールド講座」を開催した。	191
9. 全国大会等参加激 励事業	1,080	文化芸術の振興と向上を図ることを目的に、合唱、囲碁将棋、国民文化祭などの全国規模の文化芸術大会への出場者に対し、激励金を交付した。	191

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 8,639 千円
決算額 7,774 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				7,774

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 青少年健全育成推 進事業	1,558	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催 開催日：平成30年1月27日(土) 場所：伊勢市生涯学習センター 内容：「基調講演：思春期のこころの理解と関わり方～子どものSOSサインへの対処について～」、「活動者事例発表」 参加者：161人 ・啓発活動 啓発物品の贈呈 ・関係団体及び中学校区青少年健全育成協議会との連携 	191
2. 飯田市交流会実施 事業	1,189	<p>伊勢市と飯田市の小学生の代表が交流し、両市の親睦を図るとともに、次代を担うリーダーを養成することを目的に、伊勢市・飯田市小学生交流会を実施した。</p> <p>開催日：平成29年7月31日(月)～8月1日(火) 場所：伊勢市内(伊勢市の小学生が受入) 参加児童：伊勢市小学校代表 69人 飯田市小学校代表 24人</p>	191
事業名	決算額	施策の成果	決算書

3. 成人式開催事業	1,185	市内の各中学校区から推薦を受けた新成人代表（26名）による「新成人のつどい実行委員会」を設立し、自ら企画・運営を行い、「新成人のつどい」を実施した。 開催日：平成30年1月7日（日） 場所：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 参加者数：1,050人（参加率84.9%）	頁 191
4. 相談センター管理 運営事業	3,782	・非行少年の早期発見と指導 実施回数：470回、活動人数：1,349人 指導人数：466人（前年比221人） ・相談活動 面接相談：0件、電話相談3件（前年比△3件） ・有害環境浄化活動 三重県の立入調査活動：11回	191

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 164,123 千円
決算額 162,852 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10	162,842

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 図書整備経費	28,049	閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料について、利用者のニーズや分野別のバランスをとりながら購入し、図書館利用の促進を図った。 【購入冊数】 図書 伊勢図書館 7,558冊 小俣図書館 5,229冊 雑誌 伊勢図書館 1,913冊 小俣図書館 2,085冊 視聴覚資料 伊勢図書館 38点 小俣図書館 38点	191
2. ブックスタート支援事業	1,480	赤ちゃんと保護者に「絵本」と「赤ちゃんと絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動。赤ちゃんと保護者が、絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける。対象赤ちゃんと絵本2冊とアドバイス集が入ったブックスタートパックを図書館、1歳6ヶ月児健診で配布した。 配付数 855人	191

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 5,341 千円
 決算額 5,135 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,442		460	3,233

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習推進事業	2,484	<p>○生涯学習講座の実施 生涯学習の学習機会と学習場所を提供するため、二見・小俣・御菌の各公民館等で、生涯学習講座を開催した。</p> <p>・生涯学習講座内訳 二見公民館 10講座(受講者128人) 小俣公民館 15講座(受講者293人) 御菌公民館 14講座(受講者195人)</p> <p>○伊勢文化サークル協会活動への助成 生涯学習サークルの集合体である、伊勢文化サークル協会の活動(自主事業及び文化祭等)に補助を行った。</p>	193
2. 放課後子ども総合プラン推進事業	2,651	<p>地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、「放課後子ども教室」を実施した。</p> <p>事業実施にあたって、伊勢文化サークル協会の協力を得て、子どもたちに様々な体験・活動を提供した。</p> <p>・名称 「放課後子ども教室」 (伊勢市における呼称: いせ子どもチャレンジ教室)</p> <p>・実施講座数 「放課後子ども教室」 54講座(受講者 連携型815人、一体型442人)</p>	193

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 9. 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 54,020 千円
 決算額 52,863 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,557	51,306

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光文化会館施設維持補修経費	6,728	<p>大ホール等の吊り天井落下防止工事、消防設備改修工事等に伴う詳細設計業務の委託を行った。また、駐車場内の排水管と大ホール舞台照明ケーブルの補修工事を行った。</p>	195

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 83,582 千円
 決算額 81,667 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			14,397	67,270

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童生徒保健管理事業	72,466	学校保健安全法に基づく健康診断として、児童生徒及び幼児に対し、校医等による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、幼児児童生徒の健康管理に努めた。	195
2. 児童生徒結核検診事業	34	結核問診と学校医による定期健康診断により結核の早期発見・早期治療及び児童生徒への感染防止に努めた。また、感染が疑われる対象者に精密検査を実施した。	195
3. 教職員健康管理事業	4,779	非常勤講師を除く県費負担教職員を対象に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図るとともに、労働安全衛生法第66条の10の規定に基づくストレッチを実施し、自身のストレスへの気づきを促し、メンタルヘルス不調の未然防止に努めた。	195

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 509,986 千円
 決算額 497,649 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				497,649

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校給食管理経費	173,497	「安全でおいしい学校給食」が円滑に提供できるよう、給食調理従事者の健康管理、衛生管理等を実施し、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	195
2. 学校給食施設維持管理経費	3,280	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の維持管理に努め、安定した学校給食運営を図った。	195
3. 給食施設整備経費	12,827	老朽化した大型備品の更新を行い、衛生管理を徹底した。	195
事業名	決算額	施策の成果	決算書

4. 中学校給食共同調理場管理経費	183,103	中学校給食共同調理場の運営・管理を行い、市内共同調理場方式実施11中学校の生徒へ、安全・安心でおいしい給食を提供した。	頁 197
----------------------	---------	---	----------

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 95,572 千円
決算額 89,288 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,615	86,673

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スポーツ推進委員事業	3,884	各地域において、スポーツ行事、スポーツ教室等を開催し、地域におけるスポーツの普及や振興を図るとともに、住民に対して助言などを行った。また、市主催の行事についても企画立案・運営を行い、生涯スポーツの振興に貢献した。 ・委員数：61人	197
2. 生涯スポーツ推進事業	5,221	生涯スポーツの普及・振興のため各種の市民スポーツ行事を開催した。 ・いせスポーツフェスティバル2017 ちびっこ超人選手権→雨天中止 (H29.6.25) 申込者数：377人 ニュースポーツ体験会 開催日：H29.10.9 参加者数：253人 ・市民ふれあいウォーキング 開催回数：4回 参加人数：延935人 ・伊勢市民ダンス&体操フェスティバル2017 開催日：H29.11.23 参加者数：647人	197
3. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	6,150	生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まですべての地域住民が、各自のニーズに沿って気軽にスポーツ活動に参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図るとともに、各クラブにおいては、年間を通じて多くのスポーツ教室や大会等を開催した。 ・クラブ数：8クラブ 会員数：3,684人	197
事業名	決算額	施策の成果	決算書

			頁
4. スポーツ少年団育成事業	1,975	<p>子どもたちのスポーツ活動に関する視野を広げ、スポーツを楽しむ子どもたちを増やすとともに、規律ある団活動を通じて、子どもたちの心身の健全な育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢度会地域交歓会「スポ少フェスタ2017」 日時：H29.5.5 参加人数：373人 ・体力テスト事業・母集団育成事業 日時：H29.6.11 参加人数：519人（体力テスト事業） 参加人数：106人（母集団育成事業） ・交流事業（餅つき・ニュースポーツ体験） 日時：H30.2.4 参加人数：480人 <p><登録数> 団数：38団 団員数：1,173人（H29.9現在）</p>	197
5. 全国大会等参加激励事業	5,694	<p>各種スポーツ大会で予選大会等を経て、全国大会に出場する個人や団体に激励金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 165件 ・支給額 5,645,000円 ・主な大会 全国高校総体、国民体育大会等 ・全日本大学駅伝競走に地元皇學館大学が出場をすることに対して、激励金を交付するとともに、応援する機運を高めるため、懸垂幕を作成し、シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢へ掲出した。 懸垂幕作成費用 48,600円 	197
6. 競技スポーツ推進事業	5,380	<p>伊勢市体育協会の各競技団体が主体となって、種目普及やジュニアから大人までの競技力向上のための大会や教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア育成事業：14競技14事業開催 ・競技スポーツ事業：14競技14事業開催 ・種目普及事業：10競技10事業開催 ・指導者育成事業：3競技3事業開催 ・公認スポーツ指導員資格取得支援：4競技 ・審判員資格取得支援：5競技 	197
7. 集客誘致大会開催事業	4,536	<p>全国的な各種スポーツ大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第65回神宮奉納社会人野球JABA伊勢松阪大会 開催日：H29.9.29～10.4 参加者数：2,989人 ・第33回神宮奉納全日本ソフトテニス大会 開催日：H29.10.21～22 雨天中止 ・2017中日三重お伊勢さんマラソン（観光予算） 開催日：H29.12.2～3 参加者数：10,909人 ・第29回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 開催日：H30.3.26～28 参加者数：777人 	197

国体推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 全国高校総体開催 準備経費	5,985	<p>平成30年度全国高校総体を伊勢市で開催するための準備として、平成29年度大会視察及び行政訪問を行った。(山形市・天童市・仙台市ほか)</p> <p>また、事業推進に向けた計画・要項の策定や、広報活動を実施した。</p> <p>平成29年度 ・負担金 5,985千円</p>	197
2. 国民体育大会準備 経費	1,733	<p>2021(平成33)年国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を伊勢市で開催するための準備として、開催先進市町や平成28年開催市町の視察を行った。(福井県大野市・愛媛県松山市ほか)</p> <p>また、事業推進に向け「三重とこわか国体・三重とこわか大会伊勢市準備委員会」を設立した。</p> <p>平成29年度 1,733千円 ・先催県視察経費 1,662千円 ・会議室使用料 21千円 ・備品購入費 50千円</p>	197
3. <u>事務局管理運営経 費</u>	14,396	<p>【当初予算における内容・計画】 平成30年度全国高校総体及び2021(平成33)年国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会開催に向けた事務体制の整備ならびに維持管理に伴う共有経費。</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成28年度 ー 平成29年度 14,396千円 ・人件費(嘱託賃金等) 9,262千円 ・消耗品費(リース等) 786千円 ・役務費(通信費、保険料) 275千円 ・委託料(事務所清掃) 185千円 ・賃借料 3,888千円</p> <p>【事業を取りまく状況】 国体の開催に向け、組織の拡大を含め、長期的な取り組みが求められる。平成30年度後期及び31年度の国体推進課事務所体制について、予算の編成が必要。</p>	199

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 551,457 千円
 決算額 461,856 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		231,400	69,810	160,646

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 体育施設管理運営経費	155,662	第2期伊勢市スポーツ推進計画等に基づき、施設の適正な運営、維持管理を行った。	199
2. 体育施設整備事業	31,078	<p>体育施設の老朽箇所の修繕及び改修を行い、各施設の機能修復、向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市宮庭球場管理棟塗装ほか改修工事 9,409千円 ・市民武道館床改修工事 6,858千円 ・二見グラウンドダッグアウト改修工事 4,057千円 ・倉田山公園野球場排水柵等設置工事 4,257千円 	199
3. <u>高校総体・国体施設整備事業</u>	275,116	<p>平成30年の高校総体、平成33年の国体開催に向け、大会開催にあった施設整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢フットボールヴィレッジCピッチ人工芝張替工事(債務負担行為) 【契約額】 131,754千円 【H28年度】 52,700千円 【H29年度】 79,054千円 ・伊勢フットボールヴィレッジDピッチ人工芝張替工事 138,037千円 ・伊勢フットボールヴィレッジCDピッチクラブハウス新築工事 50,500千円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 298,732千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢フットボールヴィレッジCピッチ人工芝張替工事(債務負担行為) ・伊勢フットボールヴィレッジDピッチ人工芝張替工事 ・伊勢フットボールヴィレッジCDピッチクラブハウス新築工事 <p>【過去2カ年度の実績】 高校総体・国体に向けて平成28年度から事業開始し、会場となる伊勢フットボールヴィレッジの整備を行った。</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢フットボールヴィレッジにおいて、C・Dピッチの人工芝張替及びクラブハウスの建築を行った。 <p>今後は、大会規格のサッカーゴール及びゴールウェイトを購入予定である。</p>	199

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 1. 農地・農業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 220,718 千円
 決算額 38,894 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			237	38,657

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農地・農業用施設 災害復旧事業	38,894	平成29年10月22日から23日にかけて伊勢市に來襲した台風第21号の影響により農地が被災したため、復旧を行い機能回復を図った。 ・西豊浜町擁壁修繕工事 一式ほか23件 また、汁谷川排水機場ほか2機場が浸水したため、復旧工事に必要となる設計書を作成した。 ・汁谷川排水機場ほか災害復旧工事設計業務委託	199

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 2. 林業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 8,587 千円
 決算額 6,036 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				6,036

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 林業用施設災害復 旧事業	6,036	平成29年10月22日～23日に発生した台風21号の豪雨により、市内全域において林道が被災したため、災害復旧工事を行い機能回復を図った。 ・堂の奥林道災害復旧工事 一式ほか2件 また、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会が実施する災害復旧事業に対して負担金を支出した。	201

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 3. 漁港災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 6,783 千円
 決算額 2,762 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,762

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 漁港等災害復旧事業	2,762	平成29年10月22日から23日にかけて伊勢市に襲った台風第21号の影響により漁港海岸に漂着した流木等を撤去し、海岸機能の回復及び漁業被害の防止を図った。 ・漂着物除去業務委託 一式 また、漁場へ漂流し支障となった流木等の撤去について、地元漁業者の活動を支援した。	201

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 1. 道路橋梁災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 133,206 千円
 決算額 14,204 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,596		1,200		10,408

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路橋梁災害復旧事業	7,787	平成29年10月に発生した台風第21号により被災した施設の機能回復を図るため、修復を進めた。 (概要) 災害復旧測量業務 一式 1件 災害復旧設計業務 一式 1件	201

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路橋梁災害復旧事業	4,170	平成29年10月に発生した台風第21号により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。 (概要) 道路災害復旧 【補助分】 ①平成29年度現年分 L=6.5m 1件 前山3号線 ②平成30年度へ繰越 L=3.7m 1件 床ノ木1号線	201

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路橋梁災害復旧事業	2,247	平成29年10月に発生した台風第21号により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。 (概要) 道路災害復旧 【単分】 ①平成29年度現年分 5件 上地31号線道路法面修繕 神社馬瀬1号線道路法面修繕 藤里町公道道路修繕 東大淀明野線ほか道路法面修繕 中村楠部1号線道路法面修繕 ②平成30年度へ繰越 1件 上地町無名橋撤去	201

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 164,115 千円
決算額 37,837 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,708		5,300		21,829

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川災害復旧事業	20,106	平成29年8月に発生した台風第5号及び平成29年10月に発生した台風第21号により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。 (概要) 河川災害復旧 【補助分】 ①平成29年度現年分 L=23.5m 2件 準用河川矢田川左岸 普通河川箕曲瀬川右岸 ②平成30年度へ一部繰越 L=87.8m 4件 準用河川横輪川左右岸 準用河川大倉川左岸 準用河川亀谷郡川右岸 普通河川五十鈴川左岸 ③平成30年度へ繰越 L=48.9m 8件 普通河川取川左岸 準用河川亀谷郡川左岸 準用河川横輪川右岸 普通河川横輪川支川右岸 準用河川開花川左岸 普通河川矢田川左岸 普通河川五十鈴川右岸 準用河川矢田川左岸 (その2) 【単分】 平成29年度現年分 測量設計業務 15か所 2件	201

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川災害復旧事業	15,971	<p>平成29年10月に発生した台風第21号により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>河川災害復旧</p> <p>【単独分】</p> <p>平成29年度現年分 16件</p> <p>横輪川倒木撤去 横輪川支川土砂撤去 横輪川支川潜水橋 横輪川支川護岸 横輪川護岸 古屋川護岸 一字田川護岸 朝川護岸 箕曲瀬川護岸 平田川土砂撤去 ケーブル川土砂撤去 大谷川土砂撤去 朝熊川護岸 朝川支川土砂撤去 一字田川土砂撤去 オヤマ川護岸</p>	201

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水路災害復旧事業	1,760	<p>平成29年10月に発生した台風第21号により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>排水路災害復旧</p> <p>【単独分】</p> <p>平成29年度現年分 2件</p> <p>小俣町元町地内排水路土砂撤去 宇治浦田3丁目地内排水路土砂撤去</p>	201

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 3. 都市施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 34,634 千円
 決算額 26,870 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				26,870

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 都市公園災害復旧事業	2,240	平成29年10月に発生した台風第21号により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。 (概要) 公園災害復旧 【単独分】 平成30年度へ一部繰越 L = 29m 1件 倉田山公園	203

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 都市公園災害復旧事業	24,630	平成29年10月に発生した台風第21号により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。 (概要) 都市公園災害復旧 【単独分】 平成29年度現年分 2件 宮川堤公園ほか堆積物処理 宮川堤公園ほか堆積物除去・運搬 (宮川堤公園・宮川ラブリバー公園・宮川親水公園)	203

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 4. 公営住宅災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 20,003 千円
 決算額 9,708 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				9,708

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公営住宅災害復旧事業	9,708	平成29年10月に発生した台風第21号により被災した市営住宅の災害復旧工事を指定管理者において実施した。 件数：35件 金額：9,708,390円	203

(款) 12. 災害復旧費 (項) 3. 文教施設災害復旧費

(目) 1. 公立学校施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 15,502 千円
 決算額 12,228 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,310		3,100		2,818

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公立学校施設災害復旧事業	12,228	平成29年10月に発生した台風第21号により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。 (概要) ・城田中学校 擁壁撤去及び復旧工事 ・伊勢宮川中学校 テニスコート及び第2グラウンド復旧工事	203

(款) 12. 災害復旧費 (項) 3. 文教施設災害復旧費

(目) 3. 体育施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 1,942 千円
 決算額 1,863 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,863

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 体育施設災害復旧事業	1,863	平成29年10月に発生した台風第21号により被災したスポーツ施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。 宮川スポーツグラウンド (A・B) ・流木等撤去業務委託 497千円 ・グラウンド整備工事 1,214千円 ・伊勢フットボールヴィレッジ配線工事ほか 152千円	203

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 5,116,805 千円
 決算額 5,116,804 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			25,281	5,091,523

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	5,116,804	過去に借入れた市債の元金の支払いを行った(通常償還)。 ・借入利率 0.1%~4.8% ・借入年度 昭和62年度~平成27年度 ・未償還残高 53,638,726千円	205

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 2. 利子

(単位 千円)

予算現額 375,390 千円
 決算額 375,288 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,820	371,468

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債利子	375,222	過去に借入れた市債の利子の支払いを行った。 ・借入利率 0.1%~4.8% ・借入年度 昭和62年度~平成28年度	205

【国民健康保険特別会計】

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,856,000 千円
 決算額 7,756,231 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,934,294	363,831		2,715,460	2,742,646

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,756,231	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 506,469件 (2) 年度平均被保険者数 28,752人	225

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 2. 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 152,000 千円
 決算額 115,022 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			115,022	

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養給付費	115,022	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 9,075件 (2) 年度平均被保険者数 435人	225

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 60,000 千円
 決算額 58,922 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,550	1,315			44,057

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	58,922	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 8,273件	225

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 4. 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 2,040 千円
 決算額 997 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			997	

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養費	997	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 128件	225

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費 (目) 1. 一般被保険者高額療養費

(単位 千円)

予算現額 1,106,000 千円
 決算額 1,073,204 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
246,800	23,959		98,192	704,253

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者高額療養費	1,073,204	一般被保険者の高額療養費支給額 (1) 支給件数 42,960件	227

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費

(目) 2. 退職被保険者等高額療養費

(単位 千円)

予算現額 28,000 千円
 決算額 18,583 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			18,583	

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等高額療養費	18,583	退職被保険者等の高額療養費支給額 (1) 支給件数 304件	227

(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 30,320 千円
 決算額 28,984 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				28,984

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出産育児一時金	28,984	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 70件	227

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 12,000 千円
 決算額 9,650 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				9,650

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 葬祭費	9,650	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 193件	227

(款) 8. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 160,313 千円
 決算額 149,168 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,719	27,719			93,730

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査事業費	134,664	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 12,695人	231

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定保健指導事業費	14,504	特定保健指導の実施 (1) 動機付け支援 595人 (2) 積極的支援 42人	231

【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金 (項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位 千円)

予算現額 2,938,744 千円
 決算額 2,938,744 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,938,744

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	2,938,744	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 1,258,687千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 339,641千円 ・保健事業負担金 広域連合の行う保健事業経費の市分担金 19,946千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費(共通経費)の市分担金 52,635千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者に係る医療給付費の1/12の額 1,267,835千円	243

【介護保険特別会計】

(款) 1. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 2. 介護保険推進費

(単位 千円)

予算現額 5,211 千円
決算額 4,768 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,768

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域包括ケア推進 協議会運営事業	750	本市における地域包括ケアシステムの構築を推進するため、伊勢市地域包括ケア推進協議会を開催した。	257
2. 介護保険事業計画 策定事業	4,018	計画策定業務を委託し、「伊勢市第8次老人福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定した。	257

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

(目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 12,422,374 千円
決算額 12,199,052 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,120,800	1,748,952		3,428,904	3,900,396

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護サービス等給 付事業	11,043,421	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護サービス給付費負担金 支給件数 102,921件 5,307,916千円 ・ 地域密着型介護サービス給付費負担金 支給件数 14,693件 1,739,840千円 ・ 施設介護サービス給付費負担金 支給件数 13,763件 3,363,088千円 ・ 居宅介護福祉用具購入費負担金 支給件数 501件 11,775千円 ・ 居宅介護住宅改修費負担金 支給件数 437件 38,370千円 ・ 居宅介護サービス計画給付費負担金 支給件数 41,184件 582,432千円 	259
2. 介護予防サービス 等給付事業	444,584	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防サービス給付費負担金 支給件数 18,263件 339,370千円 ・ 地域密着型介護予防サービス給付費負担金 支給件数 239件 15,027千円 ・ 介護予防福祉用具購入費負担金 支給件数 158件 3,728千円 ・ 介護予防住宅改修費負担金 支給件数 289件 28,266千円 ・ 介護予防サービス計画費負担金 支給件数 13,232件 58,193千円 	259

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 高額介護サービス等給付事業	246,356	<ul style="list-style-type: none"> 高額介護サービス費負担金 支給件数 24,372件 245,951千円 高額介護予防サービス費負担金 支給件数 326件 404千円 	261
4. 特定入所者介護サービス等給付事業	430,717	<ul style="list-style-type: none"> 特定入所者介護サービス費負担金 支給件数 12,179件 430,532千円 特定入所者介護予防サービス費負担金 支給件数 37件 186千円 	261
5. 高額医療合算介護サービス費等給付事業	33,974	<ul style="list-style-type: none"> 高額医療合算介護サービス費負担金 支給件数 1,232件 33,875千円 高額医療合算介護予防サービス費負担金 支給件数 40件 100千円 	261

(款) 3. 地域支援事業費

(項) 1. 地域支援事業費

(目) 1. 介護予防・日常生活支援総合事業費

(単位 千円)

予算現額 148,719 千円
決算額 129,360 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
35,272	22,045		39,070	32,973

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 普及啓発事業	3,198	65歳以上の高齢者を対象に介護予防講演会、すこやか教室(老人クラブ)等を開催し、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。2,720人の参加があった。	261

高齢者支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 普及啓発事業	520	要介護状態への進行を防止することを目的に、介護予防の普及啓発を実施し、高齢者の健康と生活機能の維持向上を支援した。	261

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 強化事業	1,230	本年度中に70歳を迎える元気な高齢者2,204人に対し介護予防BOOKを配布した。また、運動・認知・口腔・栄養改善等の総合的な介護予防に関する講座や特別講演会を開催し知識の普及に努め、延べ313人の参加があった。健康チェックコーナーは3,667人の利用があった。	261
2. 運動器機能向上事業	523	65歳以上の元気な高齢者を対象に運動器機能の向上のため、ストレッチ体操や筋力トレーニング等に関する講座を開催し、691人の参加があった。	261

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 認知症予防事業	465	65歳以上の元気な高齢者を対象に脳活性化教室を開催し、認知機能の活性化と予防の啓発を行った。723人の参加があった。	261

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防・生活支援サービス事業	104,497	【介護予防・生活支援サービス事業】 ・訪問型サービス費（訪問介護相当・訪問型サービスA1） 支給件数 2,022件 31,074千円 ・通所型サービス費（通所介護相当・通所型サービスA） 支給件数 3,738件 72,852千円 ・審査支払手数料 支給件数 9,206件 571千円	261

高齢者支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防・生活支援サービス事業	3,495	要支援者や事業対象者に対する介護予防・日常生活支援総合事業のうち、介護サービス事業者以外の多様なサービスを構築するため、民間・地域住民組織等の担い手が行う生活援助や介護予防等を目的とした集いの場に対する支援を行った。	261

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防ケアマネジメント事業	15,285	・介護予防ケアマネジメント事業費 支給件数 3,446件 15,285千円	261

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費

(目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 211,138 千円
決算額 197,238 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
84,600	42,300			70,338

高齢者支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域包括支援センター運営事業	88,000	地域包括支援センターを委託し、保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図った。	263

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 在宅介護支援事業	6,300	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し、在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう関係機関との連絡調整を行った。	263
3. 地域包括ケア事業	6,063	高齢者が住み慣れた地域で生活を続けるために、高齢者虐待防止と権利擁護の啓発および在宅支援に関する関係者の連携の強化等に取り組み、地域包括ケアシステムの構築と推進を行った。	263
4. 生活支援体制整備事業	18,506	地域の課題やニーズの把握を行い、地域住民と共に解決するため生活支援コーディネーターを配置した。（第1層1名、第2層4名）また、介護保険上の生活援助及び地域の支え合い体制の担い手を養成するため、暮らし応援サービス従事者養成研修を2回、生活支援サポーター養成講座を3回行った。	263
5. 認知症施策事業	425	認知症の早期発見、早期治療をすすめ、地域で安心した生活を送り続けることができるよう認知症初期集中支援チームにおいて早期対応を行うとともに、認知症の正しい理解を深め、家族や周囲が適切な対応を行うことができるよう「認知症あんしんガイドブック」（認知症ケアパス）を作成し周知を行った。	263
6. 在宅支援連携推進事業	4,196	在宅生活を支援する医療・保健・介護・福祉等の専門職の連携の推進を目的に在宅支援ネットワークの構築を行ない、「伊勢地区在宅医療・介護連携支援センター」の設立に向け準備委託を行った。	263
7. 地域ケア会議推進事業	2,037	個別ケースを通じてケアマネジャー等と専門多職種が協働の上、ケアプラン検討や参加者の専門的能力の向上、地域の社会資源の把握・開発や市の政策形成に繋げることを目的とした伊勢市生活支援会議を49回開催した。	263
8. 食の自立支援事業	3,905	高齢者の食の自立を目的として、65歳以上の一人暮らし又は高齢者のみの世帯で、食事の確保が困難な世帯に属する高齢者に対して、栄養のバランスの取れた食事を平日の昼週3回を限度として提供するとともに、安否確認を併せて行い、日常生活の支援を行った。	263
9. 高齢者住宅等安心確保事業	10,028	高齢者世話付住宅（市営リバーサイドせせらぎ）に居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することにより、自立して安全かつ快適な在宅生活を営むことができるよう支援した。	263

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. 成年後見制度利用 支援事業	792	成年後見制度の利用が有効と認められるにも関わらず、申し立てを行う人が四親等以内の親族にいない場合、市長の権限による申し立てを行うとともに、必要経費を助成することにより、成年後見制度の利用促進を図った。また、講演会を開催し、制度の周知及び啓発を図った。	263
11. 徘徊SOSネットワー ク事業	44	認知症などで行方不明になるおそれのある人の情報を事前に登録することで、早期発見、早期保護に役立てるために、高齢者の安心、安全な生活の支援を行なった。	263

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	25,924	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等（施設入所者を除く）に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。 支給者数 642人	263
2. 介護相談員派遣事 業	3,827	通所サービスや施設サービスを提供している事業所を介護相談員が2人1組で訪問し、利用者から不満や要望などを聞き取り、利用者・事業所・事務局との橋渡しを行った。 介護相談員 10名 延べ活動日数 762日	263
3. 介護給付費等費用 適正化事業	3,149	適切な介護保険サービスの確保、適正な介護サービスの利用により、持続可能な介護保険制度の構築に資するため、介護給付費等費用適正化事業を行った。 ・ケアプラン点検 実施回数 3回 点検件数 12件 ・介護給付適正化推進セミナー 第一回（平成29年11月24日） 参加者 76人 第二回（平成30年1月17日） 参加者 83人 ・介護給付費通知 送付回数 4回 ・住宅改修実態調査 実施回数 1回 ・福祉用具実態調査 実施回数 2回	263

【観光交通対策特別会計】

(款) 1. 観光交通対策事業費 (項) 1. 管理費 (目) 1. 管理費

(単位 千円)

予算現額 614,671 千円
 決算額 599,725 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			556,382	43,343

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 駐車場管理運営経費	379,598	<p>神宮周辺では、交通渋滞が頻繁に発生しており、来訪された方だけでなく、地域住民の生活にも支障をきたしている。このため、内宮周辺駐車場の駐車場収入により交通誘導や情報発信、パーク&バスライドなどの交通対策を行い観光振興や地域住民の生活環境の改善を図った。</p> <p>【駐車場使用料収入】 556,255,300円 【利用台数】 937,870台</p>	281

都市計画税の充当状況

都市計画税は、都市計画法に基づき実施する都市計画事業に要する経費に充てる目的税です。
伊勢市の平成29年度決算における都市計画税の充当状況は、次のとおりです。

(単位:千円)

事業名		都市計画税 充当対象 経費決算額	財源内訳				一般財源のうち 都市計画税 充当額
			国県支出金	地方債	その他の 特定財源	一般財源	
都市計画事業	街路	8,436	2,925	5,000	0	511	372
	八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)	8,436	2,925	5,000	0	511	
	学校	289,966	0	289,900	66	0	0
	【繰越】 神社小学校・大湊小学校統合校整備事業	289,966	0	289,900	66	0	
	下水道	1,389,517	0	0	0	1,389,517	1,011,159
	公共下水道事業繰出金(建設改良事業費)	23,629	0	0	0	23,629	
	公共下水道事業繰出金(地方債償還金・旧伊勢分)	1,114,635	0	0	0	1,114,635	
	" (地方債償還金・旧二見 H18借入以降分)	58,690	0	0	0	58,690	
	" (地方債償還金・旧小俣 H18借入以降分)	99,442	0	0	0	99,442	
	" (地方債償還金・旧御園 H18借入以降分)	93,121	0	0	0	93,121	
公債費 (都市計画事業分)		569,499	0	0	0	569,499	414,427
	旧伊勢分	375,759	0	0	0	375,759	
	旧二見 H18借入以降分 (茶屋25号線、二見浦交通広場)	8,999	0	0	0	8,999	
	旧小俣 H18借入以降分 (下卯起宮川駅野依橋線)	53,324	0	0	0	53,324	
	旧御園 H18借入以降分 (八日市場高向線ほか1線、秋葉山高向線、高向神田線、高向西公園)	131,417	0	0	0	131,417	
合 計		2,257,418	2,925	294,900	66	1,959,527	1,425,958

【費目別不納欠損の状況】

※上段()書は平成28年度実績値 (単位 人、円)

費目	事由	対象人数	不納欠損額	所管課
○一般会計				
市税				
市民税		(226)	(17,935,553)	課税課(収納推進課)
		158	9,957,806	
	消滅時効	97	3,023,743	
	処分執行停止の継続	11	2,166,088	
	無財産等徴収不能	50	4,767,975	
固定資産税		(432)	(73,644,479)	課税課(収納推進課)
		372	21,486,727	
	消滅時効	355	14,143,716	
	無財産等徴収不能	17	7,343,011	
軽自動車税		(335)	(2,209,450)	課税課(収納推進課)
		263	1,862,745	
	消滅時効	227	1,063,245	
	処分執行停止の継続	1	8,000	
	無財産等徴収不能	35	791,500	
都市計画税		(432)	(14,290,214)	課税課(収納推進課)
		372	4,237,134	
	消滅時効	355	2,786,550	
	無財産等徴収不能	17	1,450,584	
分担金及び負担金				
老人福祉施設入所負担金		(0)	(0)	高齢者支援課
	消滅時効	2	397,738	
保育所保育料		(20)	(1,542,520)	こども課
	消滅時効	5	383,100	
諸収入				
児童扶養手当過払い返還金		(1)	(10,000)	こども課
	消滅時効	1	333,080	
生活保護法第63条返還金		(9)	(7,854,248)	生活支援課
	消滅時効	5	2,797,059	
生活保護法第78条返還金		(2)	(555,996)	生活支援課
	消滅時効	4	3,392,005	
一般会計 計		(1,469)	(118,468,060)	
		1,182	44,847,394	
○国民健康保険特別会計				
国民健康保険料				
国民健康保険料		(486)	(52,342,456)	医療保険課
	消滅時効	412	39,661,137	
国民健康保険税				
国民健康保険税		(4)	(364,800)	医療保険課
	消滅時効	2	732,000	
国民健康保険特別会計 計		(490)	(52,707,256)	
		414	40,393,137	
○後期高齢者医療特別会計				
後期高齢者医療保険料				
後期高齢者医療保険料		(24)	(921,952)	医療保険課
	消滅時効	43	1,550,250	
○介護保険特別会計				
保険料				
介護保険料		(188)	(5,765,708)	介護保険課
	消滅時効	170	5,555,793	

平成29年度 地方消費税交付金(社会保障財源化分)充当事業

○地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)地方消費税交付金(社会保障財源化分) 9.2 億円

(歳出)社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 190 億円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

事業名	経費	財源内訳						
		特定財源				一般財源		
		国支出金	県支出金	市債	その他	地方消費税交付金(社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	障害者福祉事業	2,830,627	1,317,396	635,604	0	34,325	149,084	694,218
	高齢者福祉事業	304,395	0	4,094	0	69,731	13,098	217,472
	児童福祉事業	6,004,078	1,956,987	669,114	0	555,511	246,525	2,575,941
	父母子福祉事業	554,190	188,604	0	0	0	6	365,580
	生活保護扶助事業	2,098,831	1,576,297	71,075	0	0	4,186	447,273
	その他社会福祉事業	338,028	51,340	18,027	0	15,449	16,812	236,400
	小計	12,130,149	5,090,624	1,397,914	0	675,016	429,711	4,536,884
社会保険	介護保険特別会計繰出金	1,636,800	11,002	5,501	0	0	78,962	1,541,335
	国民健康保険特別会計繰出金	823,157	123,832	402,737	0	0	23,168	273,420
	小計	2,459,957	134,834	408,238	0	0	102,130	1,814,755
保健衛生	後期高齢者医療特別会計繰出金	1,627,421	0	254,730	0	0	91,029	1,281,662
	医療費支給事業	829,276	0	334,289	0	0	16,146	478,841
	医療提供体制確保事業	102,322	0	0	0	9,203	26,382	66,737
	病院事業繰出金	1,095,178	0	0	0	1,061	175,091	919,026
	疾病予防対策事業	322,506	0	3,734	0	0	60,501	258,271
	健康増進対策事業	297,829	6,648	8,246	0	2,802	13,516	266,617
	母子保健推進事業	153,267	7,822	5,713	0	1,314	5,564	132,854
	小計	4,427,799	14,470	606,712	0	14,380	388,229	3,404,008
合計	19,017,905	5,239,928	2,412,864	0	689,396	920,070	9,755,647	

平成 29 年度入湯税の使途状況について

入湯税は、地方税法第 701 条の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興（観光施設の整備を含む。）に要する費用に充てることを目的とした地方税です。

伊勢市では、平成 29 年度の入湯税全額を観光振興に係る経費に充てています。

(単位：千円)

区分	歳出決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源等	うち充当額
観光振興	539,792	0	0	0	10,909	528,883	28,165